

令和2年度

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

年報

目次

1	令和2年度の活動概要	4
2	美術作品の収集	
1	作品収集状況	6
2	新収蔵作品目録	7
3-1	展覧会① 近美コレクション	
◆	〈近美コレクション〉一覧	21
1	ひと・ヒト・人……あつまる人々、つらなる面々 ほか	22
2	山川草木 美は自然に宿る ほか	30
3	ヴィジュアル・ガストロノミー—いただきます。ごちそうさま。 ほか	35
4	日本の美 ほか	41
5	池田良二展／一原有徳展 ほか	49
3-2	展覧会② 特別展	
◆	特別展一覧	58
1	キスリング展 エコール・ド・パリの巨匠	59
3	没後50年 神田日勝 大地への筆触 ここで描く、ここで生きる	65
4	デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉	71
4	藤沢市所蔵 招き猫亭コレクション 猫まみれ展MAX	83
3-3	展覧会③ 貸館	
◆	貸館一覧	91
4	教育普及関係	
1	移動美術館	92
2	ワークショップ	95
3	解説活動	96
4	博物館実習【館園実習】	98

5	ぐるっと三館鑑賞ツアー	99
6	出張アート教室	100
7	ボランティアの活動	101
8	協力事業	102
9	その他	104
5	資料・情報関係	
1	刊行物	105
2	特別観覧	106
3	情報資料	107
6	美術作品の貸出と保存・修復	
1	美術作品の貸出	108
2	美術作品の保存・修復	109
7	調査研究	111
8	名簿、沿革、観覧者数等	
1	名簿	116
2	沿革	118
3	観覧者数一覧	120
4	教育・情報サービス利用者一覧	121

1 令和2年度の活動概要

令和2(2020)年度を迎える少し前から世界を席卷した新型コロナウイルスの猛威は、当館の活動にも大きな影響を与えた。感染拡大防止と緊急事態宣言の発令により、休館、特別展をはじめとする事業の中止や変更を余儀なくされた一方、コレクションを活用した企画を短期間に作り上げて観覧の機会を提供し、また、Webを利用した新たな取組などによって、来館が困難な潜在的利用者への発信を強化した。

1 休館、事業の中止・変更

休館、及び展覧会・教育普及事業・調査などの変更や中止については、以下の通りである。

- ・前年度の2月29日(土)から、年度明けの5月25日(月)まで、感染拡大防止のため休館となった。
- ・休館により、令和2年度最初の近美コレクション「ひと・ヒト・人」他のオープンを、当初の予定4月18日(土)から5月26日(火)に変更した。
- ・同じく最初の特別展「キスリング展」も、4月25日(土)のオープン予定を5月26日(火)に変更。それにともない、会期終了日を予定の6月21日(日)から6月28日(日)に繰り下げた。
- ・特別展「古代エジプト展」(図1。7月4日(土)～9月6日(日)予定)は、感染拡大の状況下での様々な懸念等のため開催中止。
- ・札幌国際芸術祭2020(図2。12月19日(土)～令和3年2月14日(日)予定)は、国内外からの多くの作家の移動を必要とするなどの理由のために開催中止。
- ・近美コレクションにおいて毎年開催してきた「ふれるかたち」(令和3年2月27日(土)～3月31日(水)予定)は、彫刻等に手で触れて鑑賞する展覧会であるため開催中止。
- ・教育普及事業は、7月末まで全て中止。再開後は、北海道や日本博物館協会などの指針に基づいて参加人数の制限や密集の回避などを実施した。また、コンサートは通年で中止。子どもを対象とした事業においては、通年の鑑賞ツアーと一部の事業は8月以降も中止とし、一部は感染防止の観点からも適切な内容を企画して実施した。
- ・学芸員による調査活動は、移動や調査対象者との接触をとまうため、その多くを延期もしくは中止とした。

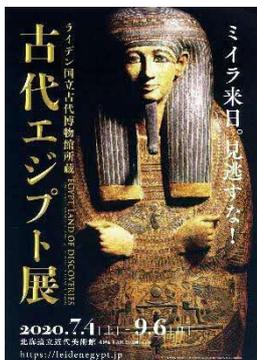


図1

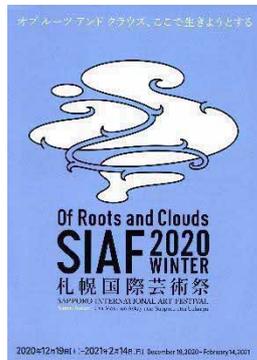


図2

2 コレクションの活用による対応



図3

古代エジプト展は展示室Bを、札幌国際芸術祭2020は展示室Aを会場に予定していた。両展の中止への対応として、予定会期の期間中は、以下の通りコレクションを活用した企画を行った。

- ・古代エジプト展に代わり、近美コレクション「山川草木」他を、7月11日(土)から9月6日(日)まで開催。これは当初、古代エジプト展と同期間に展示室Aで開催を予定していた展示である。「山川草木」他の展示室Bへの会場変更に伴い、展示室Aでは「ひと・ヒト・人」他の会期を9月6日(日)まで延長した。加えて地元テレビ局の協力を得てテレビCMを放映するなど、全館で近美コレクションを行うというまれな機会を広くアピールすることに努めた。
- ・札幌国際芸術祭2020に代わり、近美コレクション「日本の美」を開催(11月21日(土)～令和3年2月14日(日))。同展は当初、展示室Bの一角を用いて2月2日(火)から14日(日)までの短期間開催を予定していたものだが、規模を拡大し企画し直したものである。内容は「浮世美人華麗競一粋でお洒落で艶やかで」「日本画一景趣、余情、うつくし、をかし」(図3)「ガラスに見る和の世界」の三部構成とした。なお、同時に「この1点を見てほしい。—シャガール《パリの空に花》」を行った。
- ・「ふれるかたち」に代わり、「日本のガラス—江戸から現代まで—」を開催した。

3 Webの活用による対応

Webを利用した発信や事業展開が世界的にも美術館活動の一部となって既に久しいが、コロナ禍のもとでその流れはさらに拡大され、加速化されたと言えよう。北海道で独自の緊急事態宣言が出されたのは令和2年2月28日(金)だが、その翌日以降に道立のミュージアムが休館となると、各館では展覧会内容のダイジェストをYouTube上で動画配信する取組が開始された。令和2年度4月からは「北海道リモート・ミュージアム」と題して、当館を含む道立美術館・芸術館、北方民族博物館、文学館、図書館、埋蔵文化財センターの10道立文化施設において、動画の制作と配信を継続的に行うこととなった。

当館では「北海道リモート・ミュージアム」を教育普及事業の一環と位置づけ、展覧会紹介のほか、子どもを念頭に置いた内容とダウンロード可能なワークシートとの組み合わせにより、通年で中止とした「子ども鑑賞ツアー」の代替企

画とすることを試みた。(図4)

であり知られていなかった作品や資料が含まれている。
(当館学芸部長 中村聖司)



図4

4 特別展への評価

特別展「神田日勝展」は、神田日勝の没後50年企画として、神田日勝記念美術館（北海道鹿追町）、東京ステーションギャラリー、当館の協同により開催された。農民画家、夭折、未完の馬など様々なイメージに彩られた画家・神田日勝について、その芸術をあらためて彼の生きた時代の中に置き直して検証したものであり、今後の神田日勝研究に向けた基盤を確立した好企画となった。さらに前年のテレビドラマで、人気俳優が神田日勝をモデルとした人物を演じたという事情もあって、本展は広く話題を呼んだ。

特別展「諸星大二郎展」は、漫画家・諸星大二郎のデビュー50周年にあたり当館学芸員が発案し、全国の複数の美術館学芸員と協同で企画・実施。代表作の原画を中心に、諸星大二郎の創作に深く関わった美術作品や歴史・民俗資料等を合わせて構成された。見る者の知的好奇心を多角的に、パワフルに刺激して、諸星大二郎の作品世界の壮大なスケールを実感させた本展は、美術館連絡協議会の最高賞「美連協大賞」を受賞した。

5 作品収集の成果



図5

北海道美術品取得基金の活用により、北海道出身の日本画家・岩橋英遠の《明治》(図5)を購入した。昭和25(1950)年の院展で発表され最高賞を得た重要作品であり、代表作を含む初期から晩年までの18点からなる当館の岩橋英遠コレクションの系統性を、いっそう高めることとなった。

また、横山大観の《秋思》、及び一原有徳の作品多数の寄贈も特筆される。前者は有名な《屈原》とともに初回の院展で発表され、その後長く行方不明であった作品。少し前に札幌の個人宅の蔵から偶然発見され、今回寄贈となった。後者は、北海道栗山町在住の詩人・児童文学者である友田多喜雄氏からの寄贈。当館では平成30(2018)年度から、友田氏の膨大な版画コレクションを調査しながら順次受贈を進めている。今回の一原有徳作品は、主に作家との交友を通して友田氏の手元に集められたものであり、習作的なドローイングや、版画を表紙に印刷した友田氏の私家版詩集など、これま

2 美術作品の収集

1 作品収集状況

分野	令和元年度末 作品所蔵数		令和2年度作品収集数				令和2年度末 作品所蔵総数		資料		
			購入	受贈	管理換	計			令和元年度末 資料所蔵数	令和2年度末 資料収集数	令和2年度末 資料所蔵総数
油彩	820点	(15.2%)	0点	1点	1点	2点	822点	(14.5%)	90点	0点	90点
日本画	275	(5.1%)	1	5	0	6	281	(5.0%)	23	0	23
水彩・素描	364	(6.7%)	0	1	0	1	365	(6.4%)	216	10	226
版画	1,822	(33.8%)	0	258	0	258	2,080	(36.7%)	84	3	87
彫刻	112	(2.1%)	0	0	0	0	112	(2.0%)	14	0	14
工芸	1,718	(31.9%)	0	0	0	0	1,718	(30.4%)	96	0	96
デザイン	231	(4.3%)	0	0	0	0	231	(4.3%)	18	0	18
写真	51	(0.9%)	0	0	0	0	51	(0.9%)	2	0	2
合計	5,393	(100.0%)	1	265	1	267	5,660	(100.0%)	543	13	556

2 新収蔵作品目録

凡例

- この目録には、令和2(2020)年4月1日から令和3年3月31日までに、北海道立近代美術館に収蔵された作品を収録した。
- 各作品は当館の収集方針による次の分類に基づいて掲載した。
 - ・エコール・ド・パリ
 - ・北海道の美術
 - ・ガラス工芸
 - ・日本近代の美術
 - ・現代美術
 - ・その他
- 北海道の美術は、北海道出身または北海道に居住した作家、および北海道を制作の拠点とした作家をもってこれにあてた。
- 作者名は各分類ごとに、50音順に配列した。同一作家の作品が2点以上ある場合は、各分野ごとに制作年順に配列した。
- 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。

作者名、生没年、作品名、制作年、技法・材質、寸法、収集の区分、当館での分野分類、作品番号
- 制作年は作品に明記されているもの、制作事情のはっきりしているもののほか、展覧会発表の年をとって制作年とみなしたものがある。
- 寸法はセンチメートルを単位とし、原則として、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さを示した。

北海道の美術 Art in Hokkaido

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
1	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	SON(b)	1960(昭和 35)	モノタイプ、紙	20.7×10.1	受贈	版画	2020010
2	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	GYN(d)	1960(昭和 35)	モノタイプ、紙	18.0×23.0	受贈	版画	2020011
3	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1960(昭和 35)	モノタイプ、紙	29.7×12.6	受贈	版画	2020012
4	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1960(昭和 35)	モノタイプ、紙	6.9×8.9	受贈	版画	2020013
5	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	Fe4	1960(昭和 35)	トタン版腐蝕、紙	26.0×17.6	受贈	版画	2020014
6	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1962(昭和 37)	モノタイプ、紙	7.3×9.8	受贈	版画	2020015
7	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	Imp. 98	1964(昭和 39)	ゲージ原型、紙	径 8.2	受贈	版画	2020016
8	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	SON(d)	1965(昭和 40)	モノタイプ、紙	10.3×22.8	受贈	版画	2020017
9	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	SUN8	1966(昭和 41)	金属凹版、紙	径 16.8	受贈	版画	2020018
10	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1967(昭和 42)	金属凹版、紙	24.9×13.8	受贈	版画	2020019
11	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RIW(C)	1971(昭和 46)	アルミニウム版腐蝕、電気ブラシ、紙	19.7×16.7	受贈	版画	2020020
12	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RIW15	1971(昭和 46)	アルミニウム版腐蝕、紙	20.0×19.6	受贈	版画	2020021
13	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RIW31	1971(昭和 46)	アルミニウム版腐蝕、紙	19.5×19.3	受贈	版画	2020022
14	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	溪 2 Kei2	1971(昭和 46)	アルミニウム版腐蝕、紙	18.1×15.4	受贈	版画	2020023

作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
15 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1971(昭和 46)	アルミニウム版腐 蝕、紙	20.5×17.8	受贈	版画	2020024
16 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1972(昭和 47)	金属凹版、紙	13.0×9.2	受贈	版画	2020025
17 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1972(昭和 47)	金属凹版、紙	12.0×9.5	受贈	版画	2020026
18 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1974(昭和 49)	モノタイプ、紙	11.0×15.5	受贈	版画	2020027
19 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	COR	1975(昭和 50)	金属凹版、紙	10.0×10.2	受贈	版画	2020028
20 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1975(昭和 50)	金属凹版、紙	22.0×16.6	受贈	版画	2020029
21 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	UPE	1975(昭和 50)	金属凹版、紙	15.1×14.5	受贈	版画	2020030
22 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	SI0(C)	1976(昭和 51)	モノタイプ、紙	15.0×19.0	受贈	版画	2020031
23 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	俯 1 Fu1	1976(昭和 51)	アルミニウム版腐 蝕、紙	19.3×12.1	受贈	版画	2020032
24 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1976(昭和 51)	アルミニウム版腐 食、網、紙	19.8×19.8	受贈	版画	2020033
25 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	TUT4	1976(昭和 51)	鉄、天然腐蝕、電気 サンダー、紙	24.3×19.8	受贈	版画	2020034
26 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	HOW(c)	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、紙	24.6×18.8	受贈	版画	2020035
27 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、紙	18.0×24.7	受贈	版画	2020036
28 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	INE	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、紙	18.9×14.8	受贈	版画	2020037
29 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	SNQ	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、紙	56.0×39.4	受贈	版画	2020038
30 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RI(e)	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、紙	8.0×11.1	受贈	版画	2020039
31 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、紙	19.7×16.0	受贈	版画	2020040
32 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、草の実、錐、紙	24.5×16.6	受贈	版画	2020041
33 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	DON(2)	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、草の実、紙	25.7×19.8	受贈	版画	2020042
34 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、草の実、紙	21.7×18.1	受贈	版画	2020043
35 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RNT	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、電気ドリル、紙	24.5×16.6	受贈	版画	2020044
36 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐 蝕、紐、紙	22.7×16.2	受贈	版画	2020045
37 一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	MAM	1977(昭和 52)	トタン版天然腐蝕、 紙	20.7×15.0	受贈	版画	2020046

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
38	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1977(昭和 52)	金属凹版、紙	17.6×13.1	受贈	版画	2020047
39	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1978(昭和 53)	モノタイプ、紙	6.8×12.5	受贈	版画	2020048
40	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	SIM(c)	1978(昭和 53)	モノタイプ、紙	14.7×20.0	受贈	版画	2020049
41	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	NIU	1978(昭和 53)	アルミニウム版腐 蝕、紐、紙	20.0×14.3	受贈	版画	2020050
42	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	REN(m)	1979(昭和 54)	モノタイプ、紙	9.8×20.0	受贈	版画	2020051
43	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	MP(d)	1979(昭和 54)	アルミニウム版腐 蝕、紙	19.8×13.8	受贈	版画	2020052
44	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	MP(d)	1979(昭和 54)	アルミニウム版腐 蝕、塗料、電気ブラ シ、紙	19.6×13.8	受贈	版画	2020053
45	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	COR	1979(昭和 54)	鉄、天然腐蝕、紙	10.0×9.1	受贈	版画	2020054
46	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	風の目 Eye of the Wind	1979(昭和 54)	金属凹版、紙	21.1×15.3	受贈	版画	2020055
47	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1979(昭和 54)	金属凹版、紙	19.9×15.8	受贈	版画	2020056
48	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1980(昭和 55)	アルミニウム版腐 蝕、紙	10.0×8.5	受贈	版画	2020057
49	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	標識板 10 Signpate10	1981(昭和 56)	ほうろう標識板天然 腐蝕、紙	44.4×29.8	受贈	版画	2020058
50	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	SUS(4)	1981(昭和 56)	金属凹版、紙	15.0×9.8	受贈	版画	2020059
51	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	FC2	1982(昭和 57)	鉄板天然腐蝕、電気 ドリル、紙	24.0×14.5	受贈	版画	2020060
52	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	HBG(2)	1984(昭和 59)	自動車ボディ板、電 気ブラシ、紙	18.9×16.6	受贈	版画	2020061
53	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	HBI	1984(昭和 59)	自動車ボディ板、電 気サンダー、電気ド リル、紙	18.8×16.7	受贈	版画	2020062
54	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	CBG	1984(昭和 59)	自動車ボディ板、ガ スパナー跡、紙	21.0×19.1	受贈	版画	2020063
55	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	Ka5	1985(昭和 60)	金属凹版、紙	9.6×8.6	受贈	版画	2020064
56	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	Ka6	1985(昭和 60)	金属凹版、紙	9.6×8.6	受贈	版画	2020065
57	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	Ka7	1985(昭和 60)	金属凹版、紙	9.5×8.7	受贈	版画	2020066
58	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1985(昭和 60)	金属凹版、紙	18.0×12.4	受贈	版画	2020067
59	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1987(昭和 62)	モノタイプ、紙	18.0×13.5	受贈	版画	2020068
60	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	SIV(n)	1987(昭和 62)	モノタイプ、紙	5.1×4.5	受贈	版画	2020069

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
61	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1988(昭和 63)	モノタイプ、紙	10.1×6.6	受贈	版画	2020070
62	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1988(昭和 63)	モノタイプ、紙	93.9×84.5	受贈	版画	2020071
63	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1988(昭和 63)	モノタイプ、紙	49.8×39.5	受贈	版画	2020072
64	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	F(nor)3	1988(昭和 63)	鉄板天然腐蝕、電気 ドリル、紙	28.7×54.0	受贈	版画	2020073
65	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	LY(9)	1988(昭和 63)	金属凹版、紙	15.1×11.9	受贈	版画	2020074
66	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RU2	1988(昭和 63)	金属凹版、紙	18.7×14.9	受贈	版画	2020075
67	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RU(17)	1988(昭和 63)	金属凹版、紙	18.5×15.0	受贈	版画	2020076
68	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RW(e)2	1988(昭和 63)	金属凹版、紙	16.4×10.0	受贈	版画	2020077
69	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RU(e)7	1988(昭和 63)	金属凹版、紙	18.5×14.9	受贈	版画	2020078
70	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RU(c)11	1988(昭和 63)	金属凹版、紙	18.4×15.0	受贈	版画	2020079
71	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RU(c)8	1988(昭和 63)	金属凹版、紙	19.2×14.9	受贈	版画	2020080
72	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RU(c)15	1988(昭和 63)	金属凹版、紙	17.9×15.0	受贈	版画	2020081
73	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	3Q	1988(昭和 63)	アルミニウム版腐蝕、紙	19.9×14.6	受贈	版画	2020082
74	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	X0(c)	1989(平成元)	ステンレス版腐蝕、紙	8.8×7.5	受贈	版画	2020083
75	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1990(平成 2)	モノタイプ、紙	8.9×9.9	受贈	版画	2020084
76	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1990(平成 2)	モノタイプ、紙	15.0×7.4	受贈	版画	2020085
77	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	H.P(5)	1992(平成 4)	トタン版、電気サン ダー、電気ドリル、 紙	31.5×49.7	受贈	版画	2020086
78	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1993(平成 5)	金属凹版、紙	41.8×51.4	受贈	版画	2020087
79	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	UC4d	1994(平成 6)	金属凹版、紙	20.4×16.7	受贈	版画	2020088
80	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1995(平成 7)	金属凹版、紙	9.8×8.3	受贈	版画	2020089
81	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1997(平成 9)	金属凹版、紙	20.0×10.5	受贈	版画	2020090
82	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1997(平成 9)	熱版(紙焼付け)、 紙	13.0×12.8	受贈	版画	2020091
83	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	RON	1998(平成 10)	モノタイプ、紙	39.5×49.7	受贈	版画	2020092

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
84	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1998(平成 10)	モノタイプ、紙	49.5×39.8	受贈	版画	2020093
85	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1998(平成 10)	アルミニウム版腐 蝕、紙	39.5×33.0	受贈	版画	2020094
86	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1998(平成 10)	熱版(紙焼付け)、 紙	30.0×30.0	受贈	版画	2020095
87	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1998(平成 10)	熱版(紙焼付け)、 段ボール	30.0×30.0	受贈	版画	2020096
88	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	7.2×9.8	受贈	版画	2020097
89	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	9.8×7.3	受贈	版画	2020098
90	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	6.8×12.3	受贈	版画	2020099
91	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	7.3×9.8	受贈	版画	2020100
92	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	10.3×6.5	受贈	版画	2020101
93	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	4.8×4.8	受贈	版画	2020102
94	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	12.3×7.0	受贈	版画	2020103
95	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	9.7×6.6	受贈	版画	2020104
96	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	12.5×7.1	受贈	版画	2020105
97	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	12.4×6.9	受贈	版画	2020106
98	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	9.5×6.5	受贈	版画	2020107
99	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	11.0×6.6	受贈	版画	2020108
100	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	11.0×6.5	受贈	版画	2020109
101	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	12.5×6.9	受贈	版画	2020110
102	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	7.0×12.5	受贈	版画	2020111
103	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	モノタイプ、紙	6.9×12.5	受贈	版画	2020112
104	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	N1	1999(平成 11)	ステンレス版腐蝕、 紙	12.1×6.4	受贈	版画	2020113
105	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	N11	1999(平成 11)	ステンレス版腐蝕、 紙	12.0×8.3	受贈	版画	2020114
106	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1999(平成 11)	ステンレス版腐蝕、 紙	17.6×8.3	受贈	版画	2020115

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
107	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	BZ2	1999(平成 11)	ステンレス版腐蝕、 紙	17.2×11.7	受贈	版画	2020116
108	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	BZ3	1999(平成 11)	ステンレス版腐蝕、 紙	16.5×15.1	受贈	版画	2020117
109	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	QZ4	1999(平成 11)	ステンレス版腐蝕、 紙	20.0×10.0	受贈	版画	2020118
110	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	QZ1	1999(平成 11)	ステンレス版腐蝕、 紙	19.8×10.0	受贈	版画	2020119
111	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	QZ3	1999(平成 11)	金属凹版、紙	20.0×9.9	受贈	版画	2020120
112	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	BZ32	1999(平成 11)	金属凹版、紙	25.5×13.8	受贈	版画	2020121
113	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	QA1	1999(平成 11)	金属凹版、紙	19.8×5.0	受贈	版画	2020122
114	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	N11	1999(平成 11)	金属凹版、紙	10.7×6.3	受贈	版画	2020123
115	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	QZ10	1999(平成 11)	金属凹版、紙	14.6×10.0	受贈	版画	2020124
116	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	V06	1999(平成 11)	金属凹版、紙	7.5×7.3	受贈	版画	2020125
117	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	V07	1999(平成 11)	金属凹版、紙	7.5×7.5	受贈	版画	2020126
118	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	X0(c)	1999(平成 11)	金属凹版、紙	8.7×7.5	受贈	版画	2020127
119	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	X0(d)	1999(平成 11)	金属凹版、紙	8.7×7.5	受贈	版画	2020128
120	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	X0(o)	1999(平成 11)	金属凹版、紙	8.5×7.5	受贈	版画	2020129
121	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2000(平成 12)	アルミニウム版腐 蝕、紙	39.9×32.4	受贈	版画	2020130
122	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2000(平成 12)	アルミニウム版腐 蝕、紙	39.6×32.6	受贈	版画	2020131
123	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2000(平成 12)	金属凹版、紙	11.9×6.5	受贈	版画	2020132
124	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2001(平成 13)	モノタイプ、金属凹 版、紙	56.8×38.0	受贈	版画	2020133
125	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2001(平成 13)	モノタイプ、金属凹 版、紙	62.7×45.2	受贈	版画	2020134
126	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2001(平成 13)	アルミニウム版腐 蝕、紙	49.7×37.1	受贈	版画	2020135
127	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2001(平成 13)	金属凹版、紙	11.8×6.5	受贈	版画	2020136
128	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2002(平成 14)	モノタイプ、紙	16.3×13.0	受贈	版画	2020137
129	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	30.0×20.4	受贈	版画	2020138

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
130	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	30.3×20.1	受贈	版画	2020139
131	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	30.3×25.6	受贈	版画	2020140
132	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	30.1×25.6	受贈	版画	2020141
133	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	30.1×25.0	受贈	版画	2020142
134	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	25.0×20.0	受贈	版画	2020143
135	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	9.8×20.0	受贈	版画	2020144
136	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	17.3×21.3	受贈	版画	2020145
137	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	10.0×6.5	受贈	版画	2020146
138	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	12.8×9.2	受贈	版画	2020147
139	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	11.3×7.8	受贈	版画	2020148
140	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	15.0×9.8	受贈	版画	2020149
141	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	15.0×9.9	受贈	版画	2020150
142	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	4.1×10.1	受贈	版画	2020151
143	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	7.4×15.0	受贈	版画	2020152
144	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	7.2×15.0	受贈	版画	2020153
145	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	5.0×4.0	受贈	版画	2020154
146	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	5.0×4.5	受贈	版画	2020155
147	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	4.5×5.0	受贈	版画	2020156
148	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	3.9×3.9	受贈	版画	2020157
149	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	4.7×4.8	受贈	版画	2020158
150	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	6.8×4.9	受贈	版画	2020159
151	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	4.0×4.0	受贈	版画	2020160
152	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	79.8×120.1	受贈	版画	2020161

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
153	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	76.7×106.8	受贈	版画	2020162
154	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	100.0×78.0	受贈	版画	2020163
155	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	4.7×4.7	受贈	版画	2020164
156	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	3.9×5.1	受贈	版画	2020165
157	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、紙	5.1×4.4	受贈	版画	2020166
158	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	8.0×12.0	受贈	版画	2020167
159	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	19.5×19.7	受贈	版画	2020168
160	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	19.5×19.6	受贈	版画	2020169
161	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	7.0×11.8	受贈	版画	2020170
162	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	9.9×6.9	受贈	版画	2020171
163	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	9.0×7.5	受贈	版画	2020172
164	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	9.0×7.5	受贈	版画	2020173
165	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	9.0×7.6	受贈	版画	2020174
166	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	9.2×7.9	受贈	版画	2020175
167	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		アルミニウム版腐 蝕、紙	25.9×19.8	受贈	版画	2020176
168	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		トタン板天然腐蝕、 切抜き、紙	26.1×28.1	受贈	版画	2020177
169	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		トタン版、電気ドリ ル、電気ブラシ、紙	13.0×9.0	受贈	版画	2020178
170	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		鉄版、電気サンダ ー、電気ドリル、紙	5.9×4.5	受贈	版画	2020179
171	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		銅版腐蝕、紙	9.7×8.6	受贈	版画	2020180
172	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	27.6×59.2	受贈	版画	2020181
173	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	29.9×54.0	受贈	版画	2020182
174	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	42.0×52.0	受贈	版画	2020183
175	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	39.3×55.0	受贈	版画	2020184

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
176	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	24.8×37.7	受贈	版画	2020185
177	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	10.4×39.5	受贈	版画	2020186
178	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	19.9×20.0	受贈	版画	2020187
179	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	25.9×19.6	受贈	版画	2020188
180	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	27.6×14.8	受贈	版画	2020189
181	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	26.1×20.2	受贈	版画	2020190
182	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	24.1×14.9	受贈	版画	2020191
183	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	24.4×14.9	受贈	版画	2020192
184	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	15.3×23.4	受贈	版画	2020193
185	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	15.8×22.2	受贈	版画	2020194
186	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	28.0×19.2	受贈	版画	2020195
187	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.5×15.0	受贈	版画	2020196
188	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	14.2×9.0	受贈	版画	2020197
189	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.4×10.0	受贈	版画	2020198
190	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	8.1×12.0	受贈	版画	2020199
191	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	14.7×7.3	受贈	版画	2020200
192	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	19.8×19.8	受贈	版画	2020201
193	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	19.7×18.0	受贈	版画	2020202
194	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	11.6×9.2	受贈	版画	2020203
195	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	11.7×9.0	受贈	版画	2020204
196	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	19.9×4.7	受贈	版画	2020205
197	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	20.0×10.5	受贈	版画	2020206
198	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	20.0×10.5	受贈	版画	2020207

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
199	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	11.9×13.8	受贈	版画	2020208
200	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	18.7×18.5	受贈	版画	2020209
201	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	19.7×10.5	受贈	版画	2020210
202	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	12.4×10.0	受贈	版画	2020211
203	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.3×7.2	受贈	版画	2020212
204	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	5.0×4.9	受贈	版画	2020213
205	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.4×5.7	受贈	版画	2020214
206	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.0×7.5	受贈	版画	2020215
207	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	8.5×6.4	受贈	版画	2020216
208	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	8.4×7.5	受贈	版画	2020217
209	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.4×8.0	受贈	版画	2020218
210	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.1×8.1	受贈	版画	2020219
211	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	8.0×7.8	受贈	版画	2020220
212	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.9×7.9	受贈	版画	2020221
213	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	10.7×6.4	受贈	版画	2020222
214	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.9×7.9	受贈	版画	2020223
215	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	8.9×8.9	受贈	版画	2020224
216	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.3×7.4	受贈	版画	2020225
217	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.8×10.0	受贈	版画	2020226
218	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.9×9.9	受贈	版画	2020227
219	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.9×9.2	受贈	版画	2020228
220	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.9×7.9	受贈	版画	2020229
221	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.4×7.4	受贈	版画	2020230

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
222	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.9×9.9	受贈	版画	2020231
223	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.0×7.5	受贈	版画	2020232
224	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	8.0×7.9	受贈	版画	2020233
225	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	6.9×7.0	受贈	版画	2020234
226	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	8.1×10.0	受贈	版画	2020235
227	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.9×9.9	受贈	版画	2020236
228	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.9×9.9	受贈	版画	2020237
229	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.5×7.5	受贈	版画	2020238
230	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	10.2×7.6	受贈	版画	2020239
231	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	10.0×5.0	受贈	版画	2020240
232	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	7.5×7.5	受贈	版画	2020241
233	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.5×8.4	受贈	版画	2020242
234	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.8×5.0	受贈	版画	2020243
235	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.7×8.6	受贈	版画	2020244
236	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.9×4.9	受贈	版画	2020245
237	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	9.3×8.5	受贈	版画	2020246
238	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	6.9×4.5	受贈	版画	2020247
239	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版、紙	8.7×5.8	受贈	版画	2020248
240	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	10.0×7.1	受贈	版画	2020249
241	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	9.9×7.0	受贈	版画	2020250
242	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	10.0×7.2	受贈	版画	2020251
243	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	10.0×7.0	受贈	版画	2020252
244	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	9.9×7.1	受贈	版画	2020253

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
245	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	10.1×7.0	受贈	版画	2020254
246	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	6.8×10.0	受贈	版画	2020255
247	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	10.3×6.0	受贈	版画	2020256
248	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	10.0×7.1	受贈	版画	2020257
249	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	10.0×6.9	受贈	版画	2020258
250	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	10.0×7.1	受贈	版画	2020259
251	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		熱版 (紙焼付け)、 紙	9.8×7.1	受贈	版画	2020260
252	岩橋 英遠 IWAHASHI Eien	1903-1999 (明治 36- 平成 11)	明治 Meiji	1950(昭和 25)	紙本彩色／二曲一双 屏風	各 170.0× 184.0	購入	日本画	2020003
253	蠣崎 波響 KAKIZAKI Hakyō	1764-1826 (明和元-文 政 9)	蜂巣ト猿 Monkey and Beehive	1818-1826 (文政年間)	絹本彩色／軸	30.5×94.0	受贈	日本画	2020004
254	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	黄と緑の階調 Snow Garden	1995(平成 7)	水彩、紙	31.0×40.0	受贈	水彩・ 素描	2020009
255	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	形象・黄 Figures, Yellow	1996(平成 8)	油彩、キャンパス	32.0×41.0	受贈	油彩	2020001
256	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	難波田龍起リトグラフ イ集 1991 生物的形象 A Tatsuoki Nambata Lithographies 1991: Biological Forms A	1991(平成 3)	リトグラフ、紙	45.5×38.0	受贈	版画	2020261- 01
	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	難波田龍起リトグラフ イ集 1991 生物的形象 B Tatsuoki Nambata Lithographies 1991: Biological Forms B	1991(平成 3)	リトグラフ、紙	38.0×45.5	受贈	版画	2020261- 02
257	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	難波田龍起リトグラフ イ集 1992 生成の詩 A Tatsuoki Nambata Lithographies 1992: Poem of Formation A	1992(平成 4)	リトグラフ、紙	38.0×46.0	受贈	版画	2020262- 01
	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	難波田龍起リトグラフ イ集 1992 生成の詩 B Tatsuoki Nambata Lithographies 1992: Poem of Formation B	1992(平成 4)	リトグラフ、紙	45.5×38.0	受贈	版画	2020262- 02
258	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	線のエチュード B Étude of Lines B	1994(平成 6)	モノタイプ、紙	32.0×41.0	受贈	版画	2020263
259	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	線のエチュード D Étude of Lines D	1994(平成 6)	モノタイプ、紙	35.0×41.0	受贈	版画	2020264
260	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	線のプレリュード D Prelude of Lines D	1994(平成 6)	モノタイプ、紙	44.0×54.0	受贈	版画	2020265
261	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	線のプレリュード E Prelude of Lines E	1994(平成 6)	モノタイプ、紙	47.0×56.0	受贈	版画	2020266

作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
262	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	難波田龍起全版画作品集 群像 A Nambata Tatsuoki Print Works 1952- 1997: Group A	1997(平成 9)	リトグラフ、紙	44.0×36.5	受贈	版画	2020267- 01
263	山内 壮夫 YAMAUCHI Takeo	初夏 Early Summer	1947(昭和 22)	油彩、キャンバス	23.8×32.7	管理 替	油彩	2020002

日本近代の美術 Modern Japanese Art

作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
264	棟方 志功 MUNAKATA Shiko	海の魚貝 Sea Fish and Shellfish		紙本彩色／軸	67.6×33.5	受贈	日本画	2020005
265	棟方 志功 MUNAKATA Shiko	猫仔図 Kitten		紙本彩色／軸	47.4×32.3	受贈	日本画	2020006
266	棟方 志功 MUNAKATA Shiko	丸に女神 Goddess in a Circle		紙本彩色／軸	33.8×32.6	受贈	日本画	2020007
267	横山 大観 YOKOYAMA Taikan	秋思 Autumnal Melancholy	1898(明治 31)	絹本彩色／軸	158.0×82.5	受贈	日本画	2020008

資料 Reference materials

作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
1	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	『デ・プロフィンディ ス』 詩 友田多崑雄 画 一原有徳	1996(平成 8)	紙	書籍：18.4× 12.9	受贈	版画	∮00555
2	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	『銅のメモ』 版画 一原有徳 詩 友田多崑雄	2000(平成 12)	紙	書籍：18.7× 13.1	受贈	版画	∮00556
3	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	X0(c)原版 Plate for "X0(c)"		亜鉛版	8.1×7.5	受贈	版画	∮00554
4	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	[不詳] [unknown]		墨、水彩、紙	10.0 ×12.9	受贈	水彩・ 素描	∮00544
5	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	[不詳] [unknown]		墨、水彩、紙	11.7 ×15.5	受贈	水彩・ 素描	∮00545
6	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	[不詳] [unknown]		墨、水彩、紙	9.5 ×23.5	受贈	水彩・ 素描	∮00546
7	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	[不詳] [unknown]		墨、水彩、紙	5.7 ×14.3	受贈	水彩・ 素描	∮00547
8	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	[不詳] [unknown]		墨、水彩、紙	23.4 ×8.1	受贈	水彩・ 素描	∮00548
9	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	[不詳] [unknown]		墨、水彩、紙	12.7 ×18.3	受贈	水彩・ 素描	∮00549
10	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	[不詳] [unknown]		墨、水彩、紙	13.9 ×23.7	受贈	水彩・ 素描	∮00550

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	分野	番号
11	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		水彩、紙	26.7 × 39.4	受贈	水彩・ 素描	シ00551
12	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		水彩、紙	22.1 × 39.4	受贈	水彩・ 素描	シ00552
13	難波田 龍起 NANBATA Tatsuoki	1905-1997 (明治 38- 平成 9)	[全道展 35 周年記念 展図録のためのカッ ト]	1980(昭和 55)	ペン、紙	14.5×10.7	受贈	水彩・ 素描	シ00553

3-1 展覧会① 近美コレクション

◆ 〈近美コレクション〉一覧

No.	展覧会名	開催期間	開催日数	同時開催
1	ひと・ヒト・人	5月26日(火) ～6月28日(日)	30日	◆わたしと絵のあいだに ◆なんちゃってカエル名画展 ◆新収蔵品展 ◆この1点を見てほしい。 - ウィリアム・ホガース 《侵略(フランス)》《侵略(イギリス)》
2	ひと・ヒト・人	7月4日(土) ～9月6日(日) 〔展示室A〕	56日	◆アートギャラリー北海道 太陽の森 デイマシオ美術館コレクション ◆わたしと絵のあいだに ◆この1点を見てほしい。 - ウィリアム・ホガース 《侵略(フランス)》《侵略(イギリス)》
	山川草木 美は自然に宿る	7月11日(土) ～9月6日(日) 〔展示室B〕	50日	◆なんちゃってカエル名画展 ◆この1点を見てほしい。 - 栗谷川 健一《古代オリンピック塔》
3	ヴィジュアル・ガストロノミー —いただきます。ごちそうさま。	9月19日(土) ～11月8日(日)	45日	◆アートギャラリー北海道 太陽の森 デイマシオ美術館コレクション ◆この1点を見てほしい。 - 溪斎 英泉《花魁道中 鯉の滝のぼり》
4	日本の美	11月21日(土) ～令和3年2月14日(日)	68日	◆この1点を見てほしい。 - マルク・シャガール《パリの空に花》
5	池田良二展／一原有徳展	令和3年2月27日(土) ～4月4日(日)	32日 (年度内 28日)	◆日本のガラス—江戸から現代まで— ◆この1点を見てほしい。 - 岩田 藤七《水指・花》

当初予定（新型コロナウイルス感染拡大により上記日程と内容に変更）

No.	展覧会名	開催期間	同時開催
1	ひと・ヒト・人	4月18日(土) ～6月21日(日)	◆わたしと絵のあいだに ◆なんちゃってカエル名画展 ◆新収蔵品展 ◆この1点を見てほしい。 - ウィリアム・ホガース 《侵略(フランス)》《侵略(イギリス)》
2	山川草木 美は自然に宿る	7月4日(土) ～9月6日(日)	◆アートギャラリー北海道 太陽の森 デイマシオ美術館 コレクション ◆この1点を見てほしい。 - 栗谷川 健一《古代オリンピック塔》
3	ヴィジュアル・ガストロノミー —いただきます。ごちそうさま。	9月19日(土) ～11月8日(日)	◆アートギャラリー北海道 太陽の森 デイマシオ美術館 コレクション ◆この1点を見てほしい。 - 溪斎 英泉《花魁道中 鯉の滝のぼり》
4	池田良二展／一原有徳展	令和3年2月27日(土) ～3月31日(水)	◆ふれるかたち ◆この1点を見てほしい。 - 岩田 藤七《水指・花》

1 ひと・ヒト・人……あつまる人々、つらなる面々

(同時開催：わたしと絵のあいだに／なんちゃってカエル名画展／新収蔵品展／この1点を見てほしい。)

会 期：5月26日(火)～6月28日(日)
会 場：北海道立近代美術館 展示室A
主 催：北海道立近代美術館
後 援：札幌市、札幌市教育委員会

ひと・ヒト・人……あつまる人々、つらなる面々

People, People, People

美術の大きな主題でもある人間像、なかでも、ひとつの画面に何人もの人々を収めて描く群像の表現は、人物の配置やポーズ、喜怒哀楽の表情や情感などに、確かな構成力や描写力が示される。あつまり、居ならび、ひしめきあう人間たちの姿からは、さまざまに織りなされた人生の流転や、多彩なドラマも秘められるものとして、絵画のほか彫刻なども含め多様な群像表現を紹介した。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大と緊急事態宣言の発令により、2月29日(土)～5月25日(月)まで休館の処置がとられた。これにより、同時開催の展覧会とともに、当初予定の会期(4/18(土)～6/21(日))は開幕がずれ込み、さらにその後、7月から9月開催の第Ⅱ期まで会期を大幅延長(新収蔵品展を除く)する変則的な開催となった。



＝同時開催＝

わたしと絵のあいだに

Closing the Space between You and Painting

美術館で作品を觀賞する際に生じる鑑賞者と絵の「あいだ」に着目し、通常とは異なる展示・鑑賞方法により絵と向き合うことで、いつもは意識することのない「あいだ」を体験することを企図した。作品の前に、カーテンを引いて視界を取って妨げたり、作品と一対一で向き合う空間を設けたり、画家の自画像を鏡写しで見たりする試みを実施した。

◎展示構成

- ・ 遮られて、見る
- ・ ちらっと、見る
- ・ 私の気分、絵の気分
- ・ 親密な絵
- ・ 画家のすがた、鏡のなかの絵

なんちゃってカエル名画展

～ふりかえる、よみがえる。キンビで見た、あの展覧会!? あの作品!? いつだって君は井の中、いや、絵の中にいた!!

Depictions of Frogs and Memories of Previous Exhibitions at the Hokkaido Museum of Modern Art

なんちゃってカエル名画とは、北海道立近代美術館(キンビ)の展覧会で紹介された世界の名画を大胆なまでにカエル色に染めた、福士ユキコ(札幌生まれ)の創意あふれる作品たち。平成21(2009)年から約10年にわたるキンビの歩みをふりかえりながら、カエル名画37点によってその魅力を紹介した。新型コロナウイルス感染拡大のため当初予定の会期変更と会期延長、会期中での会場変更があった。また、北海道リモート・ミュージアムによる動画配信を行った。

◎展示構成

2009「セザンヌ主義」「これくしょん・ぎやらりい パスキン展」「佐伯祐三展」、2010「古代ローマ展」「これくしょん・ぎやらりい シャガールとパスキン」「本願寺展」、2011「浮世絵細見」「皇帝の愛したガラス」、2012「大原美術館展」、2014「ミュシャ展」「徳川美術館展」、2015「夢見るフランス絵画展」、2017「大原美術館展Ⅱ」「ゴッホ展」、2018「ブリヂストン美術館展」「日本の美・百花繚乱」、2019「カラヴァッジョ展」

新収蔵品展

New Acquisitions

令和元(2019)年度新たに収蔵した総点77点の作品のうち、北海道ゆかりの作家の作品を中心に20点を紹介した。

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

・ウィリアム・ホガース《侵略（フランス）》《侵略（イギリス）》

●作品展示

日本通運株式会社

●会場設営

株式会社松原建装

●広報印刷物

ポスター：B2 判縦

チラシ：A4 判縦

デザイン：佐藤守功

印刷：東洋印刷株式会社

●出品目録

A3 判二つ折り 4 頁（当館簡易印刷）

●関連事業等

[ミュージアム・トーク]

本書 4-3 解説活動に記載

●主な掲載、放送等

[新聞]

北海道新聞

「名画の主人公「カエル」に」 6月25日（木）夕刊

（読者の声）「群像表現から感じたエール」高下はつ 8月8日（土）

[放送、配信]

北海道リモート・ミュージアム

「近美コレクション〈ひと・ヒト・人〉」 5月25日（月）

配信開始

「近美コレクション〈なんちゃってカエル名画展〉」 6月1日（月）配信開始

ひと・ヒト・人 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	木村 多伎子	ベナレスの地	1998(平成 10)	木版、紙／六曲一隻屏風	139.3×417.0
2	寺崎 広業	歳の市	1898(明治 31)	紙本彩色／軸	237.5×452.0
3	田中 良	歳の市 (A)	1966(昭和 41)	油彩、キャンバス	162.2×129.9
4	山田 義夫	人梯	1938(昭和 13)	油彩、キャンバス	117.5×91.5
5	伏木田 光夫	人間の季節—晩餐	1960-63(昭和 35-38)	中央：油彩、トノコ、コンテ、クレパス、ボード 左右：油彩、コンテ、ベニヤ、和紙	中央：182.0×182.5 左右：183.5×92.5
6	田中 忠雄	アリマタヤのヨセフの行い	1959(昭和 34)	油彩、キャンバス	226.5×132.0
7	国松 登	横切る人々	1988(昭和 63)	油彩、キャンバス	227.5×181.8
8	菊川 多賀	森	1962(昭和 37)	紙本彩色／額	173.7×245.5
9	岩橋 英遠	阿寒湖畔の松浦武四郎	1970(昭和 45)	紙本彩色／額	193.9×259.1
10	久保 守	開拓計画を練る	1971(昭和 46)	油彩、キャンバス	227.3×181.8
11	片岡 球子	函館街頭風景	1971(昭和 46)	紙本彩色／額	193.9×259.1
12	月岡 栄貴	和楽	1957(昭和 32)	紙本彩色／額	206.0×161.0
13	熊谷 明宏	トリオ・サウンズ	1968(昭和 43)	油彩、キャンバス	145.6×112.7
14	郭 徳俊	無意味 972	1997(平成 9)	アクリル絵具、キャンバス、雑誌	193.5×112.0
15	ダナ・ザーメチニー コヴァ	私の家族	1997	板ガラス、着色、ミクスドメディア	120.0×56.1×210.0
16	米谷 雄平	あなたはだれですか又は複眼の旅	1966(昭和 41)	サインペン、紙	97.7×102.5
17	桂川 寛	螺旋階段 B	2003(平成 15)	水彩、グアッシュ、パステル、紙	52.3×36.3
18	後藤 良二	空間の格子	1981(昭和 56)	鉄、FRP	237.7×265.4×252.3
19	山内 壮夫	子を守る母たち	1953(昭和 28)	石膏	65.0×58.0×192.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ

※Nos. 9-11 は北海道蔵、その他は当館蔵

わたしと絵のあいだに 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	野田 弘志	THE-8	2002-2007(平成 14-19)	油彩、キャンバス	130.3×162.1
2	能勢 真美	初秋の庭	1966(昭和 41)	油彩、キャンバス	98.0×227.5
3	久保 守	木馬のある風景	1958(昭和 33)	油彩、キャンバス	91.0×116.7
4	徳丸 滋	森	1982(昭和 57)	油彩、キャンバス	130.5×193.5
5	鹿子木 孟郎	裸婦	1902(明治 35)頃	油彩、キャンバス	80.4×44.2
6	佐藤 武	時	1987(昭和 62)	油彩、キャンバス	182.0×227.5
7	花田 和治	海 I	1990(平成 2)	油彩、キャンバス	77.0×385.0
8	ブリジット・ライリー	VIVA	1985	油彩、リネン	156.5×129.5
9	岸本 裕躬	乗客 (1)	1979(昭和 54)	油彩、キャンバス	130.3×162.0
10	俣野 第四郎	静物 (2)	1924(大正 13)	油彩、キャンバス	37.8×45.6
11	深井 克美	自画像	1970(昭和 45)	油彩、キャンバス	53.0×45.5

※寸法は縦×横

※No. 1 は河村泳静氏蔵（当館寄託）、その他は当館蔵

なんちゃってカエル名画展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《セザンヌ〈カード遊びをする人々へのオマージュ〉》	2009(平成 21)	油彩、アクリル、 キャンバス	33.3×24.2
2	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《セザンヌ〈青い衣装のセザンヌ夫人〉》	2009(平成 21)	油彩、アクリル、 キャンバス	22.7×15.8
3	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《スーチン〈祈る男〉》	2009(平成 21)	油彩、アクリル、 キャンバス	41.0×24.2
4	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《佐伯祐三〈郵便配達夫〉》	2009(平成 21)	油彩、アクリル、 キャンバス	33.3×24.2
5	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《庭園の風景(東壁)》	2010(平成 22)	油彩、アクリル、 キャンバス	33.3×24.2
6	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《庭園の風景(南壁)》	2010(平成 22)	油彩、アクリル、 キャンバス	41.0×31.8
7	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《古代ローマ ラレス神》	2010(平成 22)	油彩、アクリル、 キャンバス	25.0×17.0
8	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《パスキン〈花束をもつ少女〉》	2010(平成 22)	油彩、アクリル、 キャンバス	45.5×38.0
9	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《パスキン〈二人のモデル〉》	2013(平成 25)	油彩、アクリル、 キャンバス	45.5×38.0
10	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《松鶴図(対面所下段)》	2010(平成 22)	油彩、アクリル、 キャンバス	24.0×17.0
11	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《歌川国貞〈江戸名所百人美女 人形町〉》	2011(平成 23)	アクリル、木パネ ル	36.4×25.7
12	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《喜多川歌麿〈婦女人相十品 文読む女〉》	2011(平成 23)	アクリル、木パネ ル	36.4×25.7
13	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《喜多川歌麿〈婦人相学十躰 面白キ相〉》	2011(平成 23)	アクリル、木パネ ル	36.4×25.7
14	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ガレ〈ヒキガエルとトンボを描いた花器〉》	2011(平成 23)	油彩、アクリル、 キャンバス	22.7×15.8
15	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《関根正二〈信仰の悲しみ〉》	2012(平成 24)	油彩、アクリル、 キャンバス	53.0×45.5
16	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《モディリアーニ〈ジャンヌ・エビュテルヌの肖像〉》	2012(平成 24)	油彩、アクリル、 キャンバス	22.7×15.8
17	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ミュシャ〈四芸術：詩〉》	2014(平成 26)	油彩、アクリル、 キャンバス	72.7×60.6
18	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ミュシャ〈1918-1928 チェコスロヴァキア共和国独 立 10 周年記念〉》	2014(平成 26)	油彩、アクリル、 キャンバス	72.7×60.6
19	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《国宝〈源氏物語絵巻 東屋(一)〉》	2014(平成 26)	アクリル、キャン バス	72.7×60.6
20	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《国宝〈源氏物語絵巻 竹河(二)〉》	2014(平成 26)	アクリル、キャン バス	72.7×60.6
21	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ルノアール〈ド・ガレア夫人の肖像〉》	2015(平成 27)	油彩、アクリル、 キャンバス	53.0×45.5
22	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《モネ〈睡蓮のある池〉》	2015(平成 27)	油彩、アクリル、 キャンバス	46.0×145.4
23	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《岸田劉生〈童女舞姿〉》	2017(平成 29)	油彩、アクリル、 キャンバス	91.0×60.6
24	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)〈タ ヴォラ・ドーリア〉(〈アンギアーリの戦い〉の軍旗争 奪場面)》	2017(平成 29)	油彩、アクリル、 木パネル	72.8×103.0
25	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《クリストーフアノ・デッラルティッシモ〈ニッコロピ ッチニーノの肖像〉》	2017(平成 29)	油彩、アクリル、 キャンバス	33.3×24.2
26	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ゴッホ〈花魁(溪斎英泉による)〉》	2017(平成 29)	油彩、アクリル、 キャンバス	91.0×60.6
27	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ゴッホ〈アルルの女(ジヌー夫人)〉》	2017(平成 29)	油彩、アクリル、 キャンバス	45.5×38.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
28	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ゴッホ〈男の肖像〉》	2017(平成 29)	油彩、アクリル、 キャンバス	45.5×38.0
29	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《青木繁〈海の幸〉》	2018(平成 30)	油彩、アクリル、 キャンバス、板	44.0×92.0
30	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《セザンヌ〈帽子をかぶった自画像〉》	2018(平成 30)	油彩、アクリル、 キャンバス	60.6×50.0
31	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ルノワール〈すわるジョルジェット・シャルパンティ エ嬢〉》	2018(平成 30)	油彩、アクリル、 キャンバス	60.6×50.0
32	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《鈴木其一〈雷神図襖〉》	2018(平成 30)	アクリル、木パネ ル	51.5×72.8
33	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《鈴木其一〈風神図襖〉》	2018(平成 30)	アクリル、木パネ ル	51.5×72.8
34	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《伊藤若冲〈象図〉》	2018(平成 30)	アクリル、木パネ ル	51.5×72.8
35	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《カラヴァッジョ〈瞑想するアッシジの聖フランチェス コ〉》	2019(令和元)	油彩、アクリル、 キャンバス	41.0×31.8
36	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《カラヴァッジョ〈病めるバッカス〉》	2019(令和元)	油彩、アクリル、 キャンバス	45.5×38.0
37	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《カラヴァッジョへのオマージュ：葉 (イメージ) 》	2019(令和元)	油彩、アクリル、 キャンバス	33.3×24.2

※寸法は縦×横

※作品はすべて作家蔵

新収蔵品展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	蠣崎 波響	花鳥図		絹本著色／軸	93.5×35.0
2	蠣崎 波響	鶴図		絹本著色／軸	89.0×34.0
3	蠣崎 波響	富嶽江春寒之図		絹本著色／軸	40.5×58.5
4	佐藤 九二男	雪庭		油彩、キャンバス	90.0×130.0
5	深井 克美	目覚	1974(昭和 49)	油彩、キャンバス	22.6×15.8
6	深井 克美	塩	1976(昭和 51)	油彩、キャンバス	22.0×27.2
7	西 八郎	声	1972(昭和 47)	油彩、キャンバス	152.8×105.0
8	西 八郎	人形	1973(昭和 48)	油彩、キャンバス	97.3×130.4
9	西 八郎	森	1977(昭和 52)	油彩、キャンバス	112.0×145.0
10	花田 和治	山と水	1989(平成元)	油彩、キャンバス	94.0×320.0
11	米原 眞司	吉兆 その2	2002(平成 14)	ガラス (被せガラス、宙吹き、ピックアップ、サンドブラスト)	37.6×35.5
12	下沢 敏也	Re-birth 痕跡	2016(平成 28)	陶土、顔料、酸化鋳物、アクリル、ボード	187.0×187.0
13	林 竹治郎	校庭	1916(大正 5)	油彩、キャンバス	44.6×56.0
14	林 竹治郎	夜店	1927(昭和 2)	油彩、キャンバス	72.0×89.9
15	林 竹治郎	豊平館	1939(昭和 14)	水彩、紙	23.1×30.9
16	林 竹治郎	北海道当別	1939(昭和 14)	水彩、紙	23.1×30.9
17	林 竹治郎	高隈山	1939(昭和 14)	水彩、紙	28.6×18.9
18	林 竹治郎	沖縄壺屋	1940(昭和 15)	水彩、紙	19.0×23.4
19	林 竹治郎	敬愛園官舎の庭	1940(昭和 15)	水彩、紙	14.0×21.0
20	林 竹治郎	[鹿児島にて スケッチをする男性]		水彩、紙	28.1×22.3

※寸法は縦×横

※作品はすべて当館蔵

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	展示期間
1	ウィリアム・ホガース	侵略 (フランス)	1756	エッチング、エンブレイヴィング、紙	32.0×39.0	5月26日(火)～ 6月28日(日)、 7月4日(土)～ 9月6日(日)
2	ウィリアム・ホガース	侵略 (イギリス)	1756	エッチング、エンブレイヴィング、紙	31.5×38.5	

※寸法は縦×横

※作品はすべて当館蔵

2 ひと・ヒト・人……あつまる人々、つらなる面々

(同時開催：アートギャラリー北海道 太陽の森 ディマシオ美術館コレクション／わたしと絵のあいだに／この1点を見てほしい。)

山川草木 美は自然に宿る

(同時開催：なんちゃってカエル名画展／この1点を見てほしい。)

- 会 期：「ひと・ヒト・人」、「太陽の森 ディマシオ美術館コレクション」、「わたしと絵のあいだに」、「この1点を見てほしい。(ウィリアム・ホガース《侵略(フランス)》《侵略(イギリス)》)」／7月4日(土)～9月6日(日)※「ひと・ヒト・人」、「わたしと絵のあいだに」、「この1点を見てほしい。」は第I期から継続
「山川草木 美は自然に宿る」、「なんちゃってカエル名画展」、「この1点を見てほしい。(栗谷川健一《古代オリンピック塔》)」／7月11日(土)～9月6日(日)※「なんちゃってカエル名画展」は第I期から継続
- 会 場：「ひと・ヒト・人」、「太陽の森 ディマシオ美術館コレクション」、「わたしと絵のあいだに」、「この1点を見てほしい。(ウィリアム・ホガース《侵略(フランス)》《侵略(イギリス)》)」／北海道立近代美術館 展示室A
「山川草木 美は自然に宿る」、「なんちゃってカエル名画展」、「この1点を見てほしい。(栗谷川健一《古代オリンピック塔》)」／北海道立近代美術館 展示室B
- 主 催：北海道立近代美術館
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
協 力：「太陽の森 ディマシオ美術館コレクション」／太陽の森 ディマシオ美術館

〔展示室A〕

ひと・ヒト・人

People, People, People

p22、24 に記載

＝同時開催＝

アートギャラリー北海道 太陽の森 ディマシオ美術館コレクション

Masterpieces from the Dí-Macció Art Museum, The Forest of Taiyo

北海道新冠町太陽に、廃校となった小学校を再生して誕生した「太陽の森 ディマシオ美術館」。そのコレクションは、フランス幻想絵画の鬼才として注目を集めたジェラルド・ディマシオの油彩やパステル、素描など、代表作200点以上が収蔵され、地域観光の特色ある施設として、多くの来場者を集めている。

道内各地の特色ある美術館を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催する本展では、令和2(2020)年に開館10周年を迎えた「太陽の森 ディマシオ美術館」のコレクションから、ディマシオの油彩と素描に加え、同館が誇るアール・デコを代表する工芸作家ルネ・ラリックのガラス作品を展覧した。

わたしと絵のあいだに

Closing the Space between You and Painting

p22、25 に記載

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

・ウィリアム・ホガース《侵略(フランス)》《侵略(イギリス)》

p22、23、29 に記載

〔展示室B〕

山川草木 美は自然に宿る

Beauty in Nature

美術の世界では、東西を問わず、古くから自然の事物や諸相を主題として、さまざまな表現が生み出されてきた。時代や地域によって表現は異なるが、そこにはそれぞれの自然観や美意識、個性がたち現れている。

この展覧会では、はじめに、人を包み込むようにやさしく、あたたかく描かれた自然を紹介。日本の自然描写には、人々の感情を投射し情緒的に描かれたものが多く見られる。そこ

には山川草木という、あらゆる自然の存在に対し信頼を寄せ、共存していこうとする、親愛の情を見ることができよう。また、四季折々、さまざまな美しさを醸し出す大自然の表情をとらえた作品には、自然を生きているものとして、生命感を宿したような風景表現が多く見受けられる。そして最後に、大いなる大自然の生動感やエネルギーを放出するような作品群を紹介。

画家たちの自然との交感、神秘的な現象との出会いも呼んで、荘厳さを備えた、圧倒的な表現も生み出してきたのである。このように、さまざまに描かれた自然表現のありようを鑑賞することで、画家たちの自然に対する考え方やまなざしを読み解くことができるよう構成した。

新型コロナウイルス感染拡大と緊急事態宣言の発令による古代エジプト展の延期に伴い、本来展示室A1階の予定であったこの展覧会の会場を展示室Bに変更し、会期立ち上がりを1週間遅らせて開催した。感染症対策も兼ねて作品数を減らして構成したが、ゆったりとした空間となり、鑑賞しやすいと評判であった。

◎展示構成

- I 山川草木 親愛なる自然、
- II 美しき自然
- III 大いなる自然



＝同時開催＝

なんちゃってカエル名画展

～ふりかえる、よみがえる。キンビで見た、あの展覧会!? あの作品!? いつだって君は井の中、いや、絵の中にいた!!

Depictions of Frogs and Memories of Previous Exhibitions at the Hokkaido Museum of Modern Art

p22、26、27 に記載

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

・栗谷川 健一 《古代オリンピック塔》

[以下のうち、作品展示と会場設営、広報印刷物は、「山川草木」「太陽の森 デイマシオ美術館コレクション」の内容]

●作品展示

日本通運株式会社

●会場設営

株式会社松原建装

●広報印刷物

ポスター：B2 判縦

チラシ：A4 判縦

デザイン：佐藤守功

印刷：須田製版

●出品目録

各A3判二つ折り4頁（当館簡易印刷）

●関連事業等

[ミュージアム・トーク]

本書4-3 解説活動に記載

[特設ライブラリー]

令和2年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業
深める・楽しむ～山川草花 北海道立図書館の蔵書から

会期：会期中

会場：山川草木展出口特設コーナー

主催：北海道立図書館、北海道立近代美術館

内容：北海道立図書館蔵書から日本画および自然に関する図書・雑誌等33冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等

[放送、配信]

北海道リモート・ミュージアム

「アートギャラリー北海道 デイマシオ美術館コレクション展」 8月5日（水）配信開始

山川草木 美は自然に宿る 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
I 山川草木 親愛なる自然					
1	山内 弥一郎	農夫	1923(大正 12)頃	絹本彩色／額	84.5×111.0
2	山内 弥一郎	ツバメ	1927(昭和 2)頃	絹本彩色／額	72.0×95.0
3	結城 素明	梅溪	1936(昭和 11)	絹本彩色／額	150.0×110.0
4	蠣崎 波響	松瀑雄鷹図		絹本彩色／軸	95.3×33.4
5	横山 大観	秋思	1898(明治 31)	絹本彩色／軸	158.0×82.5
6	網島 静観	曳舟の図	大正中期	絹本彩色／軸	129.0×51.0
7	筆谷 等観	登山の図	大正中期	絹本彩色／軸	129.0×51.0
8	小坂 芝田	万竿幽趣	明治末期-大正初期	絹本彩色／屏風	169.0×637.0
9	山口 蓬春	暖冬	1933(昭和 8)	紙本彩色金地／屏風	155.0×156.0
10	山口 蓬春	帰漁	1928(昭和 3)	紙本彩色／軸	123.0×90.0
11	山村 耕花	秋色	1933(昭和 8)	紙本彩色／軸	60.0×75.3
12	松林 桂月	新緑	1962(昭和 37)	絹本彩色／軸	66.2×83.7
II 美しき自然					
13	羽生 輝	北の岬 (知床)	1989(平成元)	彩色、板／額	181.7×227.5
14	後藤 純男	冬の層雲峡	2002(平成 14)	紙本彩色／額	128.8×192.0
15	福井 爽人	北の岬	1993(平成 5)	紙本彩色／額	71.7×89.9
16	林 竹治郎	積丹風景	1925(大正 14)	油彩、キャンバス	61.0×151.5
17	有島 武郎	やちだもの木立	1914(大正 3)	油彩、板	33.0×24.0
18	木田 金次郎	夏日風景	1930(昭和 5)頃	油彩、キャンバス	59.4×48.9
19	木田 金次郎	菜の花畑の落日	1955(昭和 30)	油彩、キャンバス	72.7×90.9
20	中村 善策	札幌夏日	1961(昭和 36)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
21	田辺 三重松	雪の狩勝峠	1939(昭和 14)	油彩、キャンバス	130.3×162.1
22	小山 昇	摩周湖	1934(昭和 9)	油彩、キャンバス	88.0×140.0
23	三岸 節子	摩周湖	1965(昭和 40)	油彩、キャンバス	59.5×108.5
24	能勢 眞美	緑庭	1930(昭和 5)	油彩、キャンバス	95.3×160.8
III 大いなる自然					
25	砂澤 ビッキ	風	1988(昭和 63)	木(ナラ)	124.0×174.5×131.0
26	岩橋 英遠	虹輪 (南溟を翔る)	1969(昭和 44)	紙本彩色／額	182.0×105.8
27	岩橋 英遠	虹輪 (来迎)	1969(昭和 44)	紙本彩色／額	182.0×105.0
28	岩橋 英遠	虹輪 (極圏を飛ぶ)	1969(昭和 44)	紙本彩色／額	181.5×105.8
29	岩橋 英遠	風雪の名瀑 (風)	1968(昭和 43)	紙本彩色／額	181.5×105.3
30	岩橋 英遠	風雪の名瀑 (雪)	1968(昭和 43)	紙本彩色／額	181.5×105.3
31	片岡 球子	山 (富士山)	1964(昭和 39)	麻布彩色／額	259.0×193.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ

※No. 5 は個人蔵 (当館寄託)、No. 17 は北海道大学大学院農学研究科蔵 (当館寄託)、その他は当館蔵

太陽の森 デイマシオ美術館コレクション 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	ジェラルール・デイマシオ		1994	油彩、キャンバス
2	ルネ・ラリック	香水瓶・コティ／アンティーク	1910	ガラス（型吹き、プレス（栓））
3	ルネ・ラリック	香水瓶・ルナリア	1912	ガラス（プレス）
4	ルネ・ラリック	香水瓶・コティ／レフルール	1912	ガラス（型吹き、プレス（栓））
5	ルネ・ラリック	香水瓶・フルーレット	1919	ガラス（型吹き、プレス（栓））
6	ルネ・ラリック	香水瓶・3羽のツバメ	1920	ガラス（型吹き、プレス（栓））
7	ルネ・ラリック	香水瓶・カランドル	1929	ガラス（型吹き、プレス（栓））
8	ルネ・ラリック	香水瓶・カクタス（サボテン）	1943	ガラス（型吹き、プレス（栓））
9	ルネ・ラリック	デカンタ・6人の人物	1914	ガラス（型吹き（瓶）、プレス（栓））
10	ルネ・ラリック	花瓶・6人の女性	1912	ガラス（プレス）
11	ルネ・ラリック	カーマスコット・クリシス	1931	ガラス（プレス）
12	ルネ・ラリック	カーマスコット・ロンシャン	1929	ガラス（プレス）
13	ルネ・ラリック	鷲	1928	ガラス（プレス）
14	ルネ・ラリック	花瓶・ボーヴェ	1931	ガラス（プレス）
15	ルネ・ラリック	花瓶・ラングドック	1929	ガラス（型吹き）
16	ルネ・ラリック	花瓶・ペトラルカ	1929	ガラス（プレス（耳はプレスで別造して溶着））
17	ルネ・ラリック	花瓶・マーガレット	1929	ガラス（プレス（耳はプレスで別造して溶着））
18	ルネ・ラリック	三脚鉢・シレーヌ	1920	ガラス（プレス）
19	ルネ・ラリック	花瓶・雄羊	1925	ガラス（プレス）
20	ルネ・ラリック	花瓶・3匹の蝶	1913	ガラス（ろう型成形）
21	ルネ・ラリック	花瓶・ダナイード	1926	ガラス（プレス）
22	ルネ・ラリック	花瓶・牧神	1931	ガラス（型吹き）
23	ルネ・ラリック	飾り鉢・オンディース	1921	ガラス（プレス）
24	ルネ・ラリック	花瓶・射手	1921	ガラス（型吹き）
25	ルネ・ラリック	蓋付き花瓶・シレーヌ	1920	ガラス（型吹き、プレス（栓））
26	ルネ・ラリック	飾り皿・カーネーション	1920	ガラス（プレス、エナメル彩）
27	ルネ・ラリック	装飾のための金属板		[5枚組]
28	ルネ・ラリック	パウダーケース・ロジェ&ガレ／愛の花	1922	真鍮（パチネ彩色）
29	ルネ・ラリック	ピントレイ・泉の女神	1925	ガラス（プレス）
30	ルネ・ラリック	飾り鉢・パンソン	1933	ガラス（プレス）
31	ルネ・ラリック	花瓶・さんざし	1921	ガラス（型吹き（把手はプレスで別造して溶着）、文様はエッチング）
32	ルネ・ラリック	花瓶・ひな菊	1923	ガラス（型吹き）
33	ルネ・ラリック	シャンパングラス・ニッポン	1930	ガラス（型吹き） [4点組]
34	ジェラルール・デイマシオ		1991	油彩、キャンバス
35	ジェラルール・デイマシオ		1978	油彩、キャンバス
36	ジェラルール・デイマシオ		1988	油彩、キャンバス
37	ジェラルール・デイマシオ		1989	油彩、キャンバス
38	ジェラルール・デイマシオ			素描、紙 [4枚組]
39	ジェラルール・デイマシオ			素描、紙 [4枚組]
40	ジェラルール・デイマシオ			素描、紙 [5枚組]
41	ジェラルール・デイマシオ			素描、紙 [3枚組]
42	ジェラルール・デイマシオ			素描、紙 [4枚組]

※デイマシオ作品には題名は付されていない

※作品はすべて太陽の森 デイマシオ美術館蔵

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	栗谷川 健一	古代オリンピック塔	1958(昭和33)	シルクスクリーン、紙	103.0×72.8

※寸法は縦×横

※作品は当館蔵

3 ヴィジュアル・ガストロノミー —いただきます。ごちそうさま。

(同時開催：アートギャラリー北海道 太陽の森 ディマシオ美術館コレクション／この1点を見てほしい。)

会 期：9月19日(土)～11月8日(日) ※「太陽の森 ディマシオ美術館コレクション」は第Ⅱ期から継続
会 場：北海道立近代美術館 展示室A
主 催：北海道立近代美術館
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
協 力：「太陽の森 ディマシオ美術館コレクション」／太陽の森 ディマシオ美術館

ヴィジュアル・ガストロノミー —いただきます。ごちそうさま。

Visual Gastronomy

ガストロノミーとは美食学・美味学のこと。古来、人びとは食をめぐるさまざまな文化を育んできた。美術においても、作家たちは食からインスピレーションを受け、数多くの作品を生み出している。食事スタイルに合わせてデザインされた器、身の回りにある食材を題材にした作品、人々が集まり豊かなコミュニケーションが生まれる団らんの情景など、その内容は多様である。

本展では、これら食をテーマにした多彩なジャンルの美術作品を紹介した。展示内容は平易であり、美術初心者も抵抗なく楽しめる内容となった。

◎展示構成

- ・食卓の彩り
- ・モデルは食べもの
- ・ごちそうは団らん
- ・食の物語
- ・ごちそうさま。



＝同時開催＝

アートギャラリー北海道 太陽の森 ディマシオ美術館コレクション

Masterpieces from the Dí-Macció Art Museum,
The Forest of Taiyo

p30、33に記載

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

- ・溪斎 英泉《花魁道中 鯉の滝のぼり》

●作品展示

日本通運株式会社

●会場設営

株式会社クリエート工房

●広報印刷物

ポスター：B2 判縦

チラシ：A4 判縦

デザイン：磯優子（文編図工室）

印刷：株式会社総北海

●出品目録

A3 判二つ折り 4 頁（当館簡易印刷）

●関連事業等

[ミュージアム・トーク]

本書 4-3 解説活動に記載

[特別オリエンテーション]

9月29日(火) 札幌市立美香保小学校

10月20日(火) 札幌市立平和小学校

●主な掲載、放送等

[新聞]

北海道通信

「札幌・近美コレクション」 9月25日(水)

北海道新聞

(さっぽろ 10 区)「食の世界 目で楽しんで」坂井哲也
10月27日(火)

[その他]

札幌交響楽団プログラム

「学芸員による本日の表紙解説【皿付鉢・ダイアナ】シーモン・ガーテ」田村允英 9月25日（金）、26日（土）

ヴィジュアル・ガストロノミー 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	エミール・ガレ	アザミ文リキユールセット	1880代	ガラス (宙吹き、型吹き、エナメル彩、金彩)	瓶：幅 10.1×径 7.8×高 22.6 / グラス：径 4.5×高 9.3 / 皿：径 31.2×高 4.6
2	ラウル・デュフィ他	葡萄酒・花・炎	刊行：1956	リトグラフ、紙	33.0×25.0 他
食卓の彩り					
3	ヴェネツィアの工房	ティーカップ	19世紀	ガラス (ホットワークによる装飾、エナメル彩、金彩)	カップ：6.3×8.5×7.1 / 皿：12.0×1.7
4	ヴェネツィアの工房	ティーカップ	19世紀末	ガラス (レースグラス)	カップ：6.5×7.8×6.7 / 皿：径 12.0×高 2.0
5	ヴェネツィアの工房	ティーカップ	19世紀	ガラス (金彩)	カップ：7.5×8.6×4.8 / 皿：11.1×1.3
6	イタリアの工房	ティーカップ	19世紀末	ガラス (エナメル彩、金彩)	カップ：8.8×8.3×4.9 / 皿：11.0×1.9
7	イタリアの工房	ティーカップ	19世紀末	ガラス (エナメル彩、金彩)	カップ：9.3×8.3×4.8 / 皿：11.2×2.2
8	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス (宙吹き、エナメル彩)	7.5×19.5
9	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ワイングラス	19世紀後半	ガラス (エナメル彩、金彩)	7.3×17.5
10	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス (型吹き、エングレーヴィング、エナメル彩、金彩)	7.9×17.1
11	イタリアの工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス (色ガラス粉と金箔、金粉による装飾、ホットワークによる装飾)	9.4×21.6
12	ボヘミアの工房	鹿文蓋付ゴブレット	19世紀中期	ガラス (型吹き、ステイニング、カット、エングレーヴィング)	9.6×27.8
13	ボヘミアの工房	蓋付ゴブレット	19世紀中期	ガラス (型吹き、ステイニング、エングレーヴィング)	12.0×35.5
14	ヴェネツィアの工房	栓付瓶	19世紀初	ガラス (グラヴェール)、黄銅渡銀、真鍮	17.0×42.0
15	不詳	蓋付瓶	19世紀後半	ガラス (金彩、エナメル彩)	14.0×25.5
16	イギリスの工房	銀飾デカンタ	1919	ガラス (銀、カット)	左：14.5×30.7 / 右：14.5×29.5
17	エミール・ガレ	カマキリ文皿	1880代	ガラス (宙吹き、エナメル彩、金彩)	11.7×6.8×3.7
18	エミール・ガレ	鳥文蓋物	1900-05頃	ガラス (被せガラス、エッチング)	9.5×15.0
19	エミール・ガレ	木の実文鉢	1890頃	ガラス (エッチング、エナメル彩)	12.7×9.9
20	ドーム	スマイレ文ボンボン入れ	1910	ガラス (エナメル彩、エッチング)	10.3×5.7
21	ドーム	銀緑飾草文大鉢	1894頃	ガラス (エッチング、金彩)、銀	23.0×11.5
22	ドーム	銀台付ヤドリギ文コンボート	1894頃	ガラス (エッチング、金彩)、銀	14.0×8.5
23	シーモン・ガーテ / オレフォッシュ社 製作	皿付鉢・ダイアナ	デザイン：1920 制作：1926	ガラス (エングレーヴィング)	鉢：15.7×21.1×11.7 / 皿：16.6×22.0×2.0
24	シーモン・ガーテ / オレフォッシュ社 製作	馬に人物文コンボート	デザイン：1920 制作：1925	ガラス (型吹き、エングレーヴィング)	23.5×18.8

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
25	エードヴァルド・ハ ルド／オレフオッシ ュ社製作	鉢・葡萄の収穫	デザイン：1924 制作：1925	ガラス (型吹き、エン グレーヴィング)	鉢：径 27.9×高 13.5/ 皿：径 29.8×高 2.2
26	エーヴァルド・ダー ルスクーグ	蓋付台付鉢・メリーゴー ランド	1926	ガラス (型吹き、カッ ト、エングレーヴィン グ)	径 28.0×高 38.5
27	中村 錦平	浪費するカップとだまっ てしまったカップ	1973(昭和 48)	陶、アクリル	31.0×31.0×65.5
28	マイケル・アーンツ	急いで	1973	陶	24.3×11.0×23.5
29	リチャード・ショー	無題	1973	陶	7.8×18.5×12.7
30	ルイス・スコーカ	月面の足跡	1973	陶	13.0×12.0×7.2
31	リサ・ラーソン	無題	1973	陶	13.7×13.0×7.7
32	テリー・イートン	拍車カップ	1973	ガラス (コーティング)	13.0×20.0×11.0
33	赤地 健	波にブカブカ	1973(昭和 48)	陶	23.0×35.5×1.9
34	トニー・ヘップバー ン	無題	1973	陶	①7.5×11.0×9.5/② 8.2×14.8×7.7/③6.1 ×9.7×6.1×10.3/④ 8.5×13.7×9.3
35	ミネオ・ミズノ	無題	1973	陶	①17.5×8.0×12.0/② 21.3×7.5×10.3/③ 17.5×8.0×11.0
36	森 正洋	六つのカップ	1973(昭和 48)	陶	①8.3×12.8×15.6/② 8.4×13.2×11.6/③8.3 ×12.9×13.4/④8.3× 13.5×11.7/⑤8.2× 12.9×13.2/⑥8.3× 13.8×11.6
37	三島 喜美代	無題	1973(昭和 48)	陶、シルクスクリーン	①28.2×28.7×12.3/② 21.9×24.0×15.0/③ 13.0×14.7×11.2
38	ヤン・デ・ローデン	カップのための記念碑	1973	陶	35.7×32.5×35.5
モデルは食べもの					
39	小枝 繁昭	Still Life on the Table #11	1991(平成 3)	シルクスクリーン、アク リル絵具、紙	118.7×177.7
40	ジョーイ・カークパ トリック/ フローラ・C.メイス	フルーツの静物	1994	ガラス (宙吹き、ガラス 粉溶着による着色)	49.8×25.1
41	タイガー立石	ピサ	1979(昭和 54)	シルクスクリーン、紙	42.0×31.2
42	ジャン=ミシェル・フ ォロン	ナイフとフォーク	1971	シルクスクリーン、紙	65.5×85.5
43	マティアス・ヴァス ク	ザ・クラシック・ビッグ・ マック	1991	リトグラフ、紙	52.0×57.5
44	ルネ・マグリット	『マグリットの落とし子た ち』 魅せられた領域：海 辺にはリンゴの顔をした二 人の訪問者がいる…	刊行：1968	リトグラフ、紙	27.5×48.5
ごちそうは団らん					
45	歌川 国貞	源氏後集余情 絵合	1858(安政 5)	木版、紙	左：37.4×25.6/右： 37.4×25.5
46	歌川 国貞	日月星ノ内 月		木版、紙	左：38.0×25.9/中： 38.4×25.9/右：37.7× 25.9
47	歌川 国貞	見立娘壇之浦		木版、紙	左：36.7×24.5/中： 36.7×24.4/右：36.7× 24.5
48	不詳	蘭人饗宴之図		木版、紙	20.0×30.0
49	歌川 国貞	〔七代目市川団十郎揮毫の 図〕		木版、紙	左：37.7×25.9/右： 37.6×26.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
50	歌川 国貞	流行美人合		木版、紙	左：38.0×25.8／中： 38.2×25.8／右：38.0× 26.1
51	歌川 国貞	酒酔の三妾		木版、紙	左：37.1×24.9／中： 37.0×25.1／右：37.2× 25.0
52	不詳	紅毛唐楽之図	江戸時代	木版、紙	20.0×30.0
53	山村 耕花	踊り・上海ニューカルトン 所見	1924(大正 13)	木版、紙	41.2×28.5
54	上野山 清貢	室内	1928(昭和 3)	油彩、キャンバス	203.0×291.0
55	森田 沙伊	匙	1974(昭和 49)	紙本彩色	126.5×129.0
56	大久保 作次郎	草上を歩む	1932(昭和 7)	油彩、キャンバス	180.0×265.0
57	青山 熊治	アイヌ	1910(明治 43)	油彩、キャンバス	150.0×188.0
58	増田 誠	Le Roi	1979(昭和 54)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
食の物語					
59	能勢 真美	青い鳥	1926(大正 15)	油彩、キャンバス	116.3×72.0
60	小寺 健吉	水辺	1929(昭和 4)	油彩、キャンバス	192.5×162.5
61	田中 忠雄	ライ麦茹込み	1947(昭和 22)	油彩、キャンバス	91.0×116.8
62	ジュール・パスキン	酒を飲む放蕩息子	1927	ドライポイント、メゾチ ント、紙	16.6×24.2
63	ジュール・パスキン	放蕩息子と娘たち	1926	ドライポイント、紙	33.5×47.9
64	ジュール・パスキン	放蕩息子	1924	ドライポイント、紙	8.9×11.7
65	ジュール・パスキン	再び放蕩息子	1927	ソフトグランドエッチン グ、紙	25.2×30.0
66	ジュール・パスキン	放蕩息子	1922	油彩、キャンバス	212.3×302.4
67	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 葡 萄の取り入れ	1957-60 刊行：1961	リトグラフ、紙	紙寸：54.1×76.4
68	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 牧 神パーンの饗宴	1957-60 刊行：1961	リトグラフ、紙	紙寸：54.1×76.4
69	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 メ ガクレースはクロエが自分 の娘であることに宴の間に 気がつく	1957-60 刊行：1961	リトグラフ、紙	紙寸：54.0×76.3
70	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 ド リュアース家での食事	1957-60 刊行：1961	リトグラフ、紙	イメージ寸：42.5×64.5
71	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 ニ ンフたちの洞窟での婚礼の 祝宴	1957-60 刊行：1961	リトグラフ、紙	紙寸：53.9×76.3
72	アントニ・クラヴァ エ	ガルガンチュア物語	1950-1955 刊行：1955	リトグラフ、紙	39.5×29.6
73	アンドレ・ドラ ン	パンタグリユエル挿画集	1941-1943 刊行：1943	木版、紙	34.3×28.0
74	エミリー・ブ ロック	セントラル・ダイ ナー	1991	ガラス (カット、フュー ジング、スランピング、 エナメル焼付、ランプワ ーク)、部分的に石と金 属	31.7×44.3×31.7
75	アン・ヴォ ルフ	スープの王様がいない	1980	ガラス (被せガラス、サ ンドブラスト、エッチン グ)	40.0×45.0
ごちそうさま。					
76	阿部 典英	ナイフ	1968(昭和 43)	アルミ、布、ベニヤ	164.0×65.0×5.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さまたは径×高さ

※No. 2 は友田多喜雄氏蔵、その他は当館蔵

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	溪斎 英泉	花魁道中 鯉の滝のぼり		木版、紙	上：37.1×24.5 下：36.5×24.2

※寸法は縦×横

※作品は当館蔵

4 日本の美

(同時開催：この1点を見てほしい。)

会 期：11月21日(土)～令和3年2月14日(日)
会 場：北海道立近代美術館 展示室A
主 催：北海道立近代美術館
後 援：札幌市、札幌市教育委員会

日本の美

Ukiyoe Prints, Japanese-style Paintings and Japanese Glass Works

「日本の美」とはなにか、それはこの国に暮らす人々の歴史や生活、感性に根ざし、実に幅広い観点からとらえられるものだろう。美術においても、日本独自の文化と多様に結びつき、多くの作品が生み出されてきた。

本展では、日本の伝統的な主題や技法を用い、その特徴をとらえやすい作品を、当館のコレクションのうち浮世絵、日本画、ガラスの各ジャンルから選んで展覧した。各作品のさまざまな表現にふれながら、そこに「日本の美」を見出してもらうことを目的とした。

◎展示構成

I 浮世美人華麗競(うきよびじんはなやぎくらべ) 一粋でお洒落で艶やかで

0. プロローグ 浮世絵版画超入門

1. 美人雪月花一映(ば)えます! 魅せます!
2. 美人そうそう(装粧)一盛ります! キメます! よそおいきます!

II 日本画一景趣、余情、うつくし、をかし

1. 四季を詠む、景趣をあはれむ
2. 沈黙を聴く、余情を味わう
3. 「うつくし」を愛で、「をかし」を楽しむ

III ガラスに見る和の世界

0. 日本のガラスの黎明
1. 生活に寄り添う
2. 飾りのガラス
3. 日本の現代ガラス



=同時開催=

この1点を見てほしい。 Enjoy One Special Piece

・マルク・シャガール《パリの空に花》

●作品展示

日本通運株式会社

●会場設営

株式会社六書堂

●広報印刷物

ポスター：〔制作なし〕

チラシ：A4判縦、4種

印刷：札幌大同印刷株式会社

デザイン：札幌大同印刷株式会社

●出品目録

A3判二つ折り6頁(当館簡易印刷)

●関連事業等

[ミュージアム・トーク]

本書4-3解説活動に記載

[特別オリエンテーション]

12月15日(火) 北海道札幌国際情報高等学校

●主な掲載、放送等

[新聞]

北海道新聞

「浮世絵や掛け軸／日本の美知って」高木緑 11月22日(日)

北海道通信

「近美コレクション「日本の美」／浮世絵などに焦点」
12月3日(木)

[その他]

ギャラリー仲摩通信

「北海道立近代美術館」星野靖隆 令和2年11、12月合併号

日本の美 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
<p style="text-align: center;">うよびじんはなやぎくらべ I 浮世美人華麗競一粋でお洒落で艶やかで</p>					
プロローグ 浮世絵版画超入門					
1	エミール・オルリック	日本の画家、彫師、摺師	1902(明治35)	リトグラフ、紙	各 21.2×18.2
2	河鍋曉斎 (摺師：三田村 努)	壁に耳あり (『狂斎百図』より復刻)	原本刊行：1863-66 復刻：2010年代	木版、紙	各 17.3×11.4 [19点組(各工程摺り)]
1 美人雪月花—映えます！魅せます！					
雪					
3	■ 歌川 国貞	[雪月花] 雪		木版、紙	大判錦絵
4	■ 歌川 国貞	江戸八景 木母寺暮雪		木版、紙	大判錦絵 三枚続
5	■ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 木母寺	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
6	■ 溪斎 英泉	吉原要事廓の四季志 十一月 仲の町雪見 玉屋内白玉		木版、紙	大判錦絵
7	□ 溪斎 英泉	婦孺の雪 伊豆の伊藤ふじ		木版、紙	大判錦絵
8	□ 歌川 国貞	歳暮の深雪		木版、紙	大判錦絵 三枚続
9	□ 溪斎 英泉	江戸勝景雪尽 愛宕の雪		木版、紙	大判錦絵
10	□ 歌川 国貞	[お高祖頭巾の女]		木版、紙	大判錦絵 縦二枚続
11	◆ 歌川 国貞	七小町 応需見立かよひ		木版、紙	大判錦絵
12	◆ 歌川 国貞	元柳橋 雪の光景		木版、紙	大判藍摺絵 三枚続
13	◆ 歌川 国貞	四季ノ内 冬		木版、紙	大判錦絵
14	◆ 歌川 国芳	[雪と娘]		木版、紙	大判錦絵 縦二枚続
月					
15	■ 溪斎 英泉	[月を眺める娘]		木版、紙	大判錦絵 縦二枚続
16	■ 歌川 国貞	[深川新地 月下の三美人]		木版、紙	大判錦絵 三枚続
17	■ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 品川歩行新宿	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
18	■ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 浅草田町	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
19	■ 歌川 広重	雪月花の内 月の夕部		木版、紙	大判錦絵 三枚続
20	■ 歌川 国芳	季寄時計年中行事 戌刻 浅草市の賑ひ		木版、紙	大判錦絵 三枚続
21	■ 歌川 国貞	雪月花のうち		木版、紙	団扇絵判錦絵
22	□ 歌川 国貞	卯月の図 [箱屋を連れた芸者]		木版、紙	大判錦絵
23	□ 歌川 国芳	納涼螢		木版、紙	大判錦絵 三枚続
24	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 鉄砲洲	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
25	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 葉げんぼり	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
26	□ 歌川 国貞	[川辺の螢狩り]		木版、紙	大判錦絵 三枚続
27	□ 歌川 国貞	向島平岩		木版、紙	大判錦絵 三枚続
28	□ 歌川 広重	隅田川三夕 橋場の夕暮		木版、紙	団扇絵判錦絵
29	◆ 歌川 国貞	月の陰忍ひ逢ふ夜 [お高祖頭巾の女]		木版、紙	大判錦絵
30	◆ 歌川 国貞	夜の桜姿の花競		木版、紙	大判錦絵 三枚続
31	◆ 歌川 国貞	今世と計十二時 寅ノ刻 夜七ツ		木版、紙	大判錦絵
32	◆ 歌川 国貞	星の霜 当世風俗 [行燈美人]		木版、紙	大判錦絵
33	◆ 歌川 国貞	[お座敷へ向かう芸者]		木版、紙	大判錦絵 三枚続
34	◆ 歌川 国芳	当盛今戸の夜げしき		木版、紙	大判錦絵 三枚続
35	◆ 歌川 国貞	星の霜 当世風俗 [蚊帳美人]		木版、紙	大判錦絵
花					
36	■ 歌川 国貞	青楼美人 雪月花 花	1809(文化6)	木版、紙	長大判錦絵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
37	■ 歌川 国貞	すみだ川花の景		木版、紙	大判錦絵 三枚続
38	■ 歌川 国貞	春宵一刻千金ノ界		木版、紙	大判錦絵 三枚続
39	■ 歌川 国貞	御好芸者五行の内 木 仲の町 桜		木版、紙	大判錦絵
40	□ 溪斎 英泉	花の宵 姿の春雨		木版、紙	大判錦絵
41	□ 溪斎 英泉	美人春の風		木版、紙	大判錦絵 三枚続
42	□ 歌川 国貞	江戸八景ノ内 隅田つつみの晴 嵐		木版、紙	大判錦絵 三枚続
43	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 あすかやま	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
44	◆ 歌川 国貞	美人合 春曙 [猫と遊ぶ]		木版、紙	大判錦絵
45	◆ 歌川 国貞 歌川 広重	東都堀切花菖蒲	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵 三枚続
46	◆ 歌川 国貞	花源氏夜の佛	1861(文久1)	木版、紙	大判錦絵 三枚続
47	◆ 歌川 房種	飛鳥山の風景		木版、紙	団扇絵判錦絵
2 美人そうそう—盛ります！キメます！よそおいますます！					
装					
48	■ 歌川 国貞	北国五色墨 [花魁]		木版、紙	大判錦絵
49	■ 歌川 国貞	江戸新吉原八朔白無垢の囃		木版、紙	大判錦絵 三枚続
50	■ 溪斎 英泉	吉原要事廓の四季志 正月 大 こくまい 玉屋内濃紫		木版、紙	大判錦絵
51	■ 溪斎 英泉	よしはらようじ廓四季志 七月 とうろうほし祭 尾張屋内嘉保 留		木版、紙	大判錦絵
52	■ 歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 秀佳き どり		木版、紙	大判錦絵
53	■ 歌川 国貞	[奉納手拭見立] 岡本屋内し けり枝		木版、紙	大判錦絵
54	■ 歌川 国貞	[奉納手拭見立] 玉や内しら 玉		木版、紙	大判錦絵
55	■ 溪斎 英泉	姿海老屋内七人		木版、紙	大判錦絵
56	■ 溪斎 英泉	傾城道中双嫁 見立よしはら五 十三対 戸塚 まつはや増山		木版、紙	大判錦絵
57	■ 溪斎 英泉	当世廓風俗 海老屋内大井		木版、紙	大判錦絵
58	■ 溪斎 英泉	当世廓風俗 岡本屋内豊岡		木版、紙	大判錦絵
59	■ 溪斎 英泉	吉原八景 瀬田之夕照 丸海老 屋内江川		木版、紙	大判錦絵
60	■ 溪斎 英泉	時世粧 [煙管を持つ花魁]		木版、紙	横大判錦絵
61	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 猿若町	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
62	□ 歌川 国貞	顔見世の光景		木版、紙	大判錦絵 三枚続
63	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 神田のやし ろ	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
64	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 東本願寺	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
65	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 京ばし	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
66	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 新大はし	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
67	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 湯島天神	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
68	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 白銀樹目谷	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
69	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 芝神明	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
70	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 十軒店	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
71	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 人形町	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
72	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 芝あたご	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
73	□ 歌川 国芳	さんかい愛度図会 これが着た い	1852(嘉永5)	木版、紙	大判錦絵
74	◆ 溪斎 英泉	[花魁道中 花鳥図]		木版、紙	大判藍摺絵 縦二枚 続
75	◆ 歌川 国貞	[吉原の花魁たち]		木版、紙	大判藍摺絵 三枚続

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
76	◆ 溪斎 英泉	吉原美人 八瀬のしのぶ 扇屋 内朝妻		木版、紙	大判藍摺絵
77	◆ 溪斎 英泉	吉原美人 いてのやまぶき 扇 屋内鳩照		木版、紙	大判藍摺絵
78	◆ 歌川 国貞	中万字や内 八ツ橋		木版、紙	大判藍摺絵
79	◆ 歌川 国貞	玉屋内 誰袖		木版、紙	大判錦絵
80	◆ 溪斎 英泉	新吉原遊君全盛五家撰 松葉屋 内松村		木版、紙	大判錦絵
81	◆ 歌川 国貞	〔文読む美人〕		木版、紙	大判藍摺絵
82	◆ 溪斎 英泉	時世美女競 辻君		木版、紙	大判錦絵
83	◆ 溪斎 英泉	今様美人拾二景 高名輪 うわ きそう		木版、紙	大判錦絵
84	◆ 溪斎 英泉	今様美人拾二景 高名輪 うわ きそう		木版、紙	大判錦絵
85	◆ 歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 梅好き どり		木版、紙	大判錦絵
86	◆ 溪斎 英泉	〔客を送る花魁〕		木版、紙	大判錦絵 縦二枚続
粧					
87	■ 歌川 国貞	今風化粧鏡 〔合せ鏡〕	1823(文政6)頃	木版、紙	大判錦絵
88	■ 歌川 国貞	今風化粧鏡 〔口紅をさす女〕	1823(文政6)頃	木版、紙	大判錦絵
89	■ 歌川 国貞	今風化粧鏡 〔歯を磨く女〕	1823(文政6)頃	木版、紙	大判錦絵
90	■ 歌川 国貞	今風化粧鏡 〔眉をかくす女〕	1823(文政6)頃	木版、紙	大判錦絵
91	■ 歌川 国貞	今風化粧鏡 〔眉を剃る女〕	1823(文政6)頃	木版、紙	大判錦絵
92	■ 歌川 国貞	今風化粧鏡 〔眉を整える女〕	1823(文政6)頃	木版、紙	大判錦絵
93	■ 溪斎 英泉	美艶仙女香 白粉		木版、紙	大判錦絵
94	■ 歌川 国芳	山海愛度図会 えりをぬきたい	1852(嘉永5)	木版、紙	大判錦絵
95	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 御殿山	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
96	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 浅草す八丁	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
97	□ 溪斎 英泉	〔美人東海道〕 沼津宿 十三 〔顔剃り〕		木版、紙	大判錦絵
98	□ 歌川 国貞	化粧三美人 〔お歯黒〕		木版、紙	大判錦絵
99	□ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 芝神明前	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
100	□ 歌川 国貞	当世三十式相 はやりさふ		木版、紙	大判錦絵
101	□ 歌川 国貞	当世美人合 かこゝ		木版、紙	大判錦絵
102	□ 歌川 国貞	〔簪〕		木版、紙	団扇絵判錦絵
103	◆ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 今川はし	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
104	◆ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 よし原	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
105	◆ 歌川 国貞	〔不動尊揃〕 目白不動尊		木版、紙	大判錦絵
106	◆ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 大音寺まへ	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵
107	◆ 歌川 国貞	当世美人合 身じまい芸者		木版、紙	大判錦絵
108	◆ 歌川 国貞	集女八景 洞庭秋月 〔襟白 粉〕		木版、紙	大判錦絵
109	◆ 歌川 国貞	吉原七小町 関寺小町		木版、紙	大判錦絵
110	◆ 歌川 国貞	江戸名所百人美女 柳はし	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵

II 日本画—景趣、余情、うつくし、をかし

1 四季を詠む、景趣をあはれむ

111	○ 松岡 映丘	十二ヶ月連幅 正月〔白馬節 会〕	1935(昭和10)頃	絹本彩色/軸	135.5×46.0
112	○ 吉村 忠夫	十二ヶ月連幅 三月〔雛祭〕	1935(昭和10)頃	絹本彩色/軸	135.5×46.0
113	○ 小村 雪岱	十二ヶ月連幅 七月〔七夕〕	1935(昭和10)頃	絹本彩色/軸	135.5×46.0
114	○ 岩田 正巳	十二ヶ月連幅 九月〔菊慈童〕	1935(昭和10)頃	絹本彩色/軸	135.5×46.0
115	○ 松岡 映丘	花のあした	1933(昭和8)	絹本彩色/軸	93.0×135.0
116	○ 小茂田 青樹	月あかり〔野趣四題のうち夏沢 清夜〕	1913(大正2)	絹本彩色/軸	54.1×71.6
117	○ 結城 素明	雲山清趣	1950(昭和25)頃	絹本彩色/軸	58.5×71.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
118	● 堂本 印象	四季図〔爽景白映〕	昭和初期	絹本彩色／軸	126.8×28.0
119	● 堂本 印象	四季図〔江畔晴色〕	昭和初期	絹本彩色／軸	127.0×28.2
120	● 堂本 印象	四季図〔金風天心〕	昭和初期	絹本彩色／軸	127.0×28.0
121	● 堂本 印象	四季図〔霞山春光〕	昭和初期	絹本彩色／軸	127.0×28.0
122	● 菅原 翠洲	勿来関	1914(大正3)	絹本彩色／軸	115.0×50.0
123	● 松岡 映丘	村雨	1919(大正8)	絹本彩色／軸	137.3×50.3
124	● 筆谷 等観	新樹	1922(大正11)	絹本彩色／軸	49.5×72.4
125	● 長谷川 路可	十二ヶ月連幅 十月〔秋山帰家〕	1935(昭和10)頃	絹本彩色／軸	135.5×46.0
126	北上 聖牛	はなれ国の初夏	1916(大正5)	絹本彩色／屏風	170.0×375.0
127	北上 聖牛	晴間	1928(昭和3)	絹本彩色／屏風	180.3×183.0

2 沈黙を聴く、余情を味わう

128	○ 下村 観山	陶靖節「見南山図」	1919(大正8)	絹本彩色／軸	156.0×70.5
129	● 横山 大観	陶靖節「幽篁弾琴」	1919(大正8)	絹本彩色／軸	154.2×70.5
130	菊川 多賀	小宰相	1976(昭和51)	紙本彩色／額	180.3×240.0
131	岩橋 英遠	石	1952(昭和27)	紙本彩色／屏風	163.0×159.0
132	福井 爽人	杜	2000(平成12)	紙本彩色／額	180.0×228.0

3 「うつくし」を愛で、「をかし」を楽しむ

133	○ 竹内 栖鳳	家兎	1939(昭和14)	絹本彩色／軸	61.5×72.5
134	● 平沼 深雪	午睡	1930(昭和5)頃	絹本彩色／額	97.0×97.5
135	福田 翠光	山葡萄	1955(昭和30)	紙本彩色／額	195.0×187.0
136	森田 沙伊	洛北少女	1937(昭和12)	紙本彩色／屏風	165.2×226.9
137	本間 莞彩	幌都の冬	1949(昭和24)	紙本彩色／額	85.3×115.2
138	山内 弥一郎	藤棚	1920年代後半(昭和初期)	紙本墨画／額	89.5×96.0
139	月岡 栄貴	風神雷神	1982(昭和57)	紙本彩色／額	204.2×287.4
140	片岡 球子	葛飾北斎	1976(昭和51)	紙本彩色／額	116.0×79.0
141	片岡 球子	阿波風景	1963(昭和38)	麻布彩色／額	187.0×251.0
142	片岡 球子	舞楽・二の舞〔老夫婦〕	1969(昭和44)	麻布彩色／額	162.0×97.0

Ⅲ ガラスに見る和の世界

日本のガラスの黎明

143	■ 歌川 国貞	蛇踊図 唐人踊		木版、紙	大判錦絵 三枚続
144	■ 歌川 国貞(二代)	紫式部げんじかるた 十三 明石	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵
145	□ 歌川 国貞	思事鏡写絵〔猫〕		木版、紙	大判錦絵
146	□ 歌川 国貞	本朝風景美人競 紀伊和歌浦		木版、紙	大判錦絵
147	◆ 歌川 国貞	本朝風景美人競 大和吉野		木版、紙	大判錦絵
148	◆ 歌川 国芳	青楼美人競 岡本屋内妻琴		木版、紙	大判錦絵
149		菊唐草文蓋物〔型吹きビードロ碗〕	江戸時代	ガラス	径12.9×高9.0
150		切子蓋物	江戸時代末期	ガラス(型吹き、カット)	径9.7×高10.3
151		菊形蓋物	江戸時代	ガラス(型吹き)	径13.5×高10.0
152		ちろり	1870年代	ガラス	12.0×14.0×14.0
153		花に蝶文徳利	明治時代	ガラス(エナメル彩)	径7.5×高20.0
154		花に蝶文徳利	明治時代	ガラス(エナメル彩)	径7.5×高20.0
155		乳白地桃色ぼかし徳利	大正時代	ガラス	径6.5×16.0

1 生活に寄り添う

156	淡島 雅吉	しづくガラス タンブラー	1950(昭和25)頃	ガラス(型吹き)	径6.6×高10.5/ 径8.8×高7.8
-----	-------	--------------	-------------	----------	--------------------------

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
157	淡島 雅吉	しづくガラス シャンペン・グラス	1950(昭和25)頃	ガラス (型吹き)	8.5×9.0/7.0×7.0/6.0×5.4
158	淡島 雅吉	しづくガラス 花器	1952(昭和27)	ガラス (宙吹き、カット)	16.5×20.9×21.9
159	淡島 雅吉	しづくガラス 鉢		ガラス (型吹き)	29.6×8.7
160	小柴 外一	梅 深皿 大	デザイン：昭和初期 制作：1960年代	ガラス (型押し)	径 25.8×高 7.0
161	小柴 外一	こい 大皿	デザイン：昭和初期 制作：1950年代	ガラス (型押し)	各径 24.1×高 4.9
162	小柴 外一	青海波 花瓶	デザイン：昭和初期 制作：1950年代	ガラス (型押し、研磨)	径 12.2×高 24.0
163	小柴 外一	きりのは 大鉢	デザイン：昭和初期 制作：1950年代	ガラス (型押し、研磨)	24.0×24.0×9.5
164	佐藤 潤四郎	水指	1986(昭和61)	ガラス (カット)、木	径 14.9×高 18.4
165	岩田 藤七	茶碗・銀河		ガラス (宙吹き)	径 12.5×高 8.0
166	岩田 藤七	茶入・朧		ガラス (宙吹き)	径 8.0×高 5.2
167	岩田 藤七	蓋置		ガラス	径 6.4×高 3.7
168	岩田 藤七	水指	1975(昭和50)	ガラス (宙吹き)	径 21.5×高 10.5
169	小柴 外一	亀甲おもだか文茶碗	1966(昭和41)頃	ガラス (パート・ド・ヴェール)	径 12.3×高 7.3
170	小柴 外一	ぼげ文茶碗	1960年代後期	ガラス (パート・ド・ヴェール)	径 12.0×高 8.5
2 飾りのガラス					
171	藤田 喬平	飾筥・竹取物語	1992(平成4)	ガラス (被せガラス、色ガラス粒と金箔・プラチナ箔による装飾、型吹き)、銀	29.5×26.0×17.0
172	藤田 喬平	飾筥・紅白梅	2002(平成14)	ガラス (被せガラス、色ガラス粒と金箔・プラチナ箔による装飾、型吹き)、銀	24.0×16.5×24.0
173	藤田 喬平	飾筥・弥生	1982(昭和57)	ガラス (色ガラス粒と金箔・プラチナ箔による装飾、型吹き)	25.6×29.1×19.7
174	藤田 喬平	飾筥・源氏物語	1983(昭和58)	ガラス (色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き)、金属	21.0×21.5×24.5
175	藤田 喬平	飾筥・海の彩	1980(昭和55)	ガラス (色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き)	24.0×20.5×18.5
176	小林 英夫	被硝子角溝切子皿	1981(昭和56)	ガラス (被せガラス、カット)	径 37.0×高 5.5
177	小林 英夫	角出台付花瓶	1982(昭和57)	ガラス (宙吹き、カット)	径 23.5×高 40.5
178	岩田 藤七	花器・荷葉		ガラス (宙吹き、金粉溶着)	21.6×33.8×13.8
179	岩田 藤七	花器・紅葉		ガラス (宙吹き、斑紋装飾)	径 15.0×高 16.0
180	岩田 久利	水指・道成寺	1982(昭和57)	ガラス (色ガラス粉と金箔による装飾、宙吹き)	径 14.0×高 17.5
181	岩田 久利	花器	1992(平成4)	ガラス (宙吹き)	径 22.0×高 18.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
3 日本の現代ガラス					
182	家住 利男	P. 040901	2001(平成13)	板ガラス、接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	25.0×9.0×150.0
183	家住 利男	V. 010702	2002(平成14)	板ガラス、接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	径 60.0×12.0
184	伊藤 孚	円筒	2002(平成14)	板ガラス、鉄板、サンドブラスト	86.5×61.5×3.0
185	塩谷 直美	月の空	2001(平成13)	ガラス (キャスト、サンドブラスト、研磨、着色)	60.0×11.0×40.0
186	米原 眞司	ライン・ドローイング	1994(平成6)	ガラス (被せガラス、宙吹き、ガラス繊維溶着)	径 31.8×高 30.1
187	西 悦子	レースのボウル	1994(平成6)	ガラス (パート・ド・ヴェール)	30.0×30.5×26.8
188	扇田 克也	ワタシノアラゾラ	1991(平成3)	ガラス (キャスト、サンドブラスト)、銀箔	25.5×26.0×26.3
189	扇田 克也	アメノヒモアル	1991(平成3)	ガラス (キャスト、サンドブラスト)、銀箔	32.0×28.0×25.5

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さまたは径×高さ

※■は浮世絵前期 [令和2年11月21日(土)~12月20日(日)]、□は浮世絵中期 [令和2年12月22日(火)~令和3年1月17日(日)]、◆は浮世絵後期 [令和3年1月19日(火)~2月14日(日)]、○は日本画前期 [令和2年11月21日(土)~令和3年1月11日(月)]、●は日本画後期 [令和3年1月13日(水)~2月14日(日)] 展示

※作品はすべて当館蔵

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	マルク・シャガール	パリの空に花	1967	油彩、キャンバス	148.0×140.0

※寸法は縦×横

※作品は当館蔵

5 池田良二展／一原有徳展

(同時開催：日本のガラス—江戸から現代まで—この1点を見てほしい。)

会 期：令和3年2月27日(土)～4月4日(日)
会 場：北海道立近代美術館 展示室A
主 催：北海道立近代美術館
後 援：札幌市、札幌市教育委員会

池田良二展

Ikeda Ryoji Exhibition

根室市に生まれた池田良二(1947-)は、武蔵野美術大学で油彩を学んだ後に銅版画の技法を独学。フォトエッチングを中心に様々な銅版技法を駆使し、アントニ・タピエスをオマージュしたシリーズを制作した。昭和60(1985)年、廃墟となっていた旧落石無線送信局と出会い、その外観と内観を撮影した写真を使用しはじめた。平成16(2004)年以降は、「円環」をテーマに、生と死、存在と不在を暗示する独自の作風を確立した。本展では、令和元(2019)年度当館で新たに収蔵した作品を交えて、初期から近作にいたる池田良二の版画作品を紹介した。

◎展示構成

- 1 1976～1984
- 2 1985～2003
- 3 2004～



一原有徳展

Ichihara Arinori Exhibition

一原有徳(1910-2010)は徳島県に生まれた。3歳のときに家族とともに北海道に渡り、小樽を拠点に版画制作を行った。1950年代後半より、石版石を使い一度しか刷れない技法である「モノタイプ」に着手。その後も一貫してモノタイプを制作、あわせて金属凹版による実験的な版画作品など、さまざまな表現を追求し、国際的にも高い評価を得ている。本展では、幅数mを超える大型の作品を含め当館の所蔵品を中心に、モノタイプ、金属凹版、オブジェと幅広い技法、表現による多彩な作品世界を紹介した。

◎展示構成

- 1 モノタイプ版画
- 2 金属凹版
- 3 大型モノタイプ
- 4 大型凹版
- 5 友田コレクションにみる



＝同時開催＝

日本のガラス—江戸から現代まで— Japanese Glassworks

江戸から明治・大正にかけての和ガラスにはじまり、岩田藤七と各務鑛三を先達とする昭和のガラス工芸作家、そして伊藤孚や扇田克也ら現代のガラス作家の作品により、日本のガラスの歩みをたどった。準備、開催にあたり、当館インターシッブ生が作品選定やミュージアム・トークなどを担当した。なお、年度当初は、彫刻をはじめとする立体作品に触ることができる展覧会「ふれるかたち」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽テーマを変更して実施した。

◎展示構成

- I 日本のガラスの黎明
- II 二人の先達—岩田藤七と各務鑛三—
- III 昭和の展開
- IV 日本の現代ガラス

この1点を見てほしい。 Enjoy One Special Piece

・岩田藤七《水指・花》

●作品展示

日本通運株式会社

●会場設営

株式会社松原建装

●広報印刷物

ポスター：〔制作なし〕

チ ラ シ：A3 判縦二つ折り

デザイン：佐藤守功デザイン事務所

印刷：中西印刷株式会社

●出品目録

A3 判二つ折り 6 頁（当館簡易印刷）

●関連事業等

〔ミュージアム・トーク〕

本書 4-3 解説活動に記載

●主な掲載、放送等

〔新聞〕

読売新聞

「版画家 2 人の画業一望 近美で展示 池田良さん
一原有徳さん」 3 月 13 日（土）

北海道新聞

「展覧会 池田良二展 銅版画 静謐で独特な緊張感」
古川有子 3 月 22 日（月）

池田良二展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Découvert du Manuscrit 手稿の発見	1979(昭和 54)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	79.5×56.5
2	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Scattered Seeds 散種	1979(昭和 54)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	79.5×56.5
3	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Together again	1979(昭和 54)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	56.5×26.2
4	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Martin	1979(昭和 54)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	79.5×56.5
5	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Center	1979(昭和 54)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	56.0×19.8
6	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Varanasi	1980(昭和 55)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	53.9×26.2
7	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Manuscript 手稿	1980(昭和 55)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	36.0×54.8
8	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Remembrance	1980(昭和 55)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	45.2×25.8
9	池田 良二	à/avec Antoni Tàpies Nobody Knows my mind	1981(昭和 56)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ハーネミュール紙に雁皮刷り	59.0×89.0
10	池田 良二	Reborn door 再生される扉	1988(昭和 63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	69.7×57.7
11	池田 良二	The stage on the parting point 分岐点の舞台	1988(昭和 63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	40.0×55.6
12	池田 良二	Floating wall 浮上する壁	1988(昭和 63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	50.0×50.0
13	池田 良二	Light crossing border 越境する光	1991(平成 3)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	57.0×85.0
14	池田 良二	Untitled A	1998(平成 10)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	36.5×51.5
15	池田 良二	Untitled B	1998(平成 10)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	36.5×51.5
16	池田 良二	Stratum of locus 所在の地層	2002(平成 14)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	69.2×55.0
17	池田 良二	Flame of circularity 円環する焰	2004(平成 16)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	70.0×55.0
18	池田 良二	Circle of breath 呼吸する円環	2005(平成 17)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	40.0×27.0
19	池田 良二	Distance of remembrance B 記憶の距離 B	2006(平成 18)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	55.0×45.0
20	池田 良二	Winged seeds B 翼をもつ種子 B	2006(平成 18)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、ベラン、アルシュ紙に雁皮刷り	55.0×45.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
21	池田 良二	Flame of a channel 海峡の焔	2007(平成 19)	フォトエッチング、エッチング、アクアチン ト、ドライポイント、ベラン、アルシュ紙に雁 皮刷り	70.0×56.8
22	池田 良二	Scenery of the north boundary 北境の風景について	2013(平成 25)	フォトエッチング、エッチング、アクアチン ト、ドライポイント、ベラン、アルシュ紙に雁 皮刷り	70.0×58.0
23	池田 良二	Boundaries by stealth - Ochiishi 秘やかな境界—落石	2013(平成 25)	フォトエッチング、エッチング、アクアチン ト、ドライポイント、ベラン、アルシュ紙に雁 皮刷り	70.0×58.0

※寸法は縦×横

※作品はすべて当館蔵

一原有徳展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	一原有徳	変身	1958-1959 (昭和 33-34)	石版モノタイプ、紙	62.9×48.3
2	一原有徳	SON	1960(昭和 35)	アルミ版モノタイプ、紙	40.0×59.6
3	一原有徳	PON	1974-1980 (昭和 49-55)	銅版モノタイプ、紙	49.9×92.3
4	一原有徳	LEO	1978(昭和 53)	モノタイプ、紙	75.0×50.0
5	一原有徳	火	1962(昭和 37)	アルミニウム版腐蝕、骨筆、糸、紙	49.6×39.8
6	一原有徳	XII 1	1964(昭和 39)	アルミニウム版腐蝕、鉄板天然腐蝕、銅版腐蝕、丸鋸、薬剤カプセル、するめの耳、トカゲの皮、バックキング、時計の歯車、時計文字板、針、モーター部品、石油缶注ぎ口、紙	60.0×60.0
7	一原有徳	UUR (b)	1973+1982 (昭和 48+57)	鉄板天然腐蝕、紙	34.8×37.8
8	一原有徳	放	1976(昭和 51)	アルミニウム版腐蝕、紙	50.0×50.0
9	一原有徳	HOW 2	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐蝕、紙	43.8×31.7
10	一原有徳	HBD (b)	1984(昭和 59)	自動車ボディー板、電気サンダー、紙	60.2×42.2
11	一原有徳	95.04	1995(平成 7)	アルミニウム版腐蝕、電気ドリル、紙	31.0×58.1
12	一原有徳	SON・ZON	1960+1979 (昭和 35+54)	モノタイプ、紙	248.0×110.0 (筒:30.2× 211.5)
13	一原有徳	SON 1001	1980(昭和 55)	ステンレス版モノタイプ、紙	99.8×299.6
14	一原有徳	ZON 1001	1980(昭和 55)	ステンレス版モノタイプ、紙	99.8×248.4
15	一原有徳	S. M. 円 (A)	1986(昭和 61)	蛍光塗料、熱版、ステンレス (3点組)	50.0×50.0(2 点) / 51.0× 51.0 (右端の1 点)
16	一原有徳	HMMA	2001(平成 13)	アルミニウム版モノタイプ、紙	350.0×1000.0
17	一原有徳	COM ZOM 1992-1	1992(平成 4)	アルミニウム版モノタイプ、紙、木 (筒)	50.0×360.0
18	一原有徳	SY (b) 9	1989(平成元)	アルミニウム版腐蝕、紙	91.0×63.0
19	一原有徳	SY (b) 10	1989(平成元)	アルミニウム版腐蝕、電気ドリル、紙	91.0×63.0
20	一原有徳	SY (b) 33	1989(平成元)	アルミニウム版腐蝕、紙	91.0×63.0
21	一原有徳	SYC20	1989(平成元)	アルミニウム版腐蝕、紙	91.0×63.0
22	一原有徳	NR1	1990(平成 2)	アルミニウム版腐蝕、紙	91.0×63.0
23	一原有徳	MTR	1991(平成 3)	アルミニウム版腐蝕、紙	91.0×63.0
24	一原有徳	MTU20	1991(平成 3)	アルミニウム版腐蝕、電気ブラシ、紙	91.0×63.0
25	一原有徳	MTU21	1991(平成 3)	アルミニウム版腐蝕、電気ブラシ、紙	91.0×63.0
26	一原有徳	WY30	1991(平成 3)	アルミニウム版腐蝕、紙	91.0×63.0
27	一原有徳	WY31	1991(平成 3)	アルミニウム版腐蝕、紙	91.0×63.0
28	一原有徳	WY33	1991(平成 3)	アルミニウム版腐蝕、塗料、紙	91.0×63.0
29	一原有徳	ENN	1993(平成 5)	アルミニウム版腐蝕、ボンド、電気ドリル、紙	91.0×63.0
30	一原有徳	SIO	1992(平成 4)	アルミニウム版腐蝕、モノタイプ、紙	90.0×63.0
31	一原有徳	SIO 10	1993(平成 5)	アルミニウム版腐蝕、モノタイプ、紙	90.0×63.0
32	一原有徳	SIO 11	1993(平成 5)	アルミニウム版腐蝕、モノタイプ、紙	90.0×63.0
33	一原有徳	SIO 12	1993(平成 5)	アルミニウム版腐蝕、モノタイプ、紙	90.0×63.0
34	一原有徳	SIO 13	1993(平成 5)	アルミニウム版腐蝕、モノタイプ、紙	90.0×63.0
35	一原有徳	SIO 14	1993(平成 5)	アルミニウム版腐蝕、モノタイプ、紙	90.0×63.0
36	一原有徳	SON (b)	1960(昭和 35)	モノタイプ	20.7×10.1
37	一原有徳	SAT (a)	1975(昭和 50)	トタン板天然腐蝕、切抜き	26.1×28.1
38	一原有徳	風の目	1979(昭和 54)	金属凹版	21.1×15.3
39	一原有徳	標識板 10	1981(昭和 56)	ほうろう標識板天然腐蝕	44.4×29.8
40	一原有徳	F (nor) 3	1988(昭和 63)	鉄板天然腐蝕、電気ドリル	28.7×54.0
41	一原有徳	RON	1998(平成 10)	モノタイプ	39.5×49.7
42	一原有徳	QZ1	1999(平成 11)	金属凹版	20.0×9.9

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
43	一原 有徳	QZ3	1999(平成 11)	金属凹版	20.0×10.0
44	一原 有徳	MOG	2000(平成 12)	アルミニウム版腐蝕、E2:E46 ボンド、電気ドリル、紙	39.9×32.4

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ

※Nos. 36-44 は友田多喜雄氏蔵、その他は当館蔵

日本のガラス—現代から江戸まで— 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
I 日本のガラスの黎明					
1		菊唐草文蓋物 (型吹きビードロ碗)	江戸時代	ガラス	径 12.9×9.0
2		切り蓋物	江戸時代末期	ガラス (型吹き、カット)	径 9.7×10.3
3		菊形蓋物	江戸時代	ガラス (型吹き)	径 13.5×10.0
4		ちろり	1870年代	ガラス	12.0×14.0×14.0
5		花に蝶文徳利	明治時代	ガラス、エナメル彩	径 7.5×20.0
6		花に蝶文徳利	明治時代	ガラス、エナメル彩	径 7.5×20.0
7		乳白地桃色ぼかし徳利	大正時代	ガラス	6.5×16.0
II 二人の先達—岩田藤七と各務鑛三—					
8	岩田 藤七	色替舟虫手花器	1935(昭和 10)	ガラス (宙吹き、ホットワークによる装飾)	19.2×14.4×25.0
9	岩田 藤七	トンボ玉風一輪挿	1936(昭和 11)	ガラス (型吹き)	径 11.2×22.9
10	岩田 藤七	花器・おぼろ夜	1958(昭和 33)	ガラス (型吹き)	径 15.0×38.0
11	岩田 藤七	花瓶・霰		ガラス (型吹き)	径 12.5×24.4
12	岩田 藤七	水指・雲間	1975(昭和 50)	ガラス (型吹き)	22.3×19.0
13	岩田 藤七	花器・ナイル河畔	1970(昭和 45)	ガラス (型吹き)	31.0×16.0×27.0
14	岩田 藤七	貝・浜辺の歌	1963(昭和 38)	ガラス (型吹き)	21.0×16.5×10.5
15	各務 鑛三	皿・追憶	1929(昭和 4)	ガラス (エングレーヴィング)	径 28.5×3.8
16	各務 鑛三	鳥獣文飾鉢	1930(昭和 5)	ガラス (被せガラス、カット、エングレーヴィング)	径 20.9×8.9
17	各務 鑛三	ひょうたん型花器	1940(昭和 15)	ガラス (宙吹き、グラブユー ル)	径 11.5×26.5
18	各務 鑛三	飾花器	1969(昭和 44)頃	ガラス (宙吹き、気泡封入)	径 20.0×41.5
19	各務 鑛三	花器	1978(昭和 53)	ガラス (カット)	径 13.5×28.5
III 昭和の展開					
20	小柴 外一	梅文ランプシェード	1968(昭和 43)	ガラス (パート・ド・ヴェール)	径 24.0×11.2
21	淡島 雅吉	しづくガラス デキャンターセット		ガラス (型吹き)	9.3×9.7×25.6 4.1×5.2×7.6
22	淡島 雅吉	プロット 花器		ガラス (鉄棒吹込み)、鉄	16.4×15.8×35.1
23	佐藤 潤四郎	三蔵法師舎利器とカバー	舎利器：1980(昭和 55) カバー：1984(昭和 59)	ガラス (カット)	舎利器：径 8.6× 7.8 カバー：14.6× 21.2
24	佐藤 潤四郎	鉄棒吹込花器	1986(昭和 61)	ガラス (鉄棒吹込)、鉄	14.3×12.7×21.4
25	藤田 喬平	飾筒・十六夜	1982(昭和 57)	ガラス (金属箔貼付、型吹き)	21.0×21.5×24.5
26	藤田 喬平	花瓶	1994(平成 6)	ガラス (レースガラス、金箔、宙吹き)	径 19.5×32.0
27	岩田 久利	花器・楼蘭	1980(昭和 55)	ガラス (色ガラス粉と金箔による装飾、宙吹き)	径 21.5×29.5
28	岩田 久利	花器	1987(昭和 62)	ガラス (宙吹き)	19.0×10.5×37.0
29	岩田 久利	緋赤流影文壺	1991(平成 3)	ガラス (被せガラス、宙吹き)	径 28.5×41.0
IV 日本の現代ガラス					
30	家住 利男	P. 040901	2001(平成 13)	板ガラス (接着、ハンド・グラ インダーによる彫刻、研磨)	86.5×61.5×3.0
31	家住 利男	V. 010702	2002(平成 14)	板ガラス (接着、ハンド・グラ インダーによる彫刻、研磨)	25.0×9.0×150.0
32	伊藤 孚	円筒	2002(平成 14)	板ガラス (サンドブラスト)、 鉄板	86.5×61.5×3.0
33	塩谷 直美	海を渡る夢	2002(平成 14)	ガラス (キャスト、サンドブラ スト、研磨)	132.5×9.0×11.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
34	米原 真司	静かな赤	2001(平成 13)	ガラス (被せガラス、宙吹き、ピックアップ、サンドブラスト、エッチング)	径 36.8×35.2
35	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 1	1985(昭和 60)	ガラス	36.0×13.9×36.0
36	扇田 克也	ワタシノアオゾラ	1991(平成 3)	ガラス (銀箔、キャスト、サンドブラスト)	25.5×26.0×26.3
37	扇田 克也	アメノヒモアル	1991(平成 3)	ガラス (銀箔、キャスト、サンドブラスト)	32.0×28.0×25.5

※寸法は、奥行×幅×高さまたは径×高さ

※作品はすべて当館蔵

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質/技法
1	岩田 藤七	水指・花	1972(昭和47)	ガラス(型吹き)
2	岩田 藤七	蓋置		ガラス
3	岩田 藤七	茶入・朧		ガラス(宙吹き)
4	岩田 藤七	金一輪挿		ガラス(宙吹き)
5	岩田 藤七	茶碗・三彩		ガラス(宙吹き)

※作品はすべて当館蔵

3-2 展覧会② 特別展

◆特別展一覧

No. (展覧会 番号)	展覧会名	開催期間	開催日数	主催・後援等
1 (299)	キスリング展 エコール・ド・パリの巨匠	5月26日(火) ～6月28日(日) 〔当初予定：4月25日(土) ～6月21日(日)〕	30日	主 催：北海道立近代美術館、STV札幌テレビ放送、北海道新聞社 後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、札幌日仏協会／アリアンス・フランセーズ、札幌国際プラザ、北海道、札幌市、札幌市教育委員会 協 力：エールフランス航空、STVラジオ、北海道ドレスメーカー学院 企画協力：株式会社ブレントラスト
2	古代エジプト展 ライデン国立古代博物館所蔵	新型コロナウイルス感染拡大により令和4年度に延期 〔当初予定：7月4日(土) ～9月6日(日)〕	/	主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、北海道文化放送、ライデン国立古代博物館
3 (300)	没後50年 神田日勝 大地への筆触 ここで描く、ここで生きる	9月19日(土) ～11月8日(日)	45日	主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社 後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会 協 力：神田日勝記念美術館 協 賛：柳月
4 (301)	デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉	11月21日(土) ～令和3年1月17日(日)	46日	主 催：北海道立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 後 援：札幌市、札幌市教育委員会 協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン 協 力：河出書房新社
5	札幌国際芸術祭2020	新型コロナウイルス感染拡大により中止 〔当初予定：12月19日(土) ～令和3年2月14日(日)〕	/	主 催：北海道立近代美術館、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市
6 (302)	藤沢市所蔵 招き猫コレクション 猫まみれ展 MAX	令和3年2月27日(土) ～4月4日(日)	28日	主 催：テレビ北海道、北海道立近代美術館、北海道新聞社 特別協力：藤沢市 後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

1 キスリング展 エコール・ド・パリの巨匠

Kisling, Grande Figure de l'Ecole de Paris

会 期：5月26日（土）～6月28日（日）

会 場：北海道立近代美術館 展示室B

主 催：北海道立近代美術館、STV 札幌テレビ放送、北海道新聞社

後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、札幌日仏協会／アリアンス・フラン
セーズ、札幌国際プラザ、北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協 力：エールフランス航空、STV ラジオ、北海道ドレスメーカー学院

企画協力：株式会社ブレントラスト

ポーランド出身のキスリング (Kisling, 1891-1953) は、エコール・ド・パリを代表する画家の一人。ピカソや藤田嗣治、親友モディリアーニらの影響を受けながら、自身の作風を模索し、丁寧な筆致による洗練された写実主義と華麗で透明感のある色彩による官能的な作風を確立した。そのミステリアスな雰囲気をたたえた造形世界は、多くの美術愛好家を魅了する。

また、キスリングはその陽気で社交的な性格から多くの仲間に愛され、時代の寵児へと駆け上がるが、出自がユダヤ系であったこともあり、一時アメリカへの亡命を余儀なくされるなど、華やかさだけでは語れない劇的な人生を送った。

本展では、パリに出て間もない初期から、滞米時代を通して晩年にいたる円熟期の作品までを紹介。激動の時代を駆け抜けたキスリングの画業を国内外の美術館や個人蔵の名作により振り返った。

展覧会開催直前に、新型コロナウイルスが流行したため、当初企画していた講演会やワークショップ等を中止せざるを得なかった。一方で、展覧会広報のためテレビ、ラジオやYouTube での特集を組むことで鑑賞者増につながった。また、札幌展独自の音声ガイドを作成し、これも好評であった。

加えて、北海道ドレスメーカー学院と連携し、キスリングの作品に描かれた民族衣装を再現制作した。この衣装は当館以降の2会場にも巡回した。



●巡回

東京都庭園美術館

平成31年4月20日～令和元年7月7日

岡崎市美術博物館

令和元年年7月27日～9月16日

秋田県立美術館

令和元年9月29日～11月24日

奥田元宋・小由女美術館

2月22日～4月10日

鹿児島市立美術館

7月17日～9月6日

美術館「えき」KYOTO

9月12日～10月25日

●展示構成

1910-1940 キスリング、エコール・ド・パリの主役

1941-1946 アメリカ亡命時代

1946-1953 フランスへの帰還と南仏時代

●図録

仕 様：A4判縦（225×290mm）、175ページ

編 集：村上哲（アート・キュレーション代表）、株式会社ブレントラスト

執 筆：マイテ＝ヴァレス・ブレット（ポール・ヴァレリー美術館館長）、村上哲、浜崎香織（東京都庭園美術館学芸員）、高見翔子（岡崎市美術博物館学芸員）、小泉俊貴（秋田県立美術館/公益財団法人平野政吉美術財団学芸員）、林裕一郎（鹿児島市立美術館学芸員）、田村允英（当館学芸員）

翻 訳：田中佳（徳島大学大学院准教授）、田中麻野、谷口雄三（鹿児島市立美術館学芸員）

デザイン：梯耕治

制 作：印象社

発 行：キスリング展カタログ実行委員会©2019

●広報印刷物

ポスター：B2判縦

チ ラ シ：A3判変形横二つ折り

観 覧 券：155×60mm（フリーパス以外）、91×55mm（フリーパス）

出品目録：A3判二つ折り

そ の 他：「キスリング展」音声ガイドリスト A4判縦

デザイン：庄子奈美（株式会社アウラ）

印 刷：山藤山陽印刷株式会社

●作品輸送・展示

日本通運株式会社

●会場設営

株式会社六書堂

●関連事業等

[オープニング記念ギャラリートーク] (中止)

日 時：4月25日(土) 10時30分～(約40分)
会 場：キスリング展会場内
講 師：村上哲(アート・キュレーション代表、本展統括・監修)

[特別記念講演会] (中止)

日 時：5月31日(日) 13時30分～15時
会 場：当館講堂
講 師：千足伸行(広島県立美術館長)

[講座] (中止)

演 題：学芸員による見どころ解説
日 時：5月16日(土)、6月6日(土) 各14時～(約40分)
会 場：当館講堂
講 師：当館学芸員

[音声ガイド]

ナレーション：音尾琢真

[北海道ドレスメーカー学院イベント] (中止)

①ファッションショー

キスリングの作品の中に描かれた衣装をドレメの学生たちが再現。

日 時：5月2日(土) 11時～、13時～、15時～(各回10分)

②ワークショップ

様々な模様の布を素材に、くるみボタンを作る。

日 時：5月9日(土)、5月30日(土) 11時～、12時～、13時～、14時～、15時～(各回20分程度)

定 員：各回10名(計50名)

参 加 料：一人500円

[北海道ドレスメーカー学院 民族衣装再現展示]

会 期：会期中

会 場：本展入口横

内 容：キスリングの作品に描かれたオランダおよびマルティニークの民族衣装2点の再現制作、展示

[特設ライブラリー]

令和2年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業 深める・楽しむ～キスリング展 北海道立図書館の蔵書から

会 期：会期中

会 場：本展出口特設コーナー

主 催：北海道立図書館、北海道立近代美術館

内 容：北海道立図書館蔵書からキスリングおよびエコール・ド・パリに関する図書・雑誌等23冊を展示、閲覧利用

[キスリング展コラボレーションメニュー]

日 時：5月1日(金)～5月16日(土)

※当初予定：5月1日(金)～5月31日(土)。主催者の都合により終了日を上記に変更した。

場 所：センチュリーロイヤルホテル スカイレスト ラン ロンド

主 催：センチュリーロイヤルホテル

特別協力：北海道立近代美術館、STV札幌テレビ放送

内 容：キスリングコラボランチ、キスリングコラボパンケーキ

●主な掲載、放送等

[新聞]

北海道新聞

「道立近代美術館「キスリング展」」古川有子 6月4日(木)

[雑誌]

poroco 4月号、5月号

0. tone 6月号

[放送、配信]

STV

「どさんこワイド日曜日」 5月31日(日)

北海道リモート・ミュージアム

「キスリング展」 6月8日(月) 配信開始

YouTube・木村洋二チャンネル

「洋さんぽ 北海道立近代美術館編」木村洋二、田村允英 6月12日(金)

STV ラジオ

「ごきげんようじ」岡田和樹、木村洋二、田村允英 6月20日(土)

キスリング展

エコール・ド・パリの巨匠

Kisling,
Grande Figure de l'Ecole de Paris

北海道立近代美術館 9:30~17:00(入館は閉館の30分前まで)

[主催]北海道立近代美術館、STV札幌テレビ放送、北海道新聞社 [後援]在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、札幌日仏協会/アリアンス・フランセーズ、札幌国際プラザ、北海道、札幌市、札幌市教育委員会 [協力]エールフランス航空、STVラジオ、北海道ドレスメーカー学院 [企画協力]プレントラスト

AIRFRANCE



— ごあいさつ —

今から100年前のパリで時代の寵児として一世を風靡したキスリング (1891-1953) は、エコール・ド・パリ (パリ派) を代表する画家です。ポーランドの古都クラクフに生まれたキスリングは、1910年に芸術の都パリに赴きました。キュビズムなど新しい絵画運動に触れ、ピカソやモディリアーニ、藤田嗣治らと交友しながら独自の画風を模索しています。1918年に第一次世界大戦が終結して、パリでは多彩な文化が咲き誇る華やかな“狂騒の時代”の幕が開きました。1919年の秋、キスリングはパリで初めての個展を開き、個性的なスタイルが高く評価されています。そして1920年代、華麗な色彩を駆使した哀感漂う作品は広く人気を博し、エコール・ド・パリの仲間のなかでも最も早く成功を収めた画家となりました。

キスリングは、肖像画など西洋絵画の伝統に新たな息吹を与えた画家として、20世紀の絵画史で異彩を放つ存在です。前衛の洗礼を受け古典にも学んだユニークな作風には、ルーツである東欧風のエキゾチックな情趣が込みわたります。キスリングなどエコール・ド・パリの芸術家の多くはユダヤ系でした。第二次大戦時、キスリングはユダヤ人を迫害するナチスに対して抵抗運動を行うなど、激動の時代を力強く生き抜き画家としての人生を全うしています。このたびの展覧会はわが国で12年ぶりの回顧展であり、パリ市立近代美術館やジュネーヴのプティ・パレ美術館など海外の美術館をはじめ、国内の美術館や個人所蔵の名作の数々が一堂に展示されます。

本展の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りましたポール・ヴァレリー美術館館長のマイテ・ヴァレス=ブレッド様、貴重なご所蔵品を快くご出品賜りましたフランスやスイス、日本の美術館ならびに所蔵者の皆様方に対しまして、心より厚く御礼申し上げます。またご後援を賜りました在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、エールフランス航空をはじめご協力を賜りました関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

主催者

番号	作品名	制作年(西暦)	技法・素材	寸法(cm)	所蔵者
1910-1940 キスリング、エコール・ド・パリの主役					
1	ひげの男の肖像	1912	油彩、カンヴァス	56.0 x 47.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
2	水差しと果物のある静物	1912	油彩、カンヴァス	59.0 x 72.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
3	カフェ・ド・ラ・ロトンド	1912	水彩、紙	25.0 x 34.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
4	ルシヨンの風景	1913	油彩、カンヴァス	65.0 x 80.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
5	ジロン氏の肖像	1913	油彩、カンヴァス	100.0 x 81.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
6	青い花瓶のある静物	1914	油彩、カンヴァス	73.0 x 92.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
7	果物のある静物	1914	油彩、カンヴァス	65.0 x 81.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
8	サン＝ジェルマン風景	1914	油彩、カンヴァス	92.0 x 73.0	北海道立近代美術館
9	レオポルド・ズボロフスキーの肖像	1916	油彩、カンヴァス	65.0 x 54.0	個人蔵、パリ 協力:パンジャマン・セバン画廊、ブリュッセル
10	ヤシの木の下で	1917	油彩、カンヴァス	65.2 x 54.1	ロジェ・キリオ美術館、クレルモン・オーヴェルニュ・メトロポール
11	サン＝トロベ風景	1917	油彩、カンヴァス	46.0 x 54.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
12	果物を載せた皿	1917	油彩、カンヴァス	29.4 x 38.1	グルノーブル美術館
13	サン＝トロベ	1918	油彩、カンヴァス	46.0 x 55.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
14	瓶とグラスのある静物	1918	油彩、カンヴァス	61.0 x 50.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
15	サナリー	1919	油彩、カンヴァス	60.0 x 73.0	個人蔵 協力:リュシアン・クリフ画廊
16	牡丹	1919	油彩、カンヴァス	55.0 x 46.0	ロジェ・キリオ美術館、クレルモン・オーヴェルニュ・メトロポール
17	花	1919	油彩、カンヴァス	60.0 x 50.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
18	果物のある静物	1920	油彩、カンヴァス	73.0 x 100.0	個人蔵、日本 協力:ギャルリーためなが
19	ルネ・キスリング夫人の肖像	1920	油彩、カンヴァス	73.7 x 54.6	名古屋市美術館
20	女の肖像	1921	油彩、カンヴァス	73.0 x 54.0	ゲレ美術館考古学博物館
21	花	1922	油彩、カンヴァス	64.9 x 50.2	サトエ記念21世紀美術館
22	籠、パイナップル、リンゴ、メロン	1922	油彩、カンヴァス	100.0 x 81.0	北海道立近代美術館
23	魚の静物	1924	油彩、カンヴァス	81.0 x 100.0	北海道立近代美術館
24	赤い服の女	1925	油彩、カンヴァス	99.6 x 73.0	鹿児島市立美術館寄託
25	女性像	1926	油彩、カンヴァス	73.3 x 54.8	サトエ記念21世紀美術館
26	ル・ベック氏の息子	1926	油彩、カンヴァス	100.0 x 73.0	熊本県立美術館
27	ミショー嬢の肖像	1927	油彩、カンヴァス	93.0 x 66.0	ナーマッド・コレクション
28	マリタ・アーゼンクレヴァーの肖像	1927	油彩、カンヴァス	65.0 x 50.0	ナーマッド・コレクション
29	緑色のスカートの女性	1928	油彩、カンヴァス	100.0 x 82.0	村内美術館
30	肖像	1928	油彩、カンヴァス	73.0 x 54.0	個人蔵 協力:リュシアン・クリフ画廊
31	モンバルナスのキキ	1925	油彩、カンヴァス	73.0 x 100.0	みぞえ画廊
32	晴着の婦人	1925	油彩、カンヴァス	73.0 x 60.0	北海道立近代美術館
33	オランダの娘	1928	油彩、カンヴァス	100.4 x 73.4	北海道立近代美術館
34	ルーマニアの女	1929	油彩、カンヴァス	81.2 x 64.4	公益財団法人ひろしま美術館
35	ジブシーの女	c. 1929-30	油彩、カンヴァス	73.0 x 60.0	フランス国立造形芸術センター オルレアン美術館寄託
36	赤毛の女	1929	油彩、カンヴァス	100.0 x 73.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
37	トゥーロンンの若者	1930	鉛筆、紙	40.0 x 30.0	個人蔵、フランス 協力:ギャルリー・ド・ラ・プレジダンス、パリ
38	果物のある静物	1932	油彩、カンヴァス	81.0 x 100.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーヴ
39	ベル＝ガズー(コレット・ド・ジュヴネル)	1933	油彩、カンヴァス	160.0 x 110.0	カンティーニ美術館、マルセイユ
40	スカーフを巻いた金髪の少女	1934	油彩、カンヴァス	41.0 x 33.0	ジャック・ベラン・コレクション 協力:ダニエル・マラング画廊、パリ
41	タマリス	1935	油彩、カンヴァス	38.0 x 55.0	ナーマッド・コレクション
42	花	1928	油彩、カンヴァス	92.0 x 65.0	岐阜県美術館
43	花	1933	油彩、カンヴァス	55.0 x 38.0	サトエ記念21世紀美術館
44	花	1933	油彩、カンヴァス	38.1 x 55.1	サトエ記念21世紀美術館
45	花	1934	油彩、カンヴァス	125.0 x 95.0	個人蔵 協力:リュシアン・クリフ画廊
46	ポピー	1934	油彩、カンヴァス	46.2 x 38.2	サトエ記念21世紀美術館

番号	作品名	制作年(西暦)	技法・素材	寸法(cm)	所蔵者
47	カーテンの前の花束	1937	油彩、カンヴァス	73.0 x 60.0	村内美術館
48	アネモネ文花器 作:マリウス=エルネスト・サビノ	1920s	ガラス:型吹き	径23.0 x 高さ18.8	北海道立近代美術館
49	花器・いばら 作:ルネ・ラリック	1921	ガラス:型吹き	径12.0 x 高さ23.0	北海道立近代美術館
50	ランプ 作:ミュレル兄弟	c. 1920	ガラス、鉄:ヴィトリフィカシオン	奥行13.0 x 幅42.0 x 高さ53.0	北海道立近代美術館
51	花文花器 作:シュネデル工房	c. 1920	ガラス:被せガラス、斑文装飾、エッチング、エンゲレーヴィング	径13.5 x 高さ36.0	北海道立近代美術館
52	花文水差し 作:シュネデル工房	1920s	ガラス:被せガラス、エッチング	径20.0 x 高さ32.1	北海道立近代美術館
53	幾何文花器 作:シュネデル工房	1920s	ガラス:斑文装飾、被せガラス、エッチング	径21.0 x 高さ58.5	北海道立近代美術館
54	座った裸婦	1925	油彩、カンヴァス	81.0 x 60.0	西宮市大谷記念美術館
55	裸婦	1926	油彩、カンヴァス	73.5 x 54.8	北海道立近代美術館
56	座る若い裸婦	1932	油彩、カンヴァス	73.0 x 54.0	熊本県立美術館
57	女の肖像	c. 1935	油彩、カンヴァス	35.0 x 27.0	個人蔵、フランス 協力:ギャルリー・ド・ラ・プレジダンス、パリ
58	赤い長椅子の裸婦	1937	油彩、カンヴァス	96.0 x 146.0	パリ市立近代美術館
59	長椅子の裸婦	1938	油彩、カンヴァス	81.0 x 136.0	個人蔵、アメリカ
60	スザンナ 作:ルネ・ラリック	型: 1925	ガラス:型押し	奥行5.5 x 幅18.6 x 高さ22.8	北海道立近代美術館
61	タイス 作:ルネ・ラリック	c. 1930s	ガラス:型押し	奥行5.5 x 幅19.0 x 高さ21.5	北海道立近代美術館
62	小像・フロレアル 作:ルネ・ラリック	型: 1942	ガラス:型押し	奥行4.8 x 幅4.8 x 高さ8.4	北海道立近代美術館
63	トゥーロンの港	1937	油彩、カンヴァス	33.0 x 41.0	トゥーロン美術館、フランス
64	若い娘の肖像	1938	油彩、カンヴァス	41.0 x 33.0	個人蔵、フランス 協力:ギャルリー・ド・ラ・プレジダンス、パリ
65	立葵	1939	油彩、カンヴァス	73.0 x 60.0	個人蔵 協力:リュシアン・クリフ画廊
66	マルセイユの港	c. 1940	油彩、カンヴァス	73.0 x 54.0	パリ市立近代美術館
67	マルセイユ	1940	油彩、カンヴァス	55.0 x 73.0	プティ・パレ美術館/近代美術財団、ジュネーブ
1941-1946 アメリカ亡命時代					
68	ブルターニュの女	1943	油彩、カンヴァス	62.6 x 50.5	一般財団法人 陽山美術館 協力:ギャルリー・ためなが
69	マドレーヌ・ルポーの肖像	1943	油彩、カンヴァス	41.0 x 33.0	個人蔵、フランス 協力:ギャルリー・ド・ラ・プレジダンス、パリ
70	褐色の髪の子供	1943	油彩、カンヴァス	33.0 x 24.0	個人蔵 協力:リュシアン・クリフ画廊
71	ミモザ	1945	油彩、カンヴァス	72.0 x 92.0	大分県立美術館
72	肖像画	1946	油彩、カンヴァス	41.0 x 33.0	個人蔵 協力:エドゥアール・マラング画廊
73	ミモザの花束	1946	油彩、カンヴァス	73.5 x 60.0	パリ市立近代美術館
74	褐色の髪の子	c. 1946	油彩、カンヴァス	41.2 x 27.2	グルノーブル美術館
1946-1953 フランスへの帰還と南仏時代					
75	ミモザ	1948	油彩、カンヴァス	30.0 x 25.0	個人蔵、フランス 協力:ギャルリー・ド・ラ・プレジダンス、パリ
76	トゥーロン	1949	油彩、カンヴァス	46.1 x 55.2	世田谷美術館
77	金髪の子	c. 1950	油彩、カンヴァス	73.1 x 53.9	ロジェ・キリオ美術館、クレルモン・オーヴェルニュ・メトロポール
78	姉妹	1950	油彩、カンヴァス	130.0 x 89.0	DIC川村記念美術館
79-1	バンドロールのロゼ	1952-53	ポショワール・紙	52.0 x 43.0	個人蔵
79-2	マルセイユの女	1952-53	ポショワール・紙	52.0 x 43.0	個人蔵
79-3	若いジプシー	1952-53	ポショワール・紙	52.0 x 43.0	個人蔵
79-4	サン＝トロペ	1952-53	ポショワール・紙	43.0 x 52.0	個人蔵
79-5	プロヴァンス風景	1953	ポショワール・紙	43.0 x 52.0	個人蔵
79-6	一本の松	1952-53	ポショワール・紙	52.0 x 43.0	個人蔵
79-7	魚のある静物	1952-53	ポショワール・紙	43.0 x 52.0	個人蔵
79-8	イヴ	1952-53	ポショワール・紙	52.0 x 43.0	個人蔵
79-9	裸婦と装飾	1952-53	ポショワール・紙	43.0 x 52.0	個人蔵
79-10	フェルスタンベール広場	1951	ポショワール・紙	52.0 x 43.0	個人蔵
79-11	裸婦(プロヴァンスのモデル)	1952-53	ポショワール・紙	52.0 x 43.0	個人蔵
79-12	ラ・ロンド、狂騒の時代	1952-53	ポショワール・紙	43.0 x 52.0	個人蔵

※特に表記のない寸法は縦×横。

キスリング展用語解説

●エコール・ド・パリ(パリ派) 仏:École de Paris

20世紀初頭から第一次世界大戦期、とりわけ1920年代のパリで活躍した外国人芸術家たちを指す。キュビズムなど特定の様式や芸術運動を共有したわけではなく、それぞれが独自の表現様式をもっていた。印象派の登場から第二次世界大戦まで、芸術の国際的中心地であるパリに集まった多くの外国人芸術家たちは批評家や画商のサポートを受けながら活動した。シャガール、キスリング、パスキン、モディリアアーニや藤田嗣治らが著名。なお、この呼称は美術評論家ロジェ・アラルが1923年に『ラ・ルヴュ・ユニヴェルセル』誌で最初に使用したとされる。

●エコール・フランセーズ 仏:École Française

エコール・ド・パリにはユダヤ系のキスリングをはじめ、多くの外国人作家がいた。1920年代のフランス国内では、戦時にくすぶっていた国粋主義の感情が高まり、ユダヤ人を含む他民族に対する排他的論調が増大していた。その帰結として、フランスの保守的批評家たちは視覚芸術におけるフランスの伝統という概念を再定義し、改めて主張する機運が盛り上がった。その結果、ドランやヴラマンクらフランス出身の作家たちを「エコール・フランセーズ」と呼び、パリに住む外国人作家を多く含んだ「エコール・ド・パリ」と区別して用いられた。

●アンデパンダン展 仏:salon des artistes indépendants

フランス国家の主催するサロンのアカデミズムと権威主義に反発するスーラ、シニャックらにより、1884年5月パリでアンデパンダン美術協会(独立芸術家協会)が設立された。同展は審査を介さず、会費を払えば誰でも無審査で出品でき、授賞の制度もない。キスリングは1913年に初めて同展に3点を出品し、1925年までに計4回出品した。しかし、シニャックがそれまでアルファベット順で作品を展示していたのに対して、1924年から国籍ごとの作品展示に変更したため、この決定に反対したキスリングはレジェや藤田嗣治らとともに同年の出品を拒否した。

●サロン・ドートンヌ 仏:salon d'Automne

パリで毎年秋に開催される公募展。1903年10月、サロンの保守性、アンデパンダン展の自由な風潮に対抗し設立されたもので、前衛的傾向を追求するサロンとして位置づけられている。1905年にはドランやヴラマンクらが出品し、フォーヴィスムが誕生したことで有名。1908年にはブラックが参加し、キュビズムが誕生する契機となった。前衛的な若い芸術家の作品発表の場であったと同時に、革命的な役割を果たした画家たちの回顧展も開催した。キスリングは1912年に初出品し、連隊の乗組員に召集される前年の1938年まで同展に出品を重ねた。

●サロン・デ・テュイルリー 仏:salon des Tuileries

1923年に組織されたフランスの美術展。毎年秋パリで絵画と彫刻の展覧会を開催しており、1962年まで続いた。設立時の出品者はスゴンザックやヴラマンクなど。同展は設立当時流行していた非具象・抽象的動向に対して、具象あるいはネオ・レアリズムのような保守的傾向を示した。キスリングをはじめシャガールや藤田嗣治など多くの外国人作家は国別の展示方法に変更された1924年のアンデパンダン展への出品を拒否し、本展に出品。具象的傾向を顕著にしていたキスリングに同展の理念はふさわしく、1923年から1933年の間に計4回出品した。

●キュビズム 仏:le cubisme

20世紀初頭、セザンヌの「形態」に対する主張に影響を受けたブラックやピカソが創始した芸術における革新運動およびその手法。キュビズムの動向は一般に、対象を細分化して構築する「分析的キュビズム」、前者において細分化された対象の形態を再び統合する「総合的キュビズム」の2段階に分けられるが、第一次世界大戦勃発とともに終焉を迎えた。

キスリングはピカソとキュビズムについて論争したが、キュビズム運動には参加しなかった。しかし、初期作は対象を理知的に分析して画面を構築するなど、その確かな影響がうかがえる。

3 没後 50 年 神田日勝 大地への筆触 ここで描く、ここで生きる

Kanda Nissho: A Retrospective

会 期：9月19日（土）～11月8日（日）
会 場：北海道立近代美術館 展示室B
主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社
後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
協 力：神田日勝記念美術館
協 賛：柳月

「結局、どう云う作品が生れるかは、どう云う生き方をするのにかかっている。」

この言葉を残した神田日勝（1937-1970）は、若くして病没する32年間の生涯の中で、農業に従事しながら、画家として数々の作品を描いた。

東京で生まれた日勝が北海道へ渡ったのは、7歳のときのことである。第二次世界大戦の戦火を逃れるために一家で移住し、十勝地方・鹿追に入植、その翌日にこの地で終戦を迎えた。彼はここで荒地を開墾する厳しい生活を送りながら、次第に絵画への関心を高めていくこととなる。

18歳の頃からは本格的な制作を始め、身近な事物を題材とした大作を手がけた。そして昭和35（1960）年に全道展、昭和39（1964）年には独立展に初入選するなど着実に評価を得ていく。その後、画風は目まぐるしく展開していくが、作品の多くは一貫して堅いベニヤ板にペインティングナイフで描かれており、その力強い筆触は、大地を耕す営みを彷彿とさせるものであった。

本展では、神田日勝の没後50年の節目を記念し、代表作を一堂に会し、その画業を回顧した。さらに最新の研究成果を踏まえながら、影響を与えた画家の作品もあわせて展示することにより、同時代の美術を咀嚼しながら制作に励んでいた、日勝の新たな一面も紹介した。



●巡回

東京ステーションギャラリー
6月2日～6月28日

※当初予定：4月18日～6月28日。新型コロナウイルス感染拡大と緊急事態宣言の発令により開幕日を上記に変更した。

神田日勝記念美術館
7月11日～9月6日

●展示構成

- 1 プロローグ
- 2 壁と人
- 3 牛馬を見つめる
- 4 画室／室内風景
- 5 アンフォルメルを試み
- 6 十勝の風景
- 7 エピローグ

●図録

仕 様：A4変形判（310×242mm）、196ページ
編 集：羽鳥綾（東京ステーションギャラリー広報）
執 筆：川岸真由子（神田日勝記念美術館学芸員）、富田章（東京ステーションギャラリー館長）、村山史歩（当館主任学芸員）、佐藤幸宏（前当館学芸副館長）、鈴木幸人（北海道大学文学研究院准教授）、奈良美智（美術家）
翻 訳：スタイナー紀美子
撮 影：文京図案堂
デザイン：三木俊一（文京図案堂）
印 刷：吉原印刷株式会社
発 行：北海道新聞社

●広報印刷物

ポスター：B2判縦
チラシ：A4判縦
観覧券：160×70mm（共通券以外）、180×70mm（共通券）
出品目録：A3判二つ折り
デザイン：三木俊一氏（文京図案堂）（出品目録を除く）
印 刷：岩橋印刷株式会社

●作品輸送・展示

ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

●会場設営

株式会社六書堂

●関連事業等

[講座]

演 題：見どころトーク

日 時：10月17日（土）、11月1日（日） 各日14時～（約40分）

会場：当館講堂
講師：野田佳奈子（当館学芸員）
聴講者数：71名、44名 計115名

[特設ライブラリー]

令和2年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業
深める・楽しむ～神田日勝 北海道立図書館の蔵書から

会期：会期中
会場：本展出口特設コーナー
主催：北海道立図書館、北海道立近代美術館
内容：北海道立図書館蔵書から神田日勝に関する図
書・雑誌等30冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等

[新聞]

北海道新聞

「表現世界 十勝で開拓」 9月18日（金）

「伝わる 日勝の情熱」 9月19日（土）

「ほどばしる生命感」 川岸真由子 10月14日（水）

北海道通信

「没後50年 代表作一堂に」 10月5日（月）

没後50年

神田日勝 大地への筆触

ここで描く、ここで生きる

2020年9月19日(土)～11月8日(日)

北海道立近代美術館

主催:北海道立近代美術館、北海道新聞社

後援:北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協力:神田日勝記念美術館

協賛:柳月

出品作品リスト *本展は巡回展であり、当館に出品しない作品は欠番とした
* No. は図録掲載番号であり、必ずしも展示順と符合しない

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
-----	-----	-----	-----	-------	----

chapter i : プロローグ

1	神田日勝	自画像	1956頃	油彩、カンヴァス	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
2	神田日勝	風景	1952-56頃	油彩、カンヴァス	個人蔵
3	神田日勝	風景	1956頃	油彩、カンヴァス	個人蔵
4	神田日勝	風景	1956頃	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
5	神田日勝	瘦馬	1956	油彩、ベニヤ板	帯広市教育委員会 (北海道立帯広美術館寄託)
6	神田日勝	馬	1957	油彩、ベニヤ板	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)

chapter ii : 壁と人

7	神田日勝	家	1960	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
8	神田日勝	家	1960頃	鉛筆、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
9	神田日勝	ゴミ箱	1961	油彩、ベニヤ板	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
10	神田日勝	デッサン帳(D-2)	1961/69頃	鉛筆・ペン、紙	個人蔵
11	曹 良奎	マンホール B	1958	油彩、カンヴァス	宮城県美術館
12	神田一明	赤い室内	1961	油彩、カンヴァス	北海道立近代美術館
13	神田日勝	人	1962	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
14	神田日勝	デッサン帳(D-3)	1962頃	鉛筆・墨、紙	個人蔵
15	神田日勝	飯場の風景	1963	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
16	神田日勝	板・足・頭	1963	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
17	神田日勝	炭車・人	1963頃	鉛筆、紙	神田日勝記念美術館
18	寺島春雄	柵と人	1957	油彩、カンヴァス	帯広百年記念館
19	神田日勝	家	1962頃	油彩、ベニヤ板	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
20	神田日勝	家	1962頃	油彩、ベニヤ板	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
21	神田日勝	家と人	1962頃	コンテ、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
22	神田日勝	家と人	1962頃	コンテ、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
23	神田日勝	一人	1964	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
24	神田日勝	飯場の風景	1964	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
25	神田日勝	壁と人	制作年不詳	コンテ、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
26	曹 良奎	密閉せる倉庫	1957	油彩、カンヴァス	東京国立近代美術館
27-1	神田日勝	自画像	1964頃	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
27-2	神田日勝	集う(習作)	1964頃	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
28	神田日勝	人間	1964頃	油彩、ベニヤ板	個人蔵
29	神田日勝	デッサン帳(D-1)	1960頃	鉛筆・墨・ペン、紙	個人蔵
30	神田日勝	トラックと人	1962頃	墨、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
31	神田日勝	男	1962頃	墨、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)

chapter iii : 牛馬を見つめる

32	神田日勝	馬	1965	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
33	神田日勝	開拓の馬	1966	油彩、ベニヤ板	北鹿追農事組合 (神田日勝記念美術館寄託)
34	神田日勝	人と牛	1960頃	墨、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
35	神田日勝	馬と人	制作年不詳	墨、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
36	神田日勝	死馬	1965	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
37	神田日勝	デッサン帳(D-4) 《死馬》のための デッサン	1961頃	鉛筆、紙	個人蔵
38	海老原喜之助	友よさらば	1951	油彩、カンヴァス	神奈川県立近代美術館
39	神田日勝	牛	1964	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
40	神田日勝	牛	1966	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
41	神田日勝	静物	1966	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
-----	-----	-----	-----	-------	----

chapter iv : 画室／室内風景

42	神田日勝	画室 A	1966	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
43	神田日勝	画室 B	1966	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
44	神田日勝	画室 C	1967	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
45	神田日勝	画室 D	1967	油彩、ベニヤ板	北海道立帯広美術館
46	神田日勝	画室 E	1967	油彩、ベニヤ板	帯広市教育委員会 (北海道立帯広美術館寄託)
47	神田日勝	室内風景	1968	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
48	神田日勝	室内風景	1970	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
49	神田日勝	室内風景	1969-70	鉛筆、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
50	神田日勝	室内風景	1969-70	鉛筆、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
51	神田日勝	デッサン帳(D-6)	1969頃	ペン・コンテ、紙	個人蔵
52	神田日勝	デッサン帳(D-7)	1969-70	ペン・鉛筆、紙	個人蔵
53	海老原 暎	1969年3月30日	1969	油彩、カンヴァス	個人蔵
54	北川民次	画家の家族	1969	油彩、カンヴァス	東京国立近代美術館
55	神田日勝	壁と顔	1968	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
56	神田日勝	ヘイと人	1969	油彩、ベニヤ板	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
57	神田日勝	デッサン帳(D-5)	1966-69	ペン、紙	個人蔵

chapter v : アンフォルメルを試み

58	神田日勝	晴れた日の風景	1968	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
59	海老原喜之助	川辺にて	1962	油彩、カンヴァス	神奈川県立近代美術館 (北川原コレクション)
60	神田日勝	人と牛 A	1968	油彩、ベニヤ板	北海道新聞社 (神田日勝記念美術館寄託)
61	神田日勝	人と牛 B	1968	油彩、ベニヤ板	帯広市教育委員会 (北海道立帯広美術館寄託)
62	神田日勝	人と牛 C	1968	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
63	神田日勝	人と牛 D	1968	油彩、ベニヤ板	北海道立近代美術館
64	神田日勝	人間 A	1969	油彩、ベニヤ板	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
65	神田日勝	人間 B	1969	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
66	神田日勝	作品 B	1969	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
67	神田日勝	作品 C	1969	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
-----	-----	-----	-----	-------	----

chapter vi : 十勝の風景

68	神田日勝	荒野の廃家	1965頃	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
69	神田日勝	風景	1966頃	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
70	神田日勝	離農	1969	油彩、カンヴァス	神田日勝記念美術館
71	神田日勝	暮色	1969	油彩、カンヴァス	森田晋氏蔵 (神田日勝記念美術館寄託)
72	神田日勝	ポプラの道	1969	油彩、カンヴァス	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
74	神田日勝	水辺の馬	1969頃	油彩、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
76	神田日勝	扇ヶ原展望	1969	油彩、カンヴァス	佐野力氏蔵 (神田日勝記念美術館寄託)

chapter vii : エピローグー半身の馬

77	神田日勝	静物・家(未完)	1970	油彩、ベニヤ板	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
78	神田日勝	馬(絶筆・未完)	1970	油彩・鉛筆、ベニヤ板	神田日勝記念美術館
79	神田日勝	馬	1970頃	鉛筆、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
80	神田日勝	馬	1970頃	ペン、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
81	神田日勝	馬	1970頃	鉛筆、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
82	神田日勝	馬	1970頃	ペン、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
83	神田日勝	馬	1970頃	ペン、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
84	神田日勝	馬	1970頃	鉛筆、紙	個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)

ロビー展示

	吉田 傑	半身の馬	2019	ダンボール	神田日勝記念美術館
--	------	------	------	-------	-----------

4 デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉

Morohoshi Daijiro Exhibition

会 期：11月21日（土）～令和3年1月17日（日）
会 場：北海道立近代美術館 展示室B
主 催：北海道立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン
協 力：河出書房新社

日本中に多数の熱狂的なファンをもち、クリエイターから異分野の研究者まで、あらゆる方面から絶大な支持を誇る漫画家・諸星大二郎（昭和24（1949）年生まれ）。

昭和45（1970）年、「COM」12月号に掲載された『ジュン子・恐喝』で実質的なデビューを果し、昭和49年、『生物都市』で第7回手塚賞受賞、注目を集めた。その作風は、『生物都市』や『夢見る機械』（昭和49）など当初のSF的なものから、『妖怪ハンター』シリーズ（昭和49～）に見られる民俗学・考古学的な視点を持った作品、『マッドメン』（昭和50～57）など人類学的な考察とスケールを持った作品、『暗黒神話』（昭和51）などの記紀神話を基に大胆な世界観を披露した作品、『西遊妖怪伝』（昭和58～）、『諸怪志異』（昭和59～平成23（2011））など東洋文学・思想などから影響が見られる作品、『私家版鳥類図譜』（平成12～15）『私家版魚類図譜』（平成16～19）など博物学的な視点を感じさせる作品、『栗と紙魚子』シリーズ（平成7～）のように、さまざまな要素を盛り込みながら、親しみやすい作品となっているものまで、幅広いジャンルに渡っている。誰にも真似をすることができないといわれる諸星ならではの絵とも相まって、どの作品においても諸星大二郎独特の世界を築き上げている。

本展では、諸星大二郎のデビュー50周年を記念して、代表作の原画約350点を中心に、作品世界に関わりの深い美術作品や歴史・民俗資料などをあわせて展示することにより、読む者を「異界」へと導く魅力の原点へと迫った。

なお、本展は令和2（2020）年の美術館連絡協議会「美連協大賞」の大賞を受賞した。



●巡回

イルフ童画館

令和3年1月24日～3月13日

北九州市漫画ミュージアム

令和3年3月20日～5月10日

三鷹市美術ギャラリー

令和3年8月7日～10月10日

足利市立美術館

令和3年10月23日～12月26日

●展示構成

- 1 1970年デビュー 「異界」への出発点
- 2 日常／非日常 異界への扉
- 3 民俗学／人類学／考古学 再構築された「異界」
- 4 日本の神話／伝説／文学 深遠にして身近な「異界」
- 5 西洋の神話／伝説／文学 異界の西洋—もうひとつのナラティブ
- 6 中国の神話／伝説／文学 長大な歴史の「異界」を描く
- 7 博物誌／書誌 諸星的「異界」の体系化
- 8 アート 異界の扉の鍵

●図録

仕 様：B5判縦（257×182mm）、272ページ

編 集：穴沢優子（河出書房新社）

執 筆：鎌田東二（京都大学名誉教授）、大下智一（当館学芸企画課長）、表智之（北九州市漫画ミュージアム専門研究員）、石井茜（北九州市漫画ミュージアム学芸員）、江尻潔（足利市立美術館次長）、富田智子（三鷹市美術ギャラリー主任学芸員）、河西見佳（イルフ童画館学芸員）

撮 影：いわねスタジオ、矢崎秀行、西村豊 ネイチャーフォト・プロダクション、倉重哲夫、山田武二（元鎌倉国宝館）

デザイン：清水肇（prigraphics）

印 刷：図書印刷株式会社

発 行：株式会社河出書房新社

●広報印刷物

ポスター：B2判縦

チラシ：A4判縦

観 覧 券：155×65mm（共通券以外）、175×65mm（共通券）

出品目録：A3判二つ折り

デザイン：清水肇氏（prigraphics）（出品目録を除く）

印 刷：山藤三陽印刷株式会社（出品目録を除く）

●作品輸送・展示

日本通運株式会社

●会場設営

株式会社六書堂

●関連事業等

[オープニング記念講演会]

演 題：異形の神智学者の宇宙探求～諸星漫画世界の
神秘

日 時：11月21日（土） 14時～（約90分）

会 場：当館講堂

講 師：鎌田東二（京都大学名誉教授）

聴講者数：93名

[講座]

演 題：見どころ解説

日 時：12月5日（土）、1月16日（土） 各日14時
～（約60分）

会 場：当館講堂

講 師：大下智一（当館学芸企画課長）

聴講者数：30名、37名 計67名

[諸星展キャラクター総選挙]

日 時：会期中

会 場：展示室入口にて投票用紙を配布

応募総数：1,830名

[特設ライブラリー]

令和2年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業
深める・楽しむ～諸星大二郎展 北海道立図書館の蔵書から

会 期：会期中

会 場：本展出口特設コーナー

主 催：北海道立図書館、北海道立近代美術館

内 容：北海道立図書館蔵書から諸星大二郎および関
連出品作品に関する図書・雑誌等32冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等

[新聞]

読売新聞

「開幕ファン続々 デビュー50周年 独特な作風魅力」

11月22日（日）

「諸星大二郎展 異界への扉 上 縄文土器の装飾美に
圧倒」大下智一 11月24日（火）

「諸星大二郎展 異界への扉 中 西遊記 新たな世界
観」大下智一 11月28日（土）

「諸星大二郎展 異界への扉 下 現実超えたビジョン
堪能」大下智一 12月2日（水）

「諸星さん太鼓判「異界への扉」」 12月23日（水）

「美連協大賞に諸星大二郎展」 3月10日（水）

北海道新聞

（さっぽろ10区）「近代美術館初の漫画家企画展「諸星
大二郎展」 奇才の魅力と原点辿る」石田美穂子 11月27
日（金）

「奇想の漫画家 源泉探る 湧いてくるイメージ大事に
諸星氏に聞く」古川有子 12月26日（土）

「人 2021 企画した諸星大二郎展が美連協大賞の学芸員」
古川有子 令和3年4月9日（金）

[雑誌]

美術屋百兵衛 第54・55合併号 2020

「アートとしてのマンガ／諸星大二郎展 異界への扉」

[その他]

メディア芸術カレントコンテンツ

「「デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉」
レポート」竹内美帆 1月7日（木）

諸星大二郎展 異界への扉

北海道立近代美術館

主催：北海道立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 後援：札幌市、札幌市教育委員会 協賛：ライオン、DNP大日本印刷、損保ジャパン 協力：河出書房新社

出品リスト[漫画原稿・イラストレーション]

※本展は巡回展であり、当館に出品しない作品は欠番とした。

※前期展示は11/21～12/13、後期展示は12/15～1/17。

※『西遊妖猿伝』の話教表記は、講談社版単行本に基づいて記載した。

No.	作品名	材質/技法	初出	前期	後期
—	ご挨拶色紙	インク、紙	2020年 描き下ろし	○	○
001	本展メインビジュアル	鉛筆、紙	2020年 描き下ろし	○	○
1970年 デビュー					
002-1~4	ジュン子・恐喝	インク、紙	『COM』（虫プロ商事）1970年12月号	○	○
日常/非日常					
003-1	不安の立像	水彩、紙	『不安の立像』（創美社、1993年）表紙	○	
003-2~5	不安の立像	インク、紙	『WEEKLY漫画アクション』（双葉社）1973年9月8日増刊号	○	○
004-1	夢みる機械	水彩、紙	『夢みる機械』（創美社、1993年）表紙		○
004-2~5	夢みる機械	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1974年11月4日号（No. 45）	○	○
005-1~4	生物都市	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1974年7月29日号（No. 31）	○	○
006-1~3	食事の時間	インク、紙	『少年ジャンプ』（集英社）1978年9月15日増刊号	○	○
007-1~3	子供の遊び	インク、紙	『ヤングジャンプ』（集英社）1979年6月21日号（No. 2）	○	○
008-1~2	地獄の戦士 後編	インク、紙	『ヤングジャンプ』（集英社）1979年11月1日号（No. 11）	○	○
009-1~4	ぼくとフリオと校庭で	インク、紙	『少年ジェッツ特別編集 SFコミック特集号』（白泉社）1983年2月20日増刊号	○	○
010-1~4	壁男 PART3	インク、紙	『COMICアレ!』（マガジンハウス）1996年9月号	○	○
011-1~4	雨の日はお化けがいるから	インク、紙	『モーニング』（講談社）2015年4月16日号（No. 18）	○	○
012-1~4	オリオンラジオの夜 第1話 サウンド・オブ・サイレンス	インク、紙	『ビッグコミック』（小学館）2017年6月17日増刊号	○	○
民俗学/人類学/考古学					
013-1	マッドメン	水彩、紙	『完全版 マッドメン』（筑摩書房、1991年）表紙	○	
013-2	波子（マッドメン）	水彩、紙	『マッドメン1 オンゴロの仮面』（創美社、2000年）	○	
013-3	マッドメン	水彩、紙	『マッドメン2 大なる復活』（創美社、2000年）表紙		○
013-4	マッドメン	水彩、紙	『マッドメン1 オンゴロの仮面』（創美社、2000年）表紙		○
013-5~6	オンゴロの仮面（マッドメン）	インク、紙	『月刊少年チャンピオン』（秋田書店）1980年2月号	○	○

013-7	森からの脱出 (マッドメン)	インク、紙	『月刊少年チャンピオン』(秋田書店)1980年4月号	○	○
013-8	変身の森 (マッドメン)	インク、紙	『月刊少年チャンピオン』(秋田書店)1981年11月号	○	○
013-9~12	大いなる復活 (マッドメン)	インク、紙	『月刊少年チャンピオン』1982年1月号	○	○
014-1	妖怪ハンター	水彩、紙	『妖怪ハンター 裨田礼二郎のフィールド・ノートより 六福神』(集英社、1998年)表紙		○
014-2	妖怪ハンター・地の巻	水彩、紙	『ヤングジャンプ』(集英社)1991年6月25日増刊号	○	
015-1~8	生命の木 (妖怪ハンター)	インク、紙	『少年ジャンプ』(集英社)1976年8月20日増刊号	○	○
016-1~4	闇の中の仮面の顔 (妖怪ハンター)	インク、紙	『妖怪ハンター』(創美社、1978年)	○	○
017-1	海神記	水彩、紙	『海神記 上』(光文社、2007年)表紙	○	
017-2	海神記	水彩、紙	『海神記』3巻(潮出版社、1994年)口絵		○
017-3~5	海神記 第4章 伊都	インク、紙	『週刊ヤングジャンプ』(集英社)1981年7月9日号(No.30)	○	○
018-1~4	沼の子供	インク、紙	『WEEKLY漫画アクション増刊 スーパー・フィクション』(双葉社)1982年9月4日号(No.11)	○	○
019-1~3	海竜祭の夜 (妖怪ハンター)	インク、紙	『週刊ヤングジャンプ』(集英社)1982年2月18日号(No.9)	○	○
020-1~4	花咲爺論序説 (妖怪ハンター)	インク、紙	『週刊ヤングジャンプ』(集英社)1985年9月12日号(No.39)	○	○
021-1~6	闇の客人 (妖怪ハンター)	インク、紙	『月刊ベアーズクラブ』(集英社)1990年1月号(No.20)	○	○
022-1	うつぼ舟の女 (妖怪ハンター) 第1話	インク、紙	『ベアーズクラブ』(集英社)1992年2月1日号(No.40)	○	○
022-2~4	うつぼ舟の女 (妖怪ハンター) 第4話	インク、紙	『ベアーズクラブ』(集英社)1992年11月1日号(No.43)	○	○
023-1~3	産女の来る夜 (妖怪ハンター)	インク、紙	『ベアーズクラブ』(集英社)1994年8月号(No.52)	○	○
024-1~4	帰還 (妖怪ハンター)	インク、紙	『週刊ヤングジャンプ増刊 ウルトラジャンプ』(集英社)1995年10月11日号(No.2)	○	○
025-1	雪の祭 (妖怪ハンター)	水彩、紙	『太陽の地図帖31 諸星大二郎『妖怪ハンター』異界への旅』(平凡社、2015年)	○	
025-2	雪の祭 (妖怪ハンター)	水彩、紙	『太陽の地図帖31 諸星大二郎『妖怪ハンター』異界への旅』(平凡社、2015年)		○
025-3~6	雪の祭 (妖怪ハンター)	インク、紙	『太陽の地図帖31 諸星大二郎『妖怪ハンター』異界への旅』(平凡社、2015年)	○	○
026-1~4	詔命	インク、紙	『漫画アクションコミックス』(双葉社)1978年6月27日号 初出時タイトル:「礎」	○	○
027-1~4	鎮守の森	インク、紙	『WEEKLY漫画アクション増刊 スーパー・フィクション』(双葉社)1983年2月13日号(No.13)	○	○
028-1~4	砂の巨人 (巨人譚) 前編	インク、紙	『マンガ少年』(朝日ソノラマ)1979年4月号	○	○
029-1~4	ギルガメシュの物語 (巨人譚)	インク、紙	『巨人譚』(光文社、2008年)	○	○
日本の神話／伝説／文学					
030-1	暗黒神話	水彩、紙	『暗黒神話』(創美社、1988年)表紙	○	
030-2	暗黒神話	水彩、紙	『アニメージュ』1990年2月号 折り込みポスター		○
030-3~4	暗黒神話 第一話 畜生の章	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』(集英社)1976年5月17日号(No.20)	○	○

030-5~6	暗黒神話 第二話 阿修羅の章	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1976年5月24日号（No. 21）	○	○
030-7~8	暗黒神話 完全版 第五話 地獄の章	インク、紙	『画楽.mag』（ホーム社）2014年12月17日号（vol. 5）	○	○
030-9~10	暗黒神話 第七話 天の章	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1976年6月21日号（No. 25）	○	○
031-1~4	天孫降臨（妖怪ハンター） 第二章 樹海にて	インク、紙	『月刊エアーズクラブ』（集英社）1991年1月号（No. 32） 初出時タイトル：「大樹の子ら」後編	○	○
032-2	葉と紙魚子	水彩、紙	ソノラマコミック文庫『葉と紙魚子』3巻（朝日ソノラマ、2003年）表紙	○	
032-3	葉と紙魚子	色鉛筆、水彩、紙	『新装版 葉と紙魚子』3巻（朝日新聞出版、2015年）表紙		○
033-1~4	雑貨の戦争（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2000年1月号	○	○
034-1~4	何かが街にやってくる（葉と紙魚子） 中編	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2003年7月号	○	○
035-1~4	百鬼夜行（バイオの黙示録）	インク、紙	『ウルトラジャンプ』（集英社）2007年2月号	○	○
036-1~2	ヨグの逆襲（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）1996年7月1日号（vol. 32）	○	○
037-1~2	クトルーちゃん（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）1996年5月1日号（vol. 31）	○	○
038-1~3	葉と紙魚子物怪録（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2007年3月号	○	○
039-1~4	弁財天怒る！（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2007年5月号	○	○
040-1~2	死人帰り（妖怪ハンター）第2話	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1974年9月30日号（No. 40） 初出時タイトル：「帰ってきた死人」	○	○
040-3~4	死人帰り（妖怪ハンター）第3話	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1974年10月7日号（No. 41） 初出時タイトル：「帰ってきた死人」	○	○
041-1~4	淵の女（妖怪ハンター）	インク、紙	『週刊ヤングジャンプ増刊 ウルトラジャンプ』（集英社）1997年7月7日（No. 10）	○	○
中国の神話／伝説／文学					
042-1	孔子暗黒伝	水彩、紙	『孔子暗黒伝』（創美社、1988年）表紙	○	
042-2	孔子暗黒伝	水彩、紙	『孔子暗黒伝』1巻・赤気篇（創美社、1978年）表紙		○
042-3	孔子暗黒伝（仏陀入滅）	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1977年12月26日（No. 52）	○	○
042-4	孔子暗黒伝（狂接輿 歌いて過ぐ）	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1978年1月2日（No. 1）	○	○
042-5~6	孔子暗黒伝 （孔子大いに怪力乱神を語る）	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1978年1月30日（No. 5）	○	○
042-7	孔子暗黒伝（時の御柱）	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1978年2月20日号（No. 8）	○	○
042-8~9	孔子暗黒伝（知識の甘き果実）	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1978年2月27日号（No. 9）	○	○
043-1	西遊妖怪伝	水彩、紙	『西遊妖怪伝』1巻（潮出版社、1998年）表紙	○	
043-2	西遊妖怪伝	水彩、紙	『西遊妖怪伝 オリジナルアルバム』（東芝EMI、1986年）レコードジャケット		○
043-3	西遊妖怪伝	水彩、紙	『月刊スーパーアクション』（双葉社）1986年9月号	○	
043-4	西遊妖怪伝	水彩、紙	『西遊妖怪伝 西域篇』1巻（講談社、2009年）表紙		○
043-5~6	西遊妖怪伝 大唐篇 第3回	インク、紙	『月刊スーパーアクション』（双葉社）1983年8月号	○	○

043-7~8	西遊妖猿伝 大唐篇 第7回	インク、紙	『月刊スーパーアクション』（双葉社）1983年12月号	○	○
043-9~12	西遊妖猿伝 大唐篇 第18回	インク、紙	『月刊スーパーアクション』（双葉社）1984年10月号	○	○
043-13~14	西遊妖猿伝 大唐篇 第39回	インク、紙	『月刊スーパーアクション』（双葉社）1986年11月号	○	○
043-15~17	西遊妖猿伝 大唐篇 第85回	インク、紙	『月刊コミックトム』（潮出版社）1995年11月号	○	○
043-18~19	西遊妖猿伝 大唐篇 第100回	インク、紙	『月刊コミックトム』（潮出版社）1997年8月号	○	○
043-20~21	西遊妖猿伝 西域篇 第4回	インク、紙	『モーニング』（講談社）2009年1月1日号（No. 1）	○	○
043-22~23	西遊妖猿伝 西域篇 第36回	インク、紙	『月刊モーニングtwo』（講談社）2014年9月号	○	○
044-1	碁娘伝	水彩、紙	『碁娘伝』（潮出版社、2001年）裏表紙	○	
044-2	碁娘伝	アクリル、紙	『碁娘伝』（潮出版社、2001年）表紙		○
044-3~6	碁娘後伝	インク、紙	『WEEKLY漫画アクション』（双葉社）1993年12月21日号	○	○
045-1	異界録（諸怪志異）	水彩、紙	『諸怪志異 一』（双葉社、1989年）表紙	○	
045-2	燕見鬼（諸怪志異）	水彩、紙	『諸怪志異 四』（双葉社、2005年）表紙		○
046-1~4	山都（諸怪志異）	インク、紙	『WEEKLY漫画アクション』（双葉社）1990年1月2日号	○	○
047-1~4	土中の怪（諸怪志異）	インク、紙	『ハロウィン増刊 眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）1994年11月30日号（vol. 22）	○	○
048-1~4	鵬の墜落（私家版鳥類図譜）	インク、紙	『モーニング』（講談社）2001年7月26日号（No. 32）	○	○
049-1~3	三山図（諸怪志異）	インク、紙	『WEEKLY漫画アクション』（双葉社）1990年7月10日号（No. 33）	○	○
050-1~3	天開眼（諸怪志異）	インク、紙	『WEEKLY漫画アクション』（双葉社）1990年10月9日号（No. 48）	○	○
西洋の神話／伝説／文学					
051-1~4	失楽園 地獄篇	インク、紙	『マンガ少年』（朝日ソノラマ）1978年7月号	○	○
051-5~8	失楽園 天堂篇	インク、紙	『マンガ少年』（朝日ソノラマ）1978年8月号	○	○
052-1~4	Gの日記（グリムのような物話）	インク、紙	『ネムキ増刊 眠れぬ夜の奇妙な話』（朝日ソノラマ）2002年4月20日号	○	○
053-1~4	赤ずきん（グリムのような物話）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2004年11月号	○	○
054-1~4	いばら姫（グリムのような物話）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2005年9月号	○	○
055-1~4	ラプンツェル（グリムのような物話）	インク、紙	『ミステリーズ！』（東京創元社）2004年7号	○	○
056-1~2	ラプンツェル（グリムのような物話） 前編	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2005年1月号	○	○
056-3~4	ラプンツェル（グリムのような物話） 後編	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2005年5月号 ※単行本収録時に改稿	○	○
057-1~2	トゥルーデおばさん （グリムのような物話） 前編	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2004年5月号	○	○
057-3~4	トゥルーデおばさん （グリムのような物話） 後編	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2004年7月号	○	○
058-1	深海人魚姫（私家版魚類図譜）	アクリル、紙	『別冊モーニング』（講談社）2004年1号	○	

058-2~3	深海人魚姫（私家版魚類図譜）	インク、紙	『別冊モーニング』（講談社）2004年1号	○	○
059-1	深海に還る（私家版魚類図譜）	水彩、紙	『モーニング』（講談社）2006年9月14日号（No. 40）		○
059-2~3	深海に還る（私家版魚類図譜）	インク、紙	『モーニング』（講談社）2006年9月14日号（No. 40）	○	○
博物誌／書誌					
060-1	私家版鳥類図譜	水彩、紙	『私家版鳥類図譜』（講談社、2003年）表紙カット	○	
060-2	私家版鳥類図譜	アクリル、 水彩、紙	『私家版鳥類図譜』（講談社、2003年）口絵		○
061-1	私家版魚類図譜	水彩、紙	『私家版魚類図譜』（講談社、2007年）表紙カット		○
061-2	奇妙な海岸（私家版魚類図譜）	水彩、紙	『私家版魚類図譜』（講談社、2007年）口絵	○	
062-1~4	ヒトニグサ（妖怪ハンター）	インク、紙	『週刊ヤングジャンプ』（集英社）1982年9月16日号（No. 39）	○	○
063-1~4	ラビリンス（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）1998年1月号	○	○
064-1~4	古本地獄屋敷（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2000年7月号	○	○
065-1~4	本の魚（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2000年5月号	○	○
066-1~4	本の魚2（葉と紙魚子）	インク、紙	『眠れぬ夜の奇妙な話 ネムキ』（朝日ソノラマ）2001年1月号	○	○
067-1~4	シンジユク埠頭（バイオの黙示録）	インク、紙	『ウルトラジャンプ』（集英社）2007年10月号	○	○
アート					
068-1~4	黒い探査者（妖怪ハンター）	インク、紙	『週刊少年ジャンプ』（集英社）1974年9月9日号（No. 37）	○	○
069-1~4	ど次元世界物語	インク、紙	『週刊少年アクション』（双葉社）1975年12月29日号（No. 9） 初出時タイトル：「ど次元くん」	○	○
070-1~4	ブラック・マジック・ウーマン	インク、紙	『WEEKLY漫画アクション増刊 スーパー・フィクション』（双葉社） 1979年8月31日号（No. 2）	○	○
071-1~4	天崩れ落つる日	インク、紙	『ヤングジャンプ』（集英社）1980年8月7日号（No. 15）	○	○
072-1~4	感情のある風景	インク、紙	『週刊ヤングジャンプ』（集英社）1981年2月26日号（No. 11） 初出時タイトル：「心のある光景」	○	○
073-1~4	影の街	インク、紙	『I'mチャンピオン』（秋田書店）1985年1号	○	○
074-1~4	鱒の埋葬	インク、紙	『アクション・ビザッツ』（双葉社）1991年10月2日号	○	○
075-1~4	（眼鏡なしで）右と左に見えるもの～エリック・サティ氏への親愛なる手紙～	インク、紙	『ビッグコミック』（小学館）2016年10月17日増刊号	○	○
076-1	遠い国から（夢の木の下で）	水彩、紙	『夢の木の下で』（マガジンハウス、1998年）表紙	○	
076-2	遠い国から・追伸 カオカオ様を通る	インク、紙	『諸星大二郎 自選短編集II 彼方より』（集英社、2001年）		○
076-3~4	遠い国から・追伸 カオカオ様を通る	インク、紙	『COMICアレ!』（マガジンハウス）1994年9月号	○	○
076-5~6	遠い国から・第三信 ナルム山紀行	インク、紙	『COMICアレ!』（マガジンハウス）1994年12月号	○	○
077-1	BOX～箱の中に何かいる～ 第16話 エッシャーの階段	インク、紙	『モーニングtwo』（講談社）2017年4月号	○	○
077-2	BOX～箱の中に何かいる～ 第17話 錯視の塔	インク、紙	『モーニングtwo』（講談社）2017年5月号	○	○

077-3	BOX～箱の中に何かいる～ 第22話 すべて世はこともなし	インク、紙	『モーニングtwo』（講談社）2017年10月号	○	○
078-1	アマビエ姫の上陸	鉛筆、紙	2020年 描き下ろし	○	○
—	ご挨拶色紙	インク、紙	2020年 描き下ろし	○	○

出品リスト[関連作品]

※本展に参考図版としてパネル（または複製作品）展示を行った作品・資料等については、No.の項目に「参」を付けて別途番号を記載した。

※作品名について、その作品が所蔵されている書名・シリーズ名がある場合は作品名より前に記載した。また、異なる作家作品に拠る（原典がある）場合は、作品名より後ろに（ ）で括り記載した。それ以外については、原則として所蔵館の表記に従った。

※参考作品の技法材質については、（*）で記載した。

※参14では、※1として原資料の所蔵先を記載した。

No.	作者名	作品名	制作年	材質/技法	所蔵先ほか	前期	後期
1970年デビュー							
参1	宮下芳子	新宿の目	1969	(*アクリル)	小田急電鉄株式会社	○	○
民俗学/人類学/考古学							
2	アベラム族（パプアニューギニア）	精霊ングワルの仮面	不明	木/着色	早稲田大学文化推進部	○	○
3		ニューギニアの人面魚（置物）	不明（2014年入手）	木、貝、その他/着色	諸星大二郎氏蔵	○	○
4		ニューギニアの首飾り	不明（2014年入手）	木の実、豚の牙、樹皮	諸星大二郎氏蔵	○	○
5		ニューギニアの仮面	不明（2014年入手）	木、貝、豚の牙、鳥の羽、その他/着色	諸星大二郎氏蔵	○	○
6		十二の神講中所持品のうち 御厨子本	江戸時代	紙、金属	大籠キリシタン資料館	○	○
7		十二の神講中所持品のうち デウス燭台	江戸時代	陶	大籠キリシタン資料館	○	○
8		十二の神講中所持品のうち 筒燭台	江戸時代	陶	大籠キリシタン資料館	○	○
9		マリア像	江戸時代	陶	大籠キリシタン資料館	○	○
参2		キリストの墓 青森県新郷村（旧・戸来村）				○	○
参3	ヤコボ・ティントレット	キリストの昇天	1578-81	(*キャンバス/油彩)	スクオーラ・グランデ・ディ・サン・ロッコ （サン・ロッコ大同信組合）	○	○
10		土面	縄文時代後期	土器	福島県立相馬高等学校	○	○
参4		元乃隅神社（山口県長門市）			〔写真提供：長門市観光コンベンション協会〕	○	○
参5		大湯環状列石（秋田県鹿角市）	縄文時代後期		〔写真提供：鹿角市教育委員会〕	○	○
11	岡本太郎	鬼剣舞（二子村、岩手）	1957	ゼラチンシルバープリント	川崎市岡本太郎美術館	○	
12	岡本太郎	鹿踊り（花巻温泉、岩手）	1957	ゼラチンシルバープリント	川崎市岡本太郎美術館		○
13	岡本太郎	那智火祭（和歌山）	1963	ゼラチンシルバープリント	川崎市岡本太郎美術館		○
参6		大斎原（和歌山県田辺市）			〔写真提供：矢崎秀行氏〕	○	○
14	万寿堂 編	『漂流記集』	江戸時代後期	紙/着色	西尾市岩瀬文庫	○	○
15	シャルル・フレジェ	YOKAINOSHIMA ナマハゲ（秋田県、男鹿）	2013	インクジェットプリント	シャルル・フレジェ氏蔵	○	○
16	シャルル・フレジェ	YOKAINOSHIMA スネカ（岩手県、大船渡、吉浜）	2015	インクジェットプリント	シャルル・フレジェ氏蔵	○	○
参7		熊野那智参詣曼荼羅〔部分〕	安土桃山時代	(*紙/着色)	國學院大學図書館〔写真提供：國學院大學図書館〕	○	○
17	シャルル・フレジェ	YOKAINOSHIMA 茂登岐（長野県、阿南、新野）	2015	インクジェットプリント	シャルル・フレジェ氏蔵	○	○
18	シャルル・フレジェ	YOKAINOSHIMA 天狗（長野県、阿南、新野）	2015	インクジェットプリント	シャルル・フレジェ氏蔵	○	○
日本の神話/伝説/文学							
19		竜蛇の神（深鉢形土器破片）	縄文時代中期	土器	富士見町井戸尻考古館	○	○
20		蛇体把手付深鉢形土器 長野県宝	縄文時代中期	土器	茅野市尖石縄文考古館	○	○
21	岡本太郎	縄文土器・模様 （長野県出土、東京国立博物館）	1956	ゼラチンシルバープリント	川崎市岡本太郎美術館	○	
22	岡本太郎	縄文土器・把手 （富山県出土、東大人類学教室）	1956	ゼラチンシルバープリント	川崎市岡本太郎美術館		○

参8		竹原古墳（福岡県宮若市）	古墳時代後期		（写真提供：宮若市教育委員会）	○	○
参9		チブサン古墳（熊本県山鹿市）	古墳時代後期		（写真提供：熊本県立装飾古墳館）	○	○
参10		長岩横穴群（熊本県山鹿市）	古墳時代後期		（写真提供：山鹿市教育委員会）	○	○
参11		珍敷塚古墳（福岡県うきは市）	古墳時代後期		（写真提供：熊本県立装飾古墳館）	○	○
参12		日岡古墳（福岡県うきは市）	古墳時代後期		（写真提供：熊本県立装飾古墳館）	○	○
23		内行花文鏡	後漢前期	青銅	浦上満氏蔵（足利市立美術館受託）	○	○
24		神人朱雀神鹿画像鏡	後漢後期	青銅	浦上満氏蔵（足利市立美術館受託）	○	○
参13		牛頭天王倚像	室町時代末期～ 江戸時代初期	（*木）	興禅寺（愛知県津島市）（写真提供：津島市教育委員会）	○	○
25	晴々庵伝来	胎蔵界曼荼羅図	江戸時代 （17世紀）	紙／墨摺、手彩色	町田市立国際版画美術館	11/21 ～12/4	
	晴々庵伝来	金剛界曼荼羅図	江戸時代 （17世紀）	紙／墨摺、手彩色	町田市立国際版画美術館	12/5 ～12/13	
26	歌川国芳	源頼光の四天王土蜘蛛退治之図	1843-47（天保・弘化期）	紙／木版、多色摺	恵俊彦コレクション		○
27	溪斎英泉	『武勇魁図会』より 神夏磯媛日向国に土蜘蛛を退治す	1838 （天保9）	紙／木版	相原コレクション	○	○
28		八咫鳥図	江戸時代 （18世紀）	紙／着色	橋本倫氏蔵	○	○
29	松岡緑堂（正盛）	百鬼夜行之図	江戸時代末期 一明治時代初期	紙／着色	西尾市岩瀬文庫	○	○
30	鳥山石燕	『百器徒然袋』（下）より 瀬戸大将	1784 （天明4）	紙／木版	西尾市岩瀬文庫	○	○
参14		稲生物怪録絵巻（複製）	1860 （万延元）	（*紙／着色）	個人蔵（三次市教育委員会受託） ※1	○	○
31		稲生物怪録絵巻	江戸時代	紙本／着色	東洋大学附属図書館	○	○
32		宇賀弁才天図	江戸時代	紙／着色	相原コレクション	○	○
参15		木造妙音弁財天坐像（裸弁財天） 藤沢市指定重要文化財	室町時代	（*檜）	江島神社（神奈川県藤沢市）（写真提供：藤沢市役所郷土歴史課）	○	○
33		『西行物語』	明治時代再版本（原本は1625）	紙／木版	山寺芭蕉記念館	○	○
34	鳥山石燕	『今昔百鬼拾遺（雲）』より 返（反）魂香	1781 （天明元）	紙／木版	相原コレクション	○	○
35	高木春山	『本草図説』水産之部廿五より 水虎（河童）	江戸時代後期	紙／着色、綴葉装	西尾市岩瀬文庫	○	○
中国の神話／伝説／文学							
36		山字文鏡	戦国時代後期	青銅	浦上満氏蔵（足利市立美術館受託）	○	○
37		蟠螭文鏡	戦国時代末期	青銅	浦上満氏蔵（足利市立美術館受託）	○	○
38		方格規矩四神鏡	後漢	青銅	浦上満氏蔵（足利市立美術館受託）	○	○
39		盤龍鏡	後漢中期	青銅	浦上満氏蔵（足利市立美術館受託）	○	○
40		饕餮鋪首	前漢	青銅	浦上満氏蔵（足利市立美術館受託）	○	○
41		『論語』（四書章句集註）	1891（明治24）刊	版本	史跡足利学校	○	○
42		『易経』（校定音訓五経）	1870（明治3）刊	版本	史跡足利学校	○	○
43	岳亭五岳 作、 葛飾戴斗 画	『絵本西遊全伝』第三篇	1835（天保6）刊	紙／木版、着色（一部）	恵俊彦コレクション	○	○
44	月岡芳年	『絵本西遊全伝』口絵より 無底洞姪女	1883（明治16）刊	紙／木版、多色摺	恵俊彦コレクション	○	
45	月岡芳年	『絵本西遊全伝』口絵より 九靈元聖、辟寒大王、辟暑大王、辟塵大王	1883（明治16）刊	紙／木版、多色摺	恵俊彦コレクション	○	
46	月岡芳年	『月百姿』より 玉兔 孫悟空	1889 （明治22）	紙／木版、多色摺	恵俊彦コレクション		○

47	秋山知徳	甲斐之国山梨岡神社龕神像	1854 (嘉永7)	紙/墨画	橋本倫氏蔵	○	○
48		『山海経』	江戸時代 (17世紀)	紙/木版	山寺芭蕉記念館	○	○
49	服部中庸	白澤図	江戸時代	紙/墨画	相原コレクション	○	
50		二面白澤図	江戸時代 (18世紀)	紙/着色	橋本倫氏蔵		○
51		緑袖窟	後漢	陶	浦上満氏蔵	○	○
52	狩野派	呂洞賓図	江戸時代 (17世紀)	紙/墨画	足利市立美術館	○	○
西洋の神話/伝説/文学							
53	アルブレヒト・デューラー	『小受難伝』より 原罪	1509-11	紙/木版	北海道立近代美術館	○	○
54	アルブレヒト・デューラー	『小受難伝』より 楽園追放	1509-11	紙/木版	北海道立近代美術館	○	○
55	ジョン・マーティン	エヴァを誘惑するサタン (ミルトン『失楽園』より)	1824-26	紙/メゾチント、エッチング、ドライポイント	町田市立国際版画美術館		○
56	ジョン・マーティン	禁断の果実をすすめるエヴァ (ミルトン『失楽園』より)	1824-26	紙/メゾチント、エッチング	町田市立国際版画美術館	○	
57	ギュスターヴ・ドレ	悪魔は次第に去っていき、高くそびえる杉や松、棕櫚の木立の下を横切っていった (ミルトン『失楽園』より)	1866	紙/メゾチント	町田市立国際版画美術館		○
60	ギュスターヴ・ドレ	彼らは自然とあふれる涙を拭きさった (ミルトン『失楽園』より)	1866	紙/メゾチント	町田市立国際版画美術館	○	
61	カイ・ニールセン	ヘンゼルとグレーテル (『雪の花 グリム童話集』より)	1924 (1929刊)	紙/オフセット印刷、木口木版多色摺	明治学院大学図書館 絵本とメルヘン・コレクション	○	○
62	ギュスターヴ・ドレ	赤ずきんちゃん (『ペローの昔話集』より)	1864刊	紙/木口木版	明治学院大学図書館 絵本とメルヘン・コレクション	○	
63	ギュスターヴ・ドレ	眠れる森の美女 (『ペローの昔話集』より)	1864刊	紙/木口木版	明治学院大学図書館 絵本とメルヘン・コレクション		○
64	ウォルター・クレイン	ラプンツェル (『グリム童話』より)	1882刊	紙/木口木版	明治学院大学図書館 絵本とメルヘン・コレクション	○	○
65	バッチョ・バルディーニ	地獄 (アントニオ・ベッティーニ『神の聖なる山』より)	1477刊	紙/エングレーヴィング	町田市立国際版画美術館	○	
66		『羊飼いの暦』より 地獄	16世紀初頭	紙/木版	町田市立国際版画美術館		○
67		冥界の入り口をなす顎をおとずれるアイネイアス (ヴェルギリウス『アエネーイス』より)	1502刊	紙/木版	足利市立美術館	○	○
68	エドモン・デュラック	人魚姫 (『雪の女王ほか アンデルセン童話集』より)	1911刊	紙/オフセット印刷、木口木版多色摺	明治学院大学図書館 絵本とメルヘン・コレクション	○	○
博物誌/書誌							
69	ジョン・グールド	『アジア鳥類図譜』	1849-83刊	紙/リトグラフ、手彩色	武蔵野美術大学美術館・図書館	○	○
71		『エジプト誌』博物篇より 鳥	1809-28刊	紙/エッチング、手彩色	町田市立国際版画美術館	○	
72	坂本浩然	本草写生図	1833 (天保4)	絹/着色	西尾市岩瀬文庫	○	○
73	ルイ=クロード=デ・ソール=ド=フレシネ	『ウラニー号およびフィジエンヌ号世界周航記録:動物図譜編』	1824刊	紙/銅版、手彩色	武蔵野美術大学美術館・図書館	○	○
76	栗本丹洲	魚貝譜	江戸時代後期	紙/着色、粘葉装	西尾市岩瀬文庫	○	○
参16	疋田豊治	ヒトデ類① [忍路産海膽類及海星類]	不明	(*ガラス乾板)	北海道大学総合博物館 [写真提供:北海道大学総合博物館]	○	○
参17	疋田豊治	トビエイ [鶯エイ (ハノエイ) 忍路産]	不明	(*ガラス乾板)	北海道大学総合博物館 [写真提供:北海道大学総合博物館]	○	○
77	高木春山	『本草図説』巻之百九十四より 冬虫夏草	江戸時代後期	紙/着色、綴葉装	西尾市岩瀬文庫	○	○
78	エリック・デマジエール	『バベルの図書館』より バベルの塔、または図書館入り口 (No. 3)	1998	紙/エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館		○
81	エリック・デマジエール	『バベルの図書館』より 半円形の大階段室 (No. 8)	1998	紙/エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館	○	
参18	レオ・レオーニ	平行植物 (メダタシ)	1973	(*キャンバス/油彩)	個人蔵	○	○
82	高木春山	『本草図説』補遺巻之八より 四方谷五口魚	江戸時代後期	紙/着色、綴葉装	西尾市岩瀬文庫	○	○
アート							
参19	サルバドール・ダリ	茹でた隠元豆のある柔らかい構造 (内乱の予感)	1936	(*キャンバス/油彩)	フィラデルフィア美術館	○	○

83	サルバドール・ダリ	『シュルレアリスムの思い出』より シュルレアリスム的な時間の眼	1971	紙/銅版、リトグラフ	北海道立近代美術館	○	○
84	フランシスコ・デ・ゴヤ	『ロス・カプリチオス』より すてきな先生	1799	紙/エッチング、アクアチント、 バーニッシャー、ドライポイント	姫路市立美術館	○	
85	フランシスコ・デ・ゴヤ	『ロス・カプリチオス』より 夜が明けたら立ち去ろう	1799	紙/エッチング、アクアチント、 バーニッシャー、ドライポイント	姫路市立美術館		○
86	フランシスコ・デ・ゴヤ	『妄』より 無秩序の妄	1864	紙/エッチング、アクアチント、 ドライポイント	姫路市立美術館	○	
87	フランシスコ・デ・ゴヤ	『妄』より 飛び方	1864	紙/エッチング、アクアチント、 ドライポイント	姫路市立美術館		○
参20	ルネ・マグリット	ピレネーの城	1959	(*キャンバス/油彩)	イスラエル美術館	○	○
88	ルネ・マグリット	『マグリットの落とし子たち』より 魅せられた領域：大鳥は宝石島の鳥である…	1968刊	紙/リトグラフ	北海道立近代美術館	○	○
参21	フランシスコ・デ・ゴヤ	我が子を食らうサトゥルヌス	1819-1823	(*油彩、壁画)	ブラド美術館	○	○
参22	フランシスコ・デ・ゴヤ	鯛の埋葬	1812-1819	(*油彩、パネル画)	王立サン・フェルナンド 美術アカデミー	○	○
89	ヒエロニムス・ボス (ピーテル・ファン・デル・ヘイデン刻)	五旬節の火曜日、焼き菓子を作っているオランダの台所	1567刊	紙/エングレーヴィング	町田市立国際版画美術館	○	
参24	ヒエロニムス・ボス	快樂の園〔部分〕	1510-15頃	(*油彩、パネル画)	ブラド美術館	○	○
91	ポール・デルヴォー	海は近い	1965	布/油彩	姫路市立美術館	○	○
92	ポール・デルヴォー	庭	1971	紙/リトグラフ	姫路市立美術館		○
93	ポール・デルヴォー	パイオリーヴ	1972	紙/リトグラフ	姫路市立美術館	○	
94	フリードリヒ・シュレーダー=ゾンネン シュターン	神秘的な鯨	1954	紙/鉛筆	足利市立美術館 (浅川コレクション)	○	
95	フリードリヒ・シュレーダー=ゾンネン シュターン	おんどりのいる形而上学	1962	紙/水溶性色鉛筆	足利市立美術館 (浅川コレクション)		○
96	毛綱毅曠	記憶の都市	不明	紙/ロットリング、炭、チョーク	毛綱毅曠建築事務所(多摩美術大学 美術館受託)	○	○
諸星絵画作品							
97	諸星大二郎	私の故郷	1982	紙/水彩	諸星大二郎氏蔵	○	
98	諸星大二郎	遊星ハグルマ装置	2011	紙/アクリル	諸星大二郎氏蔵		○
99	諸星大二郎	少年とベット	2018	紙/アクリル	諸星大二郎氏蔵	○	
100	諸星大二郎	海往くものたち	2019	紙/水彩	諸星大二郎氏蔵		○

6 藤沢市所蔵 招き猫亭コレクション 猫まみれ展 MAX

Cats in Art from the Maneki-Neko-tei Collection

会 期：令和3年2月27日（土）～4月4日（日）
会 場：北海道立近代美術館 展示室B
主 催：テレビ北海道、北海道立近代美術館、北海道新聞社
特別協力：藤沢市
後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

猫と美術を愛するコレクター・招き猫亭のコレクションから、猫をモチーフとした絵画や彫刻、版画、ポスターなど150点余りを紹介。内容は、江戸時代の浮世絵師・歌川国芳から、19世紀末パリの画家・スランタン、日本近代絵画史に名を残す竹久夢二、レオナルド・フジタ（藤田嗣治）、横尾忠則、藪内佐斗司ら現代作家まで、幅広い分野におよんだ。道内では平成27（2015）年～平成30年にかけて、釧路、帯広、旭川、函館で開催されてきたが、今回は新たにコレクションに加わった作品も含め、かつてない規模の猫まみれ展となり、音声ガイド、ホテルとのコラボランチなど、関連企画にも力を入れた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、当館初の日時指定券を導入したが、会期中で三密回避が可能な状況となったため、土日のみ日時指定券に変更した。



- 展示構成
 - ・ねこがすき
 - ・まもりねこ
 - ・ねこ OR (または) ひと / ひと AND (そして) ...
 - ・ねこづくし、ねこまみれ
 - ・赤い首輪
 - ・背中美猫
 - ・ねことねずみ
 - ・ねこのけはい
 - ・にやにやにゃんとクイズ
 - ・色紙猫
- 広報印刷物
 - ポスター：B2 判縦
 - チラシ：A4 判縦
 - 観覧券：160×70 mm
 - 出品目録：297×630 mm 三つ折り
 - デザイン：佐藤守功（出品目録を除く）
 - 印刷：アイワード

●作品輸送・展示
ヤマト運輸株式会社

●会場設営
株式会社アークスタジオ

●関連事業等

[講座]

演 題：学芸員・見どころ解説
日 時：2月27日（土）、3月31日（水） 各日15時～16時
会 場：当館講堂
講 師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）、湯浅知里（テレビ北海道アナウンサー／3月31日のみ）
聴講者数：72名、48名、計120名

[音声ガイド]

解説執筆：齊藤千鶴子
ナレーション：湯浅知里

[親子で作ろう「ネコバッグ」制作体験]

日 時：3月20日（土・祝）、21日（日） 各日13時～、15時～
会 場：当館造形室

[猫まみれ集会所！あなたの飼い猫の写真を大募集(参加型展示)]

日 時：会期中
会 場：本展入口掲示板
展 示 数：222点以上

[特設ライブラリー]

令和2年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業 深める・楽しむ～猫まみれ展 MAX 北海道立図書館の蔵書から

会 期：会期中
会 場：本展出口特設コーナー
主 催：北海道立図書館、北海道立近代美術館
内 容：北海道立図書館蔵書から猫に関する図書・雑誌等32冊を展示、閲覧利用

[猫まみれ展 MAX コラボレーションランチ]

日 時：2月17日（水）～3月31日（水）
場 所：センチュリーロイヤルホテル スカイレスト
ラン ロンド
主 催：センチュリーロイヤルホテル

特別協力：北海道立近代美術館、テレビ北海道
内 容：キャットと驚く！猫まみれランチ

[猫まみれ展 MAXコラボレーションケーキ]

日 時：2月17日（水）～3月5日（金）（予約期
間）／3月12日（金）～3月14日（日）（引き渡し期間）

場 所：センチュリーロイヤルホテル スカイレスト
ラン ロンド

主 催：センチュリーロイヤルホテル

特別協力：北海道立近代美術館、テレビ北海道

内 容：猫まみれの春

●主な掲載、放送等

[新聞]

北海道新聞

（さっぽろ10区）「時代を超える猫の世界」 2月16日
（日）朝刊

「表情さまざま猫愛らしく」 3月3日（火）朝刊

「犬派も楽しめた猫まみれ展」読者投稿 3月17日（火）

[雑誌]

0. tone 1月号

オントナ 3月25日（木）

[放送、配信]

テレビ北海道

「スイッチン！」 2月27日（土）

NHK

「ほっとニュース北海道」 3月24日（水）

[Web サイト]

ART Agenda、美術手帖、Walkerplus、イープラン、札幌経
済新聞、Cat-Press

薩州市所蔵
招き猫享コレクション

猫まみれ展

Cats in Art from
the Maneki-Neko-Tei
Collection

MAX

猫まみれMAX展

2021年2月27(土)―4月4日(日)

北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

作品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	材質、技法
1	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	猫と少女	1898年	紙、リトグラフ
2	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	冬―クッションの上の猫	1919年	紙、リトグラフ
3	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	夏―一手すりの上の猫	1919年	紙、リトグラフ
4	レオノール・フィニ	飛ぶ魔女	制作年不詳	紙、エッチング
5	ルイ・イカール	スイート・ミステリー	1935年	紙、エッチング
6	オーブリー・ピアズリー	黒猫	1894年頃	紙、ラインブロック
7	レオナルド・フジタ	猫を抱く少女	1950年	紙、水彩
8	高橋弘明	ジャパニーズ・ボブテイル	1924年	紙、木版
9	新田[源弘印]	猫図[新田猫]	江戸後期	紙、木版
10	作者不詳	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡
11	歌川国貞(三代豊国)	しやうたく 一步線香即席噺	1818-42年頃	大判錦絵
12	三代歌川豊国	模擬六佳撰 文屋康秀	1847-52年頃	大判錦絵
13	三代歌川豊国	愛妾胡蝶	1853年	大判三枚続の一枚
14	三代歌川豊国	五十三次の内 京	1854年	大判錦絵
15	三代歌川豊国	五十三次の内 岡部丸子の間 宇津谷猫石	1854年	大判錦絵
16	歌川豊清	今やう美人娘あはせ	1812年頃	大判錦絵
17	歌川国芳	見立東海道五拾三次 岡部 猫石の由来	1847年	大判錦絵
18	歌川国芳	日本駄右エ門 猫之古事	1847年頃	大判錦絵
19	歌川国芳	流行猫の戯 おしゆん傳兵衛 身の臭姪色時	1847年	大判錦絵
20	歌川国芳	流行猫の戯 かがみやな 草履恥の段	1847年	大判錦絵
21	歌川国芳	流行猫の戯 梅が枝無間の真似	1847年	大判錦絵
22	歌川国芳	流行猫の戯 袂糞氣罵責段	1847年	大判錦絵
23	歌川国芳	流行猫の戯 道行 猫柳姪月影	1847年	大判錦絵
24	歌川国芳	山海めでたいづえ はやくきめたい	1852年	大判錦絵
25	歌川国芳	艶姿十六女仙 蝦蟇	1847-52年頃	大判錦絵
26	歌川国芳	浮世四十八癖 はなしをききたがるくせ	1847-52年頃	大判錦絵
27	歌川国芳	艶姿十六女仙 豊干禪師	1847-52年頃	大判錦絵
28	歌川国芳	山海愛度圖會 えりをぬきたい	1852年	大判錦絵
29	歌川国芳	役者寄取鼻屑びるき	1830-43年頃	大判錦絵
30	歌川国芳	役者寄取鼻屑びるき	1830-43年頃	大判錦絵
31	歌川国芳	流行達都繪希代稀物	1852年頃	大判錦絵
32	(伝)歌川国芳	猫の百面相	1840年代	大判錦絵
33	歌川広重	浄るり町繁花の図	1852年	大判錦絵
34	歌川広重	戯画	制作年不詳	錦絵
35	歌川広重	名所江戸百景 浅草田圃西の町詣	1857年	大判錦絵
36	件亭/伊万里	伊万里国芳猫文様豆皿	1947-52年頃	陶器
37	歌川芳藤	猫の善悪	明治初期	大判錦絵
38	歌川国梅	新ばん猫世帯ままこしらへ	1877年	大判錦絵
39	作者不詳	両めんによつくし	1909年	大判錦絵
40	永島春暁	猫の温泉あそび	明治初期	大判錦絵
41	作者不詳	新板ねこの弥次きた	明治初期	大判錦絵
42	作者不詳	新版猫と鼠の戯	明治初期	大判錦絵
43	歌川小芳盛	高運不運兔の盛衰	1873年	大判錦絵
44	歌川(落合)芳幾	与はなさけ浮名の横ぐし	1860年	大判錦絵
45	歌川(落合)芳幾	手習鑑虎小家の段	1860年	大判錦絵
46	歌川(落合)芳幾	東京日々新聞 八百五十六号	1874年頃	大判錦絵
47	豊原国周	錦織 武蔵の別品	1883年頃	大判錦絵
48	豊原国周	東都三十六景之内 山下御門 古猫の怪 坂東彦三郎	1864年	大判錦絵

No.	作家名	作品名	制作年	材質、技法
49	大蘇(月岡)芳年	古今比賣鑑 薄雲	明治初期	大判錦絵
50	歌川国利	しんばんねこ尽	明治初期	大判錦絵
51	歌川国利	流行温泉の圖	明治初期	大判錦絵
52	四代歌川国政	新板賊ねずみ	1882年	大判錦絵
53	作者不詳(豊原国周か)	羽子板絵	制作年不詳	大判錦絵
54	水野年方	三十六佳撰 湯あがり 寛政の婦人	1894年	大判錦絵
55	小林清親	清親法夢痴 東京深川洲崎	1881年	大判錦絵
56	小林清親	猫と提灯	1877年	間倍判錦絵
57	小川芋銭	寒巖三公	明治期	紙本墨画淡彩
58	川合玉堂	猫児	1913年	紙本墨画淡彩
59	藤島武二	猫	制作年不詳	紙、水彩
60	石川寅治	黒い猫	1934年	紙、木版
61	浅井忠	猫の草紙	1896年(明治29年)	装幀画
62	竹久夢二	猫[豆本]	1966年	紙、木版
63	竹久夢二	黒猫を抱く女[やなぎ屋版]	1920年	紙、木版
64	岸田劉生	或る人々[装幀木版画集より]	1920年	紙、木版
65	岸田劉生	猫と梅図[装幀木版画集より]	1920年	紙、木版
66	小糸源太郎	猫	制作年不詳	紙、水彩
67	中川一政	日日間(花に猫)	1931年	紙本墨画
68	大村廣陽	猫と黄蝶	1960年	紙、木版
69	木内克	猫	1960年	テラコッタ
70	木村莊八	猫の銭湯	1953年	紙、木版
71	椿貞雄	たま座る図	1931年	紙、墨画淡彩
72	椿貞雄	ころ座る図	1940年	紙、木版
73	椿貞雄	とら寝る図	1936年	紙、墨画着色
74	椿貞雄	たま寝る図	1930年頃	紙、水彩、鉛筆、パステル
75	猪熊弦一郎	二人の女	1986年	紙、ペン
76	猪熊弦一郎	少年と猫	1950年頃	紙、グアッシュ
77	村井正誠	猫[絵馬]	1958年	木、グアッシュ
78	村井正誠	猫	1980年	紙、リトグラフ
79	山口華楊	華と猫	1983年	紙、リトグラフ
80	稲垣知雄	猫の肖像	制作年不詳	キャンバス、油彩
81	中村直人	猫	1975年頃	紙、リトグラフ
82	中村直人	猫	制作年不詳	紙、リトグラフ
83	福沢健一	猫	制作年不詳	色紙、漆絵
84	斎藤清	競艶	1973年	紙、木版
85	斎藤清	黒猫 II	1955年頃	紙、木版
86	斎藤清	黒猫 I	1955年頃	紙、木版
87	斎藤清	凝視	1952年	紙、木版
88	斎藤清	猫	制作年不詳	紙、木版
89	植草甚一	猫男	1961年	紙、油彩
90	杉山寧	ローマの猫	1963年	布、板裏打ち、着色 (キャンバスにアクリルか?)
91	杉山寧	猫	1950年	紙、鉛筆、水彩
92	織田廣喜	親子猫	2006年	キャンバス、油彩
93	織田廣喜	ねこ	2006年	キャンバス、油彩
94	関野準一郎	ヘルシャ猫	1960年	紙、木版
95	関野準一郎	シャム猫	1960年	紙、木版
96	関野準一郎	親子猫	1960年	紙、木版
97	四代長谷川貞信	猫	1955年	布、着色
98	四代長谷川貞信	猫	1955年	布、着色
99	四代長谷川貞信	猫	1955年	布、着色
100	四代長谷川貞信	猫	制作年不詳	紙、木版
101	四代長谷川貞信	猫	制作年不詳	布、着色
102	浜田知明	蒸し暑い夜	1985年	紙、エッチング
103	浜田知明	夜	1988年	紙、エッチング
104	清宮質文	夕日と猫 II	1979年	紙、木版
105	清宮質文	夢の中へ	1983年	紙、木版
106	駒井哲郎	人のような猫	1961年	紙、エッチング
107	山城隆一	ネ・コラージュより	1972年	紙、コラージュ
108	朝倉撰	スベードの女王	2009年	キャンヴァス、ミクストメディア

No.	作家名	作品名	制作年	材質、技法
109	斎藤真一	軽便鉄道	1988-89年	紙、エッチング 多色刷り
110	斎藤真一	化粧	1962年	キャンヴァス、油彩
111	小泉淳作	猫	2007年	紙本着色
112	小泉淳作	猫	1990年	紙、リトグラフ
113	下村良之介	陶虎	1986年	陶器
114	小林ドンゲ	猫を抱く婦人	制作年不詳	紙、エッチング
115	岩織治	たそがれて	1970年頃	キャンヴァス、油彩
116	岩織治	猫と女	1970年頃	キャンヴァス、油彩
117	靉嘔	Don't look back	2001年	紙、シルクスクリーン
118	靉嘔	ルソーのピエール・ロティ氏の猫	1999年	紙、シルクスクリーン
119	靉嘔	怒	2001年	紙、シルクスクリーン
120	フジコ・ヘミング	猫十態(ソニア)	2005年	紙、木版
121	秀島由己男	美しき野生(片耳リリー)	1987年	紙、エッチング、アクアチント
122	秀島由己男	月夜	1981年	紙、メゾチント
123	秀島由己男	猫のポートレート	1982年	紙、メゾチント
124	秀島由己男	ホオズキの中の猫	2010年	紙、メゾチント、手彩色
125	秀島由己男	春の城-6[連載小説『春の城』挿絵]	1997年	紙、フォトグラビュール、エッチングなど
126	秀島由己男	春の城-143[連載小説『春の城』挿絵]		紙、フォトグラビュール、エッチングなど
127	秀島由己男	春の城-261[連載小説『春の城』挿絵]	1998年	紙、フォトグラビュール、エッチングなど
128	秀島由己男	猫(キングのキャット)A	1998年	紙、フォトグラビュール、エッチング
129	秀島由己男	猫(ドレスのキャット)A	1998年	紙、フォトグラビュール、エッチング
130	秀島由己男	猫(ドレスのキャット)B	1998年	紙、フォトグラビュール、エッチング
131	秀島由己男	花魁(猫)	2004年	紙、ミクストメディア
132	秀島由己男	猫のたんぼぼ	2005年	紙、ミクストメディア
133	秀島由己男	鎧のリリー	2004年	紙、ミクストメディア
134	秀島由己男	猫とホオズキ	2005年	紙、ミクストメディア
135	秀島由己男	猫の鎧武者	2006年	紙、ミクストメディア
136	秀島由己男	猫の季節	2005年	紙、ミクストメディア
137	秀島由己男	七色の妖光	2006年	紙、キャンヴァス裏打ち、ミクストメディア
138	秀島由己男	玉子と二匹の猫	2009年	キャンバス、ミクストメディア
139	秀島由己男	ピエロと猫	2008年	板、ミクストメディア
140	秀島由己男	海を渡る裸婦	2007年	紙、キャンヴァス裏打ち、ミクストメディア
141	秀島由己男	ピアズリーの中の秀島	2007年	紙、ラインブロック、インク
142	秀島由己男	夜の根子岳(猫岳)	2009年	紙、キャンヴァス裏打ち、ミクストメディア
143	秀島由己男	夜の根子岳(2匹の猫)	2011年	紙、ミクストメディア
144	秀島由己男	月夜の猫	不詳(額裏にシール [04.1.19])	紙、ミクストメディア
145	池田満寿夫	女友達 習作[えりまき]	1964年	紙、エッチング
146	池田満寿夫	女友達 習作[おしり]	1964年	紙、エッチング
147	池田満寿夫	私の詩人・私の猫	1965年	紙、ドライポイント、ルーレット
148	池田満寿夫	遙かなる女	1966年	紙、リトグラフ
149	横尾忠則	日の本の猫	1997年	紙、シルクスクリーン
150	金子國義	Micky & Lily	2002年	キャンヴァス、油彩
151	合田佐和子	キャッピーちゃん	1995年	キャンヴァス、油彩
152	合田佐和子	White Heart	2008年	キャンバス、油彩
153	山下清澄	夜訪れる者たち	1971年	紙、エッチング
154	山下清澄	私窩子	1973年	紙、エッチング
155	福島武山	香炉	2002年	磁器
156	秋山祐徳太子	猫男	2007年	ブリキ
157	奥谷博	招き猫	1994年	ヴェネツィアングラス
158	竹内浩一	香	1999年	紙本着色
159	多賀新	猫	1977年	紙、エッチング
160	多賀新	夢みる猫Ⅱ	2009年	紙、鉛筆、色鉛筆、蛍光ペン
161	多賀新	バンサー	1982年	紙、エッチング
162	多賀新	Fish and Cat	1986年	紙、エッチング
163	多賀新	ネコとポーズ	1998年	紙、エッチング
164	多賀新	如意輪(猫)観音	2011年	紙、鉛筆、蛍光ペン
165	松井ヨシアキ	猫とコンサートⅡ	2005年	キャンバス、油彩
166	中佐藤滋	トラになる猫	2007年	鉄
167	中佐藤滋	男と猫	2002年	紙、鉛筆
168	中佐藤滋	猫I	2002年	キャンヴァス、アクリル
169	中佐藤滋	見失う前に彷徨ってしまう 繫いで言葉じゃなくて	2005年	キャンヴァス、アクリル

No.	作家名	作品名	制作年	材質、技法
170	木下晋	甘え	2007年	紙、鉛筆
171	木下晋	トラの願望 II	2010年	紙、鉛筆
172	門坂流	黒猫[ミュウ]	2005年	紙、ペン、水彩
173	門坂流	猫	2007年	紙、鉛筆、水彩
174	門坂流	カール	2007年	紙、鉛筆
175	門坂流	夜の猫	2007年	木
176	落田洋子	お気に入りの追加	2009年	キャンヴァス、油彩
177	落田洋子	セロトニンが足りない	2009年	キャンヴァス、油彩
178	古田恵美子	ふとおもうネコ	2009年	板、キャンヴァス、油彩、クレパス
179	古田恵美子	夜の散歩ネコ	2009年	板、キャンヴァス、油彩、木炭
180	八木原由美	Friends	2008年	紙、リトグラフ
181	算本生	猫とギャルソン	2010年	キャンヴァス、油彩
182	山本容子	Cheshire-Chonta	1994年	紙、エッチング、手彩色
183	横山貞二	猫と在る	2009年	紙、木版、油彩
184	横山貞二	たまの外出	1998年	紙、木版、油彩
185	生田宏司	芽ばえ IV・猫	1998年	紙、メゾチント、手彩色
186	生田宏司	子猫と子臍	1998年	紙、メゾチント
187	生田宏司	やすらぎの時	1998年	紙、メゾチント
188	生田宏司	子猫と子臍 II	1998年	紙、メゾチント
189	生田宏司	猫と夜猫子	1988年	紙、メゾチント
190	生田宏司	猫と猫頭鷹 V	2002年	紙、メゾチント
191	生田宏司	猫と猫頭鷹	1999年	紙、メゾチント
192	生田宏司	猫と猫頭鷹 II	2000年	紙、メゾチント
193	生田宏司	猫と猫頭鷹	2001年	紙、メゾチント
194	生田宏司	猫と夜猫子 III	2002年	紙、メゾチント
195	生田宏司	三猫図	2010年	紙、メゾチント
196	生田宏司	月夜の集い	2000年	紙、メゾチント
197	生田宏司	猫と猫頭鷹	2000年	紙、メゾチント
198	生田宏司	夢	1999年	紙、メゾチント
199	生田宏司	愛	2007年	紙、メゾチント
200	生田宏司	猫と招き猫と…	2000年	紙、メゾチント
201	生田宏司	マリオネットのある部屋	1999年	紙、メゾチント
202	生田宏司	微風の香り	2002年	紙、カラーメゾチント
203	生田宏司	キャットテール	2005年	紙、カラーメゾチント
204	生田宏司	《猫》紙、岩絵の具	2002年	紙、岩絵の具
205	生田宏司	《芽ばえIV》メゾチント	2000年	紙、メゾチント
206	藪内佐斗司	寧子	1989年	木、漆
207	藪内佐斗司	尻上がり寧子	1993年	ブロンズ
208	藪内佐斗司	猫も歩けば	1998年	ブロンズ
209	藪内佐斗司	福招き猫	2000年	ブロンズ
210	藪内佐斗司	美鈴	2003年	ブロンズ
211	藪内佐斗司	尻上がり猫	1999年	ブロンズ
212	安元亮祐	月を呼ぶ猫	2002年	板、木、アクリル、ミクストメディア
213	安元亮祐	沙漠の秘宝	2003年	紙、布、アクリル、ミクストメディア
214	安元亮祐	アフリカの風ーおすまし猫	2005年	木、アクリル、ミクストメディア
215	安元亮祐	七月の猫 I	2006年	木、アクリル、ミクストメディア
216	安元亮祐	雨を呼ぶ猫	2002年	キャンヴァス、アクリル
217	安元亮祐	蒼い猫	2000年	板、木、アクリル、ミクストメディア
218	安元亮祐	蒼い月の匂い	2001年	キャンバス、アクリル、コラージュ
219	安元亮祐	猫が蒼い時	2003年	キャンバス、アクリル、コラージュ
220	安元亮祐	平和への祈り	2003年	キャンバス、アクリル、コラージュ
221	安元亮祐	きいろいねこ	2004年	キャンヴァス、アクリル、コラージュ
222	安元亮祐	凜一II	2007年	布、板裏打ち、アクリル、コラージュ
223	安元亮祐	傷だらけの天使	2004年	板、アクリル、コラージュ(麻布・麻紐・紙)
224	安元亮祐	みけねこ	2009年	板、アクリル、コラージュ
225	安元亮祐	道化少年	2010年	板、アクリル、コラージュ
226	安元亮祐	蒼い追想	2007年	板、アクリル、インク、コラージュ
227	安元亮祐	あさがえり	2008年	板、アクリル、コラージュ
228	安元亮祐	幻の猫	2005年	キャンヴァス、アクリル、コラージュ(布、糸)
229	山中現	窓辺	2003年	紙、木版
230	西誠人	伸太郎	2002年	木

No.	作家名	作品名	制作年	材質、技法
231	西誠人	燐太郎	2005年	木
232	西誠人	出逢い	2002年	紙、リトグラフ
233	大塚茂吉	猫	2009年	テラコッタ
234	三沢厚彦	Head "猫"	2000年	木(桂)、アクリル、油彩
235	三沢厚彦	cat	2002年	紙、ペン、色鉛筆
236	蔡國華	ある日一心地良い	2010年	紙、木炭、コンテ、水彩、パステルなど
237	蔡國華	孤高	2009年	紙、コンテ
238	與倉豪	テリトリー	2007年	紙、ペン
239	細迫諭	スケッチ―黒猫T	制作年不詳	紙、油彩、アクリル、鉛筆
240	成田朱希	Labyrinth I	2002年	紙、インク、鉛筆
241	成田朱希	Labyrinth II	2002年	紙、インク、鉛筆
242	成田朱希	Labyrinth III	2002年	紙、インク、鉛筆
243	成田朱希	Labyrinth IV	2002年	紙、インク、鉛筆
244	成田朱希	Labyrinth V	2002年	紙、インク、鉛筆
245	成田朱希	猫舌三昧	2002年	紙、鉛筆
246	辻村和美	障子	2006年	紙本着色
247	浮田麻木	困ったニャー	2007年	鉄
248	鈴木敦子	花の便り	2005年	紙、木版
249	鈴木敦子	ついてくる	2007年	紙、木版
250	鈴木敦子	あっちこっち	2009年	紙、木版
251	鈴木敦子	光る	2007年	紙、木版
252	鈴木敦子	一緒に行こう	2009年	紙、木版
253	田嶋健	ねこお	2007年	紙、木版
254	大森暁生	黒猫の勲章	2006年	木、漆
255	大森暁生	ぬけない棘の山猫	1999年	ブロンズ、大理石(台座)
256	柏本龍太	休日	制作年不詳	キャンヴァス、油彩
257	山田純嗣	(10-3) TURN AROUND	2010年	ポリコートパネルに印画紙、樹脂、パール粉、インタイオ・オン・フォト
258	呉亜沙	Flying Cat	2003年	キャンバス、油彩
259	呉亜沙	in the bottle -rainbow-	2006年	紙、ドライポイントなど
260	呉亜沙	考	2003年	紙、鉛筆、クレヨン、アクリル
261	呉亜沙	行き先	2003年	キャンヴァス、油彩
262	呉亜沙	Passer	2004年	キャンヴァス、油彩
263	呉亜沙	団	2003年	紙、アクリル
264	伊藤亜矢美	たぬさんネコ 2	2003年	紙、モノタイプ
265	松田剣	猫面	2011年	テラコッタ
266	レオナルド・フジタ	尾の黒い猫[「猫十態」より]	1929年	紙、エッチング
267	レオナルド・フジタ	猫	1938年	紙、水彩
268	レオナルド・フジタ	アホリバァ[「猫二十態」より]	1930年	紙、コロタイプ
269	レオナルド・フジタ	クリソテミス[「猫二十態」より]	1930年	紙、コロタイプ
270	レオナルド・フジタ	ミラ[「猫二十態」より]	1930年	紙、コロタイプ
271	レオナルド・フジタ	ヴァンドーム広場[「魅せられし河」より]	1951年	紙、エッチング
272	レオナルド・フジタ	パレ・ロワイヤル[「魅せられし河」より]	1951年	紙、エッチング
273	三代歌川豊国	文殊猿街道下り	1851年頃	大判錦絵
274	歌川国貞(三代歌川豊国)	子宝遊「猫」	1832年頃	大判錦絵
275	歌川国芳	一心太助 松高手毬諷実録	制作年不詳	大判錦絵
276	梅素薫	東京自慢名物會 魚問屋 伊勢吉	1896年	大判錦絵
277	尾形月耕	鼠 陸州黒石常経寺の猫	1892年	大判錦絵
278	相笠昌義	猫を抱く少女	1991年	キャンヴァス、油彩
279	川上澄生	眠り猫	制作年不詳	紙、木版
280	椿貞雄	ミーコ乳含ませるの図	1930年頃	紙、ペン、ドローイング
281	小松均	猫	制作年不詳	紙、木版
282	アンディ・ウォーホル	Sam	1954年	紙、リトグラフ、手彩色
283	重岡建治	猫	2012年	楠
284	木下晋	くつろぎ	1985年	紙、鉛筆
285	金森宰司	茶々丸	制作年不詳	紙、ミクストメディア
286	アンリエット・ロナー	ベル著「アンリエット・ロナーの猫と子猫」	1894年(初版)	大判版元装丁
287	歌川豊国	七変化の内 女三宮 坂東三津五郎	江戸後期	大判錦絵
288	歌川(落合)芳幾	開化別品はうくらべ 第二号	1873年頃	大判錦絵
289	歌川国芳	猫飼好五十三疋(複製版)	制作年不詳	大判錦絵
290	三代歌川豊国	任好雪月花ノ内	1859年	大判錦絵
291	二代歌川国貞(四代豊国)	女粧三十六貴賤 東京本町花よめ縫針	明治期	大判錦絵

No.	作家名	作品名	制作年	材質、技法
292	森田拳次	錫の介と燐太郎	制作年不詳	紙、水彩
293	多賀新	猫・八	1986年	紙、エッチング
294	山本雅子	imitation	制作年不詳	キャンバス、油彩、コラージュ
295	松田剣	猫	2012年	陶
296	岩松(新田)道純	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡彩
297	蜀山人ほか(大田南畝?)	猫鼠対酌	制作年不詳	紙本彩色
298	歌川国芳	猫の妙術	1847-52年頃	大判錦絵
299	竹内栖鳳	猫乃面	1911年	絹本(団扇部分 紙)、着色
300	木村荘八	猫恋人(ねこらばさん)	制作年不詳	紙本着色
301	高橋周桑	老梅に猫図	制作年不詳	絹本着色
302	大森暁生	月夜のテーブル —Burmese—	2014年	楠、櫻、漆、彩色、ガラス
303	新田貞康	猫画譜(新田猫)	制作年不詳	紙本墨画
304	岩松(新田)道純	新田猫	1826年	絹本
305	歌川豊山	作品名不詳	制作年不詳	
306	木村荘八	われがすみか 初代竹枝せん	1957~58年	紙本墨画、淡彩
307	小林ドンゲ	女と猫シリーズより「白いレース」	1980年	紙、エッチング
308	立原位貴	猫のひな祭り	1997年	紙、錦絵
309	作者不詳	志んばんねこづくし	1908年	大判錦絵
310	歌川国利	新版ねこづくし	1889年	大判錦絵
311	作者不詳	おもちゃ絵	制作年不詳	大判錦絵
312	香蝶楼豊国→三代歌川豊国	見立三十六句撰 遠藤武者盛遠 渡辺巨	制作年不詳	大判錦絵
313	楊州周延	蚕まじない(ねずみよけの図)	制作年不詳	石版画
314	歌川房種	花盛浮世似色 稲本樓之名娼妓 當ル辻うら	制作年不詳	大判錦絵
315	月岡芳年	近世人物誌 やまと新聞附録(第壹) 天璋院殿	1886年	大判錦絵
316	柳原義達	猫	1963年頃	ブロンズ
317	吾妻兼治郎	二匹の猫	1965年	ブロンズ
318	吾妻兼治郎	猫 A	1965年	ブロンズ
319	吾妻兼治郎	猫 M	1966年	ブロンズ
320	山本容子	Cheshire-cat 94'	1994年	紙、エッチング
321	弦屋光溪	〈アルチンボルドに捧ぐ五題〉の内 猫	2013年	紙、木版
322	稲垣知雄	作品名不詳	制作年不詳	紙、木版
323	豊原国周	珍猫見立善悪競	1884年	大判錦絵
324	歌川国芳	曲亭翁精著八犬士随一 犬村大角	江戸後期	大判錦絵 大判
325	岩松(新田)徳純	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡彩
326	岩松(新田)徳純	猫図[新田猫]	江戸後期	紙、木版
327	児玉旗山	鼠もさりて 多くの金を夏にあつめよ	江戸後期	紙本淡彩
328	作者不詳	李朝民画《鶴と虎猫》	李朝末期 (幕末から明治)	紙本淡彩絹装
329	作者不詳	眠り猫2体	大正~昭和初期	丸谷焼(雄山窯)
330	會田千夏	portrait of forest e	2014年	油彩、パネル
331	岩松(新田)徳純	猫図[新田猫]	江戸期	紙本墨画淡彩
332	鈴木敦子	雨降る日	2017年	板、ミクストメディア
333	鈴木敦子	旅立ちの朝	2017年	板、ミクストメディア
334	新田徳純	新田猫	文化十三年8月	紙、墨画着彩
335	新田俊純(伝)	新田猫	不詳	紙、墨画着彩
336	歌川国芳	咲揃ふ弥生		大判錦絵
337	落合芳幾	虎の豹蚤 戯遊鈴ヶ森		大判錦絵
338	不詳	LITTLE LILY	1900年代	コロタイプ
339	暁雪	美人愛猫	不詳	紙、紙本着彩
340	東郷平八郎 賛 東郷彪 画	黒猫	不詳	紙、紙本水墨
341	ナメ川コーイチ	猫の国ったら猫だらけ	1984年	紙、インク
342	藪内佐斗司	福招き	2000年	紙、エッチング、雁皮刷り
343	佐野隆夫	10匹のネコ	不詳	紙、木版画
344	小泉淳作 他	<色紙>	2007年頃	色紙
345	浮田麻木 他	<色紙>	2007年頃	色紙
346	秀島由己男 他	<色紙>	2007年頃	色紙
347	成田朱希 他	<色紙>	2007年	色紙
348	中佐藤滋 他	<色紙>	2007年	色紙
349	細迫論 他	<色紙>	2007年	色紙
350	平澤重信 他	<色紙>	2007年	色紙
351	呉亜沙	<色紙>	2007年	色紙
352	算本生 他	<色紙>	2010年	色紙 3点マット装

3-3 展覧会③ 貸館

◆貸館一覧

当館では貸館事業として道内・外の公募団体、報道機関等に対し特別展示室及び講堂等の会場提供を行っており、公募展や全国組織による道内巡回展、また文化芸術に関わる催しに利用されている。

本年度は、展示室 B については年間開催日数 227 日間のうち 28 日間（12.3%）を、主催者の希望する開催時期にあわせて調整のうえ貸し出した。その利用状況は次のとおりとなっている。また、講堂については 5 件の催しに対し 5 日間会場を貸し出した。

展覧会名	主催者名	会期	開催日数	観覧者数	1日平均観覧者数
藤沢市所蔵 招き猫亭コレクション 猫まみれ展 MAX	テレビ北海道 北海道立近代美術館	令和3年2月27日(土) ～3月31日(水)	28	11,848	423
		合計	28	11,848	423

※展覧会会期は～4月4日(日)まで

※この展覧会は当館名義共催によって開催した

4 教育普及関係

1 移動美術館

移動美術館 2020 北海道立近代美術館・北海道立三岸好太郎美術館コレクション

北海道には現在、北海道立近代美術館・三岸好太郎美術館のある札幌をはじめとして、旭川・函館・帯広・釧路の各地に計6つの道立美術館・芸術館がある。これらの館は、それぞれが特色あるコレクションを持ち、地域に根ざしたさまざまな活動を展開している。それでもなお広域な本道における地理的条件等により、美術館来館の機会の少ない地域の人々に道立美術館の作品鑑賞の機会を提供し、美術への理解と関心を深めることを目的として、北海道内各地で移動美術館（ぐるっと美術館地域推進事業）を毎年実施している。作品展示の他、教育普及事業も行っている。

令和2年度は、予算面から1地域での開催となり、日高管内えりも町で、道立近代美術館・三岸好太郎美術館2館の所蔵作品、計39点を展示した。近代美術館からは、コレクションの柱である「エコール・ド・パリ」「ガラス工芸」「北海道の美術」を中心に、海外・日本の美術をあわせて紹介、三岸好太郎美術館からも札幌出身の画家・三岸好太郎の油彩画を紹介した。会場では展示作品に関する子ども向け（一般観覧者も利用可）のワークシートを配布し、鑑賞の一助とした。

ただし、本年は他事業と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分配慮した実施となり、会場への入場や滞留状況にも留意してもらい、関連事業等も密集や近接を避けて行った。また、例年実施している映像プログラムの上映は割愛し、美術関連図書コーナーの設置も、少部数の閲覧にとどめた。

●会場、会期、主催・後援、入場者数等

会場：えりも町福祉センター
会期：10月4日(日)～10月14日(水) 9時～19時
主催：えりも町文化協会、北海道立近代美術館、北海道立三岸好太郎美術館
共催：えりも町、えりも町教育委員会
入場者数：883名
備考：えりも町140周年・えりも町文化協会創立50周年記念事業



●関連事業

[作品解説]

各会場の初日と最終日に、展示会場内において、学芸員による作品解説を行った。

日時：10月4日(金) 開館時間中3回
10月14日(水) 開館時間中2回

聴講者数：10月4日＝20名(一般)
10月14日＝41名(一般/小学生)

解説：10月4日＝瀬戸厚志(当館学芸員)
10月14日＝地家光二(当館上席専門員)

[美術鑑賞入門講座]

開催地の学校の希望に応じ、会場施設内にて、学芸員による鑑賞入門講座を行った。

日時：10月14日(水)
聴講者数：15名(庶野小学校4～6年生)
講師：地家光二(当館上席専門員)

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	1920頃	油彩、キャンバス	73.5×93.0
2	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩、キャンバス	73.5×61.0
3	ジュル・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩、キャンバス	92.0×73.0
4	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外―二匹の白い犬	1921	油彩、紙、ボード	54.5×65.0
5	藤田嗣治	フランス娘	1945(昭和20)頃	木版、紙	39.2×26.0
6	ペール・クローグ	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩、キャンバス	92.0×60.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
7	ジョルジュ・ルオー	『ミセレーレ』 自分の顔をつくらぬ者があろうか?	1923 刊行：1948	銅版 (エリオグラヴェール、シュガー、アクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、バーニッシャー)、紙	42.5×62.9
8	パブロ・ピカソ	夜、少女に導かれる盲目のミノタロウス	1934	銅版 (アクアチント、スクレーパー、ドライポイント、エングレーヴィング)、紙	24.7×34.7
9	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 クロエの誘拐	1957-60 刊行：1961	リトグラフ、紙	42.5×64.3
10	ジョアン・ミロ	『デリエール、ミロワール nos. 125-126』 より	刊行：1961	リトグラフ、紙	38.0×114.0
11	ルネ・マグリット	『マグリットの落とし子たち』 自由を奪われた美女	刊行：1968	リトグラフ、紙	30.3×45.6
12	サルヴァドール・ダリ	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム的な王様	1971	銅版、リトグラフ、紙	50.5×40.0
13	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリー東京	1980	シルクスクリーン、紙	52.0×51.8
14	ヤーコブ・アガム	ギャラクシー・フェスティバル	1980	リトグラフ、紙、アクリル	35.5×35.5
15	山内弥一郎	戸山ヶ原風景	1920 (大正 9) 頃	絹本彩色／額	49.0×70.0
16	平沼深雪	午睡	1930 (昭和 5) 頃	絹本彩色／額	97.0×97.5
17	岩橋英遠	都無ぢ	1940 (昭和 15) 頃	紙本彩色／額	88.7×88.5
18	片岡球子	雅楽・胡飲酒	1972 (昭和 47)	紙本彩色／額	80.3×116.7
19	菊川多賀	回想賦 (大正五年頃)	1984 (昭和 59)	紙本彩色／額	63.5×48.6
20	林竹治郎	母と娘	1921 (大正 10) 頃	油彩、キャンバス	60.9×91.0
21	木田金次郎	青い太陽	1955 (昭和 30) 頃	油彩、キャンバス	60.6×72.8
22	小川マリ	梨と小枝	1951 (昭和 26)	油彩、キャンバス	51.5×63.6
23	俣野第四郎	良子之像	1923 (大正 12)	油彩、キャンバス	45.5×33.0
24	本間紹夫	室内	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	90.5×72.4
25	難波田龍起	軌跡	1956 (昭和 31)	油彩、キャンバス	130.8×97.0
26	国松登	海の月	1954 (昭和 29)	油彩、キャンバス	90.9×60.6
27	小山昇	魯龕師座像	1937 (昭和 12) 頃	油彩、キャンバス	72.7×90.9
28	八木伸子	あつまる	1958 (昭和 33) 頃	油彩、板	59.3×29.0
29	渡会純价	La Vie en Rose	2005 (平成 17)	ミクストメディア	70.5×87.0
30	一原有徳	具	1958-59 (昭和 33-34)	石版モノタイプ、紙	59.6×40.5
31	渡辺伊八郎	半円	1994 (平成 6)	木版、紙	84.8×53.4
32	北岡文雄	摩周湖	1967 (昭和 42)	木版、紙	47.8×63.6
33	矢柳剛	地球…そして今は	1974-75 (昭和 49-50)	シルクスクリーン、紙	69.0×47.1
34	中原悌二郎	若きカフカス人	1919 (大正 9)	ブロンズ	18.0×19.5×41.5
35	折原久左エ門	結の空間	1972 (昭和 47)	黄銅、ステンレス	26.0×78.0×26.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
36	ガレ工房	木の実文花器	1920年代	ガラス(被せガラス、型吹き、エッチング)	25.8×18.3
37	ドーム	樹木文花器	1925-30年頃	ガラス(型吹き、エッチング)	27.0×27.0
38	藤田喬平	飾篭・十六夜	1982(昭和57)	ガラス(型吹き、色ガラス粒と金箔溶着)	30.0×14.9
39	三岸好太郎	猫	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	91.0×61.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さまたは径×高さ

※Nos. 1-38 は北海道立近代美術館蔵、No. 39 は北海道立三岸好太郎美術館蔵

2 ワークショップ

1 発見！ぼうけん！キンビのひみつ

小学生を対象に、楽しみながら美術に親しむことを目的として、学芸員の案内によるガイドツアーを行った。例年であれば工作などのワークショップを行っているが、本年は新型コロナウイルス感染を防ぐため、出来るだけ物に触らずに事業を実施出来るよう、少人数で館内を巡るという内容とした。学芸員と対話しながら作品を鑑賞するギャラリー・ツアーと、館内を探検するかのようにバックヤードを巡るツアーを通じて、美術館を身近に感じてもらうプログラムを用意した。

日 時：8月9日(日) 10時30分～12時、14時～15時30分

会 場：当館展示室B、収蔵庫、事務室、ボイラー室

参加者：午前5名、午後3名 計8名

案 内：野田佳奈子(当館学芸員)

参加料：無料(保護者の方は要観覧券)

内 容：ワークシート等を用いながら、二部構成のガイドツアーを行った。まず前半は「発見！作品のひみつ」と題し、展示室Bにて開催中の「山川草木」展の出品作品4点について、密にならないよう距離を取りつつ、参加者と対話しながら鑑賞した。感想や解釈を参加者全員で共有しつつ、特徴や見どころを発見することで、作品に親しむ一助とした。後半は「ぼうけん！美術館のひみつ」と題し、二つのグループに分けてバックヤードツアーを行った。参加者は“ひみつの地図”(館内案内図)を元に、副館長室、収蔵庫、ボイラー室を探し出し、各チェックポイントに配置した学芸員から施設の機能について解説を受けた。普段は入れないバックヤードを巡り、設備等を間近で見ることを通じ、美術館の社会的役割を知っていただく機会とした。

スパッタリングの方法で模様を描き出した。中にはカッターやクラフトパンチを使ってオリジナルの模様を作り、組み合わせて制作する参加者もあり、筆での彩色も織り交ぜてそれぞれの個性あふれる作品を完成させた。

2 アートギャラリー北海道／みんなのアートプロジェクト2020

「ふんわり・きらきら～スパッタリングで絵を描いてみよう！」

アートギャラリー北海道連携館である「太陽の森 ディマシオ美術館」と連携して開催する「太陽の森 ディマシオ美術館コレクション」展に関連して、小学生対象のワークショップを行った。

マスキングテープを切った型紙とローラーを使って彩色した色面構成の上に、絵具を網でこすり落として彩色する「スパッタリング」の技法を用いて、拮抗する色面とマチエールが生み出す表現を楽しんだ。

日 時：11月1日(日) 10時～11時30分、13時30分～15時

会 場：当館造形室

参加者：小学生午前7名、午後2名 計9名

講 師：当館学芸員

参加料：無料

内 容：参加者は動画で制作手順の説明を受け、マスキングテープやカッティングシート等を紙に張り込み、上から網と歯ブラシを用いて絵の具を霧状に落としていくスパ

3 解説活動

1 ミュージアム・トーク

近美コレクション開催時の毎週日曜日、展覧会会場にて、学芸員が、主に同展出品作品に関連した講話を、スライドを交えて行っている。

※時間はいずれも 14:00～、30 分程度

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため 8 月 16 日（日）まで中止

タイトル	日時	場所	講師	人数
「風にむかって—砂澤ビッキの造形—」	8 月 23 日（日）	展示室 B	久米淳之（当館学芸統括官）	9
「ホガース！ホガース！」	8 月 30 日（日）	展示室 A	地家光二（当館上席専門員）	11
「『ガルガンチュアとパンダグリユエルの物語』の歩み」	9 月 20 日（日）	展示室 A	田村允英（当館学芸員）	8
「パスキン—放蕩・ド・パリ」	9 月 27 日（日）	展示室 A	地家光二（当館上席専門員）	12
「ゴッホもハマった？英泉美人の沼」	10 月 4 日（日）	展示室 A	齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	4
「エミール・ガレのリキュールセット」	10 月 11 日（日）	展示室 A	大石智子（当館学芸員）	5
「神田日勝の作品世界」 ※定員 50 名	10 月 18 日（日）	講堂	野田佳奈子（当館学芸員）	25
「大久保作次郎《草上を歩む》～戦前の“ピクニックブーム”」	10 月 25 日（日）	展示室 A	大下智一（当館学芸企画課長）	9
「浮世絵に描かれたガラス」	11 月 8 日（日）	展示室 A	星野靖隆（当館学芸員）	19
「日本の美 日本画鑑賞ポイント」	11 月 22 日（日）	展示室 A	大石智子（当館学芸員）	5
「藤田番平 飾篋の世界」	11 月 29 日（日）	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	10
「日本の美 日本画鑑賞ポイント」	12 月 6 日（日）	展示室 A	大石智子（当館学芸員）	12
「小林英夫 江戸切子の美」	12 月 13 日（日）	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	10
「竹内栖鳳 動物表現をめぐる」	12 月 20 日（日）	展示室 A	星野靖隆（当館学芸員）	6
「刹那か永劫か—『日本の美』に通底する際と淵の魅惑」	12 月 27 日（日）	展示室 A	齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	12
「オルリクと日本、あるいはドイツ」	令和 3 年 1 月 10 日（日）	展示室 A	田村允英（当館学芸員）	4
「浮世絵に描かれたガラス」	1 月 17 日（日）	展示室 A	星野靖隆（当館学芸員）	13
「オルリクと日本、あるいはドイツ」	1 月 24 日（日）	展示室 A	田村允英（当館学芸員）	7
「浮世絵の華—美人画の光と陰」	1 月 31 日（日）	展示室 A	地家光二（当館上席専門員）	11
「淡島雅吉のしづくガラス」	2 月 7 日（日）	展示室 A	野田佳奈子（当館学芸員）	5
「岩橋英遠 《石》に至る道」	2 月 14 日（日）	展示室 A	大下智一（当館学芸企画課長）	13
「日本のガラスの歩み—当館のコレクションから—」	2 月 28 日（日）	展示室 A	星野靖隆（当館学芸員）	6
「各務鑛三のクリスタルガラス」	3 月 7 日（日）	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	4
「岩田藤七—玻璃の蜃気楼（ミラージュ）」	3 月 14 日（日）	展示室 A	杉谷紬（学芸員インターシップインターン）	12
「淡島雅吉のしづくガラス」	3 月 21 日（日）	展示室 A	野田佳奈子（当館学芸員）	6
「一原有徳—拡大する版」	3 月 28 日（日）	展示室 A	大下智一（当館学芸企画課長）	7

計 26 回 245 名

2 特別オリエンテーション

近美コレクションを観覧する団体に対して、学芸員が展覧

会の概要と見所を紹介した。

日 時：展覧会等開催期間
会 場：当館講堂または映像室
講 師：各展覧会担当学芸員
実施回数：3回
参加人数：計155名

3 子ども鑑賞ツアー関連企画

近美コレクションで対話を楽しみながら作品鑑賞を行う子ども鑑賞ツアー（平成18年度より毎月第二土曜日に開催）が感染症拡大防止対策で開催中止となったため、自宅でも美術に親しめる代替事業として、物語形式で展覧会を紹介する映像プログラム（「北海道リモート・ミュージアム」と連携）と、作品鑑賞補助となるワークシート（当館HPからダウンロード可能）の内容を関連させ、夏休みと冬休み期間に配信・公開した。

動画配信

「名画探偵物語 “メーガの証” episode 1」配信日：8月6日
（木）

「名画探偵物語 “メーガの証” episode 2」配信日：12月22日
（火）

4 博物館実習【館園実習】

各大学の依頼により学生を受け入れ、学芸員資格取得のための博物館実習【館園実習】を行った。

実施日：7月28日(火)～8月5日(水)
 うち8月2日(日)、8月3日(月)を除く7日間
 各日とも10時～17時(昼食休憩1時間を除く6時間)

講師：当館学芸員

実習生：7名(秋田公立美術大学1名、金沢美術工芸大学1名、北海道教育大学岩見沢校2名、北海道大学3名)

月日	実習内容			
	午前		午後	
7月28日(火)	ガイダンス	【講義】近代美術館への招待 —歴史と活動	【講義】近代美術館の活動① 施設管理と事業予算	【見学】近代美術館の施設見学 【見学】近美コレクション見学
7月29日(水)	【実務】作品取扱実習①—日本画		【見学】三岸好太郎美術館の施設・展覧 会见学	【講義】近代美術館の活動② 展覧会の企画と運営
7月30日(木)	【講義】近代美術館の活動③ 教育普及活動		【実務】作品取扱実習② —油彩・版画	【実務】作品取扱実習③—工芸
7月31日(金)	【実習】野外彫刻清掃		【実習】収蔵庫・展示用具室清掃	
8月1日(土)	【実習】アートカードについて/ アートカード活用案の検討		【実習】アートカード活用案の 検討	【実習】アートカード活用案の実 践・講評
8月2日(日)	休 講			
8月3日(月)	休 講			
8月4日(火)	【実務】ワークシート作成		【実務】ワークシート作成	【実務】ワークシート発表
8月5日(水)	【講義】近代美術館の活動④ ボランティアの活動		【講義】近代美術館の活動⑤ コレクションの収集 と管理	【研究】館園実習を振り返って

5 ぐるっと三館鑑賞ツアー

平成 23 (2011) 年 4 月より北海道立近代美術館と北海道立三岸好太郎美術館の運営が一体化され、両館の常設展示の共通観覧料が新たに設定された。これを記念するとともに、この地域の魅力を広く道民にアピールするために、近代美術館～三岸好太郎美術館～知事公館の美術鑑賞ツアーを実施している。本年も「ぐるっと三館鑑賞ツアー」と銘打ち、8 月の第 4 週を実施時期とした。

日 時：8 月 26 日 (水)、27 日 (木)、28 日 (金)

各日 10 時～12 時 10 分 (全 3 回)

主 催：北海道立近代美術館、北海道立三岸好太郎美術館、一般社団法人北海道美術館協力会

協 力：北海道知事公館

参加費：一般 1,120 円、高大生 720 円、65 歳以上 450 円
(観覧料および喫茶代込)

場所・内容：

○10 時 00 分～10 時 30 分 近代美術館「近美コレクション」

観覧 (解説：北海道美術館協力会ボランティア)

○10 時 40 分～11 時 10 分 知事公館内外観覧 (解説：知事公館館長、近代美術館学芸員)

○11 時 20 分～12 時 10 分 三岸好太郎美術館所蔵品展自由観覧。観覧後、三岸好太郎美術館内のカフェ・きねずみにてティータイム

参加者数：8 月 26 日／6 名、27 日／7 名、28 日／3 名

計 16 名

6 出張アート教室

学校関係者に道立美術館等を学習の場として広く活用できることを認識してもらうとともに、美術館等の所蔵作品の有効利用を図るため、学芸員が学校（小学校・中学校・高等学校および特別支援学校）に作品を持参して実作品を見せながら、鑑賞の手ほどきを行った。授業内容の詳細は各実施校の担当教諭と相談して組み上げるなど、美術館と学校とが連携して取り組む事業でもある。

本事業は、アート&トーク・デリバリーの名称で平成 23（2011）年度に当館で試行的に実施を始め、翌平成 24 年度

からは、道立美術館・芸術館 6 館全体の取り組みとして、北海道各地で実施している。

本年度は、全体で 7 校において実施。そのうち当館では、後志・空知・日高管内の計 3 校で実施した。

実施校数：3 校（小学校 1 校、中学校 2 校）

実施回数：5 回

受講者数：計 122 名

テーマと作品	学校	日程	対象
<p>「はてしない風景—たば風の吹く浜」 内容：美術館ならではのユニークな視点から、美術表現の多様さと、作品鑑賞の楽しさを学ぶ。 作品：【油彩画】瀬戸英樹《たば風が吹く浜》 担当：瀬戸厚志（当館学芸員）</p>	泊村立泊中学校	9 月 24 日（木） ①13:30-14:20 ②14:30-15:20	39 名 ①1 年生 1 学級 16 名 ②2～3 年生 2 学級 23 名
<p>「色鮮やかな木版画の世界」 内容：図画工作や美術の表現（作品制作）授業と関連させた内容で、さまざまな作品を鑑賞する。 作品：【版画】北岡文雄《沼の秋》《奥飛騨風景》《羅白岳錦秋》 《海の見える農場》《アントワープの跳ね橋》 担当：瀬戸厚志（当館学芸員）</p>	岩見沢市立岩見沢東小学校	10 月 28 日（水） ①10:20-11:05 ②11:10-11:55	49 名 ①5 年生 1 学級 24 名 ②5 年生 1 学級 25 名
<p>「さわってみよう！人物の表現を学ぶ」 内容：図画工作や美術の表現（作品制作）授業と関連させた内容で、さまざまな作品を鑑賞する。 作品：【彫刻】荻原守衛《坑夫》 担当：瀬戸厚志（当館主任学芸員）</p>	平取町立平取中学校	10 月 30 日（金） 13:20-14:10	34 名 1 年生 1 学級 34 名

7 ボランティアの活動

昭和 52 (1977) 年、北海道立近代美術館開館の年に任意団体として美術館協力会 (2 年後に社団法人化) が発足した。そのもとで始められたボランティア活動は、当初、売店部門のみであったが、翌年に解説部門、その 10 年後に資料部門が加わり、さらには平成 6 (1994) 年の組織改編を経て、現在の 7 部体制となった。ボランティア活動員数も、発足当時の 10 数名から、令和 2 (2020) 年度当初には 167 名まで拡大している。

7 部の主な活動内容と令和 2 年度実績

名称	内容
事業部	<ul style="list-style-type: none"> ○美術研修旅行の企画・実施 国内美術研修旅行 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 海外美術研修旅行 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ○協力会員の親睦会「つどい」2020 の企画・実施 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ○美術館所蔵野外彫刻の清掃の実施：9 月 30 日
広報部	<ul style="list-style-type: none"> ○会報『アルテピア』の編集・発行 (年 2 回発行) ○部内報『あんでな』の編集・発行 (年 3 回発行) ○ミュージアム・カレンダー、ポスター等印刷物の配布
売店部	<ul style="list-style-type: none"> ○ミュージアム・グッズの開発・仕入・管理 ○ミュージアム・ショップでの販売活動 ○特設売店の設営 ○協力会員の入退会手続き事務
解説部	<ul style="list-style-type: none"> ○近美コレクションでのギャラリー・ツアーの実施 (火～土：11 時 30 分、13 時、14 時 各回約 30 分) 実施回数：289 回、参加者数：982 名 ○近美コレクションでの団体ギャラリー・ツアーの実施 実施団体数：1 団体、参加者数：9 名 ○アート・レファレンス・サービス (ARS) への対応 (質問コーナー、図書閲覧コーナー、ビデオ・ライブラリー 利用件数：2,469 件) ○道立三岸好太郎美術館でのギャラリー・ツアーの実施 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ○ぐるっと三館鑑賞ツアーの共催 近代美術館・三岸好太郎美術館での解説 (8 月 26、27、28 日 参加者数：16 名)
資料部	<ul style="list-style-type: none"> ○新聞資料のファイリングおよび検索カードの作成 ○美術情報文書の分類、回覧、配架 ○図書資料の整理および検索カードの作成
研修部	<ul style="list-style-type: none"> ○美術講座の企画・立案・実施 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ○美術講座プレミアムの開催 (10 月 1 日～10 月 29 日 受講者数：79 名) ○ボランティア活動員養成研修の企画・立案 ○ボランティア活動員に対する研修の企画・立案 (全体研修、特別オリエンテーションなど)
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ○館外活動「美術への誘い」(美術館、展覧会の紹介) の企画・実施 会 場：区民センター、地区センター 実施回数：5 回、参加者数：58 名 ○小中学生から一般を対象としたワークショップの企画・実施 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

8 協力事業

1 一般社団法人 北海道美術館協力会との連携・協力事業

●美術講座 2020「日本・西洋の美術家シリーズ」
美術に関する基礎知識を学ぶ連続講座に協力し、講師の派遣を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●美術講座プレミアム
美術に関する専門的・個別的知識を学ぶ連続講座に協力した。
日 時：10月1日（木）～10月29日（木）に5回実施
各回木曜日、10時～11時30分
会 場：当館講堂
受講者数：400名（5回累計・事前募集制）

[開催日／講座名／講師]

- ①10月1日（木）
「国立アイヌ民族博物館と収蔵資料のアイヌ絵」
下村紀子（国立アイヌ民族博物館研究学芸部資料情報室長）
- ②10月8日（木）
「ポストコロナでの映画・映像文化」
中島洋（映像作家・美術家・シアターキノ代表）
- ③10月15日（木）
「北海道美術を駆け抜ける～縄文から SIAF まで～」
古家昌伸（北海道新聞編集局文化部長）
- ④10月22日（木）
「歴史担当学芸員からみた、北海道の美術史について」
三浦泰之（北海道博物館学芸主幹）
- ⑤10月29日（木）
「浮世絵師の娘たち～この父にして、この娘あり?!～」
河治和香（歴史時代小説作家）

●アート・クラブ／ジュニア・アート・クラブ
小学生から一般の来館者までを対象に行ったワークショップ（工作教室）に協力する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●子ども美術鑑賞事業
札幌市内の小学校の児童を当館に招待し展覧会を案内する事業に協力する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●ボランティア養成研修（共通研修）
北海道美術館協力会ボランティアの新人養成研修に講師を派遣した。
日 時：8月29日（木）～令和3年2月13日（木）に5回実施
各回木曜日、10時～11時40分
会 場：当館映像室

[開催日／受講者数／講師]

- ①8月29日（木） 14名
木村純（北海道大学高等教育推進機構名誉教授）
- ②10月31日（木） 20名
苦名真（当館学芸副館長）
- ③11月21日（木） 16名

中村聖司（当館学芸部長）
④令和3年1月30日（木） 17名
大下智一（当館学芸企画課長）
⑤2月13日（木） 18名
久米淳之（当館学芸統括官）

2 学校教育との連携・協力事業

●博物館実習（見学実習）
学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の見学実習を受入れた。

日時	大学名	人数
10月21日（木）	東海大学	14名
11月6日（金）	北海道大学	8名

場 所：当館展示室、収蔵庫ほか
対 応：当館学芸員
人 数：計22名

●博物館実習（館園実習）
学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の館園実習を受入れた。（詳細は p98 参照）

●北海道大学連携講座「美術館という現場」
北海道大学との連携により、同大学の講座を開講。当館においては、学芸員による講義・施設見学・展覧会鑑賞などを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●出張アート教室
学習の場としての美術館への理解を深めてもらうため、学芸員が美術館の所蔵作品を学校等に持参し、児童・生徒等に実物を見せながら、わかりやすく鑑賞の手ほどきを行う授業を学校と連携して行った。（詳細は p100 参照）

●道立美術館等活用学習充実のための指導者研修
夏季および冬季の長期学校休業期間中、道内の教員（小学校、中学校、高等学校および特別支援学校）を対象に、美術館の活動と活用方法についての研修を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●鑑賞学習支援ツールの貸出
道立美術館・芸術館が所蔵する64点をはがき大のカードに掲載した「アートカード」、北海道の自然をモチーフにした絵巻形式の大作・岩橋英遠《道産子追憶之巻》（当館蔵）を32枚のシートに複製した「〈道産子追憶之巻〉複製シート」を、教材として道内の各種学校に貸し出した。

	小学校	中学校	高校	大学	特別支援	その他
アートカード	1	0	0	0	0	0
複製シート	1	0	0	0	0	0

●職場体験等の受け入れ
学校からの依頼により、職場体験学習として美術館での業

務を希望する生徒を受け入れた。

日時	学校名	人数
10月21日(水)、22日(木)	星槎国際高等学校	3名

場 所：当館館内各室

対 応：当館学芸員

人 数：計3名

●自主研修等の受け入れ

修学旅行や研修旅行、総合的な学習の時間などの一貫として当館を訪問する児童・生徒に対して、美術館活動の説明・質問への回答・施設見学などを行った。

日時	学校名	人数
8月22日(土)	石狩翔陽高等学校	1名
8月26日(水)	札幌市立定山溪中学校	5名
9月3日(金)	岩見沢市立第一小学校	10名
10月13日(火)	岩見沢市立北村中学校	2名
10月22日(木)	仁木町立銀山中学校	6名
10月23日(金)	富良野市立富良野小学校	14名
12月26日(土)	札幌市立桑園小学校 (新型コロナウイルス感染症対策として、小学生からの質問に対する学芸員の回答を録画し、小学校で視聴)	—
令和3年3月30日(火)	札幌市立手稲西中学校	19名

場 所：当館展示室、美術情報コーナー（アート・レファレンス・サービス ARS）

対 応：当館学芸員、北海道美術館協力会ボランティア解説部

人 数：計57名（札幌市立桑園小学校を除く）

3 その他の連携・協力事業

●北海道立図書館との連携展示

各特別展の会期中、北海道立図書館から、展覧会の内容に関連する図書を借用し、特設コーナーを設けて、来館者の理解と関心を深めることを図った。

9 その他

1 芸術週間

例年、芸術に親しむ機運の醸成を図ることを目的に、文化の日を含む11月1日から11月7日までの1週間を「芸術週間」として設定している。令和2年度も、常設展示「近美コレクション」の観覧料を無料とし、11月2日（月）は特別に開館した。

2 カルチャーナイト

地域文化への関心を高め、北海道ならではの地域文化の創造と発展に寄与することを目的に、札幌市内の公共施設や文化施設、民間施設等を夜間開館して実施される「カルチャーナイト」に参加している。令和2年度の本事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、YouTube上での動画配信によるリモート開催となり、当館も下記の映像による参加となった。

日 時：7月17日（金）19時30分～24日（日）24時（公開期間）

内 容：「アートギャラリー北海道 デイマシオ美術館コレクション展」

3 北海道立近代美術館学芸員インターンシップ

当館では美術館学芸員を志す者を、インターン（実務研修生）として受け入れ、今後の美術館活動を担う人材の育成を行っている。展覧会活動、教育普及活動、情報関連活動のいずれかを選択し、当館職員による指導のもと研修を実施しており、令和2年度は2名を受け入れた。

[研修期間／研修内容]

・4月5日（日）～9月27日（日）、26週合計172時間
近美コレクション展示準備、ワークシートおよび作品解説の翻訳

・10月7日（水）～令和3年3月10日（水）、22週合計154時間

美術館感染症対応の実態調査、近美コレクション企画補助、ミュージアム・トーク「岩田藤七 玻璃の蜃気楼」実施

4 北海道リモート・ミュージアム

新型コロナウイルス感染拡大および緊急事態宣言発令により臨時休館になったことや、再開後も従来のような展覧会鑑賞が容易ではなくなったことをふまえ、自宅等で展覧会やコレクションを紹介する動画を配信した。また、「子ども鑑賞ツアー関連企画 名画探偵物語 メーガの証」は、当館ホームページに掲載したワークシートとともに鑑賞することを意図し、制作した。

[公開日／タイトル／時間]

公開日	タイトル	時間
5月25日（月）	近美コレクション〈ひと・ヒト・人〉	4分12秒
6月1日（月）	近美コレクション〈なんちゃってカエル名画展〉	2分58秒
6月8日（月）	キスリング展	4分35秒
8月5日（水）	アートギャラリー北海道 デイマシオ美術館コレクション展	4分22秒
8月6日（木）	子ども鑑賞ツアー関連企画 名画探偵物語 メーガの証 episode 1	2分24秒
12月21日（火）	キンピの長い1日 北海道立近代美術館	4分3秒
12月22日（水）	子ども鑑賞ツアー関連企画 名画探偵物語 メーガの証 episode 2	4分13秒

5 資料・情報関係

1 刊行物

種別	刊行物名	規格 (cm)	頁数	発行
年報	平成 31/令和元年度北海道立近代美術館年報 (PDF版)		113	北海道立近代美術館
図録	キスリング展	29.0×22.3	175	キスリング展カタログ委員会
図録	神田日勝 大地への筆触	31.0×24.2	196	北海道新聞社
図録	デビュー50周年記念 諸星大二郎 異界への扉	25.7×18.2	271	河出書房新社
図録	札幌国際芸術祭 SIAF2020 INDEX	29.7×21.0	263	札幌国際芸術祭実行委員会
紀要	北海道立美術館・芸術館紀要 第30号 2020-21	29.7×21.0	43	北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、北海道立函館美術館、北海道立帯広美術館、北海道立釧路芸術館、北海道立三岸好太郎美術館

※札幌国際芸術祭は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、当館で展示予定だった作家・作品が掲載されているため、ここに記載した。

※ポスター等は除いた。

2 特別観覧

	撮影	模写	熟覧	写真原版の 使用	デジタルデータ の使用	その他 (転載等掲載 許可等)	合計
研究	2		6		1		9
展示					1	1	2
出版	4			13	21	6	44
放送				1	1	1	3
上映					1		1
配信 (インター ネット等)	1					1	2
合計	7	0	6	14	25	9	61

※うち9件は重複

主な申請者

[撮影] 研究者、広告代理店など

[熟覧] 研究者、学芸員、学生など

[写真原版またはデジタルデータの使用] テレビ局、新聞社、出版社など

3 情報資料

1 ウェブサイト

平成 11 (1999) 年 4 月 1 日 開設
平成 26 年 12 月 20 日 全面リニューアル

[構成 (リニューアル後)]

トップページ/展覧会のご案内/イベントのご案内/コレクションのご案内/施設のご案内/アクセス/開館時間と休館日/団体でのご利用/学校教育活動でのご利用/レストラン/ミュージアム・ショップ/アルテピア (北海道美術館協力会) /事務局からのお知らせ/道近美 twitter/道近美 Facebook/道近美メールマガジン/道立の美術館・芸術館

[アドレス]

http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi (平成 26 年 12 月 19 日まで)
http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb (平成 26 年 12 月 20 日より)

令和 2 年度アクセス件数(トップページ) : 288,352 件
開設以来のアクセス件数 : 4,642,019 件

2 所蔵作品データベース

当館では平成 13 年度から所蔵品管理システム I. B. MUSEUM (早稲田システム開発株式会社制作) により所蔵作品データベースの構築を図り、平成 24 年度 4 月からは I. B. MUSEUM SaaS (同社) へ移行して、このシステムにより北海道立美術館・芸術館 6 館の間での共同運用と整備を進めている。

令和 2 (2020) 年度は、追加更新作業として同年度の新収蔵作品 267 点 (油彩 2、日本画 6、水彩・素描 1、版画 258) 並びに新収蔵資料 13 点 (水彩・素描 10、版画 3) の登録作業を進めた。

[データ項目]

所蔵品番号、所蔵館区分、作品分類、作品名、作家名、数量、制作年、技法・材質、寸法各種、取得年、取得種別、取得先名、取得額、取得時評価額、情報提供者、作品の証明、署名・落款・表書、額装状態、来歴、解説、貸出可否、公開可否、HP 公開可否、初出年、初出展覧会、展覧会場、受賞内容、作品選定の理由、収集の理由、調査結果、作品の状態、作品情報、収集の特色、登録日、更新日など

[画像ファイル]

1,024×768 ピクセル・JPEG 形式 (平成 12 年度までの収蔵作品) / 1,280×960 ピクセル・JPEG 形式 (平成 13 年度以降の収蔵作品)

※作品登録件数 (当館分、令和元年度末現在) : 全 5,393 点
[絵画 1,459 (油彩 820、日本画 275、水彩・素描 364)、版画 1,822、彫刻 112、工芸 1,718、デザイン 231、写真 51]

3 所蔵作品データ公開

○所蔵作品データベースを活用した公開

上記 2 の I. B. MUSEUM SaaS を活用し、令和 2 年 10 月 10 日より、当館の所蔵作品全 5,393 点 [絵画 1,459 (油彩 820、日本画 275、水彩・素描 364)、版画 1,822、彫刻 112、工芸 1,718、デザイン 231、写真 51] のデータを公開した。

○館内ビデオ・ライブラリーにおける公開

平成 21 年度に ARS に導入した新しいビデオ・ライブラリーにおいて、当館の代表的な作品 70 点の画像、データ、解説を公開している。平成 22 年 9 月 11 日から運用開始。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年度は運用を中止した。

4 メールマガジン

当館では、平成 16 年度より北海道庁のメール配信システムを利用し、当館の広報誌『カンドーレ』(隔月刊、平成 21 年 7 月から季刊) を登録者へ配信している。令和 2 年度も引き続き配信を行った。

名 称 : 道立近代美術館メールマガジン【カンドーレ web 版】

構 成 : 近美コレクション、特別展、関連イベント、教育普及事業、三岸好太郎美術館の展覧会等の紹介
発行周期 : 1~2 ヶ月に 1 回 (令和 2 年度は計 9 回)
令和 2 年度発行 : 第 83 号~91 号
令和 2 年度末現在の登録者数 : 4,993 名

5 ソーシャルメディア

フェイスブック及びツイッターを活用して、逐次的な情報公開と広報活動に取り組んだ。

○フェイスブックへの投稿数 : 88 回

令和 2 年度末現在のフェイスブックのいいね数 (定期通知者数) : 5,239 名

○ツイッターへの投稿数 : 147 回

令和 2 年度末現在のツイッターのフォロワー数 (定期通知者数) : 9,216 名

6 美術作品の貸出と保存・修復

1 美術作品の貸出

	貸出先	期間	作品	目的（会場）
1	東京ステーションギャラリー、神田日勝記念美術館	令和2年6月2日～6月28日、7月11日～9月6日	神田日勝《室内風景》ほか 計10点	「神田日勝」展のため (東京ステーションギャラリー、神田日勝記念美術館、北海道立近代美術館)
2	北海道立釧路芸術館	令和2年5月26日～7月1日	栗谷川健一《第1回札幌ゆきまつり》ほか 計103点	「北海道・鉄道開業140年：荒川好夫写真展&栗谷川健一ポスター展」のため (北海道立釧路芸術館)
3	木田金次郎美術館	令和2年7月3日～11月3日	木田金次郎《漁村の夕》ほか 計7点	「岩内町町制施行120周年記念 アイヌ語地名と木田金次郎」展のため (木田金次郎美術館)
4	北海道立函館美術館	令和2年7月4日～8月30日	山口蓬春《籠中春花》ほか 計38点	「《道産子追憶之巻》と日本画の名品」展のため (北海道立函館美術館)
5	北海道庁舎内知事室等	令和2年7月11日～8月29日	岡部文之助《緑の羅白岳》ほか 計6点	知事室および知事公館での展示のため
6	鹿児島市立美術館、美術館「えき」KYOTO	令和2年7月24日～9月6日、9月12日～10月25日	キスリング《サンジェルマン風景》ほか 計6点	「キスリング」展のため (鹿児島市立美術館、美術館「えき」KYOTO)
7	北海道立旭川美術館	令和2年9月12日～11月1日	鹿子木孟郎《土佐桂ノ濱》ほか49点、ウィリアム・ブレイク《ヨブ記》ほか29点	「アートギャラリー北海道 北の水彩」展、「旭美・この一点—黒田辰秋《神代樺彫文飾棚》」展のため (北海道立旭川美術館)
8	郡山市立美術館	令和2年10月10日～11月23日	岩田藤七《水指〈雲間〉》ほか 計31点	「日本ガラス工芸の先達たち 藤七、鑛三、そして潤四郎」展のため (郡山市立美術館)
9	北海道立三岸好太郎美術館	令和2年12月2日～令和3年4月13日	本間紹夫《室内》 計1点	「スポット展示 赤い服の少女が物語になった」のため (北海道立三岸好太郎美術館)
10	山口蓬春記念館	令和3年2月6日～4月4日	山口蓬春《浄境閑寂》ほか 計9点	「北海道の大自然が生んだ山口蓬春・新日本画の魅力」展のため (山口蓬春記念館)

2 美術作品の保存・修復

1 修復

分野：彫刻
作家名：安田侃
作品名：意心帰
制作年：平成2～3（1990～91）年
寸法（奥行×幅×高さ）：210.0×295.0×130.0cm
技法・材質：大理石
修復年月日：令和2（2020）年7月14日～15日
修復者：認定NPO法人アルテピアッツァびばい
修復状況：

本作品は、野外彫刻として知事公館庭園に設置されている。作品表面には保護材を塗布し劣化を防止しているが、来園者が自由に触れることが可能な保存環境や酸性雨等の影響を受け、保護材の摩滅や汚濁、摩擦傷が生じていた。

処置にあたっては、まず作品表面の洗浄を行い、続いて石材を補修し表面を研磨した後、シリカ系石質強化剤およびシリカ系浸透性吸い上げ防止剤を塗布した。

分野：彫刻
作家名：新宮晋
作品名：光のリズムⅡ
制作年：昭和52（1977）年
寸法（奥行×高さ）：300.0×552.0cm
技法・材質：F. R. P.、鉄
修復年月日：令和2年8月24日～10月26日
修復者：東興株式会社
修復状況：

本作品は、野外彫刻として当館前庭に設置されている。経年劣化により、支柱根元や羽根の一部に塗装の剥落や錆が生じていた。

処置にあたっては、作品を工場に引き下げて作業を行った。支柱は鋼管とF. R. P.を使用して新規製作し、フッ素樹脂塗装を行った。羽根部については、一度塗装を剥離してからウレタン樹脂塗装およびフッ素樹脂のクリア塗装を施工した。また、羽根部と支柱をつなぐアームが摩耗していたことから新規製作した。また、ベアリング等の部品についても新規交換した。

分野：彫刻
作家名：流政之
作品名：雲の砦 Jr.
制作年：平成16（2004）年
寸法（奥行×幅×高さ）：262.0×514.0×251.0cm
技法・材質：石（黒御影）
修復年月日：令和2年8月25日～9月8日
修復者：有限会社 堂源
修復状況：

本作品は、野外彫刻として当館前庭に設置されている。経年劣化により、表面保護剤が汚濁・変色していたほか、目地の樹脂モルタルが劣化し、雨水の浸入している箇所が発生していた。また、コーキングが劣化し、亀裂や剥離が生じていた。

処置にあたっては、まず作品表面の洗浄を行い、保護剤を

電動たわしおよび剥離剤を用いて剥がし、新規保護剤を塗布した。また作品の一部および台座全体のモルタルを撤去し、調色した樹脂モルタルを打ち込んだ。目地のコーキングについては、全体的に撤去し、既存のものと同材のコーキング材を再度打ち込んだ。

分野：彫刻
作家名：伊藤隆道
作品名：回転螺旋・1月
制作年：昭和53（1978）年
寸法（径×高さ）：440.0×700.0cm
技法・材質：ステンレスパイプ、電動
修復年月日：令和2年9月30日
修復者：ソウマデザイン
修復状況：

本作品は、野外彫刻として当館前庭に設置されている。経年劣化により、内部にある機械部分の動作が不安定になっていた。

処置にあたっては、内部のパーツを工場へ引き下げ、歯車を分解清掃したほか、ベアリング、モーター、トルクリミッターを交換した。

分野：彫刻
作家名：鈴木吾郎
作品名：古代の風を聞く
制作年：平成17（2005）年
寸法（奥行×幅×高さ）：38.0×89.0×77.0cm
技法・材質：テラコッタ
修復年月日：令和2年11月4日～12月5日
修復者：鈴木吾郎
修復状況：

本作品は、左手薬指第三関節部の接合部が外れ、指が折れた状態となっていた。

修復においては、作家のアトリエにて指を再度接着させる処置を行ったほか、左手小指に発生していたヒビを充填する処置を行った。

分野：油彩
作家名：林竹治郎
作品名：朝の祈り
制作年：明治39（1906）年
寸法（縦×横）：50.0×90.0cm
技法・材質：油彩、キャンバス
修復年月日：令和2年9月4日～7日
修復者：修復研究所21
修復状況：

本作品は、経年劣化により、画面全体に斑状のしみが目立っていたほか、額当たりによる線状の擦傷が生じていた。

処置にあたっては、まず精製水によって画面全体の汚れを除去し、修復用アクリル樹脂絵具を使用して僅かに補彩を施した。また額当たりの箇所を中心に、樹脂ワニスを差し入れ

て光沢の調整を行った。この他、剥がれていた縁張りの膠テープを接着した。

分野：油彩

作家名：砂田友治

作品名：北海の男たち

制作年：昭和40（1965）年

寸法（縦×横）：181.8×230.2cm

技法・材質：油彩、キャンバス

修復年月日：令和2年9月4日～7日

修復者：修復研究所21

修復状況：

本作品は、経年劣化およびキャンバスの接ぎ目にある段差の影響で、絵具の浮き上がりや剥落が多数見られた。

処置にあたっては、まず刷毛で付着した埃や汚れの洗浄を行った。絵具層の浮き上がり箇所については膠水で接着をし、剥落箇所には充填剤を用いた上で、補彩を行った。また、画面裏にアルミ板を補強剤として取り付け、段差を軽減するために合板を挟んで調整を行った。

7 調査研究

1 学芸員の調査研究活動

当館は、地域の研究機関としての役割を果たし、美術に関する総合的な調査・研究を行って、その成果を展覧会や普及事業、教育支援等、広く美術館活動に反映させるとともに地域社会に還元している。

とくにコレクションの柱である北海道の美術、ガラス工芸、エコール・ド・パリ関係については重点的に調査研究を推進するよう努めているほか、各学芸員はそれぞれコレクションの各分野、所蔵品特別研究、展覧会（特別展、コレクション展、その他プロジェクト）、教育支援、美術館学、地域文化振興等を担当して関連する調査研究、また個別的研究課題や重点分野に関して継続的な調査研究を行っている。

本項には、各員ごとの担当および研究成果等を記した（なお、コレクション分野のうち、北海道の美術、ガラス工芸、エコール・ド・パリについては、担当者以外にも全員が調査研究対象とすることとしている）。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた講座や発表が中止となったり、各種調査出張等が困難となったりすることなどで、調査研究やその成果発表の機会が減少する例もみられた。

○苫名 真（学芸副館長）

〔担当分野（コレクション）〕

- ・ガラス
- ・工芸（陶磁・染織）
- ・三岸好太郎

〔担当展覧会〕

- ・神田日勝 大地への筆触

〔教育支援・美術館学〕

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

〔地域文化の振興〕

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

〔重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等〕

- ・近代美術
- ・近現代ガラス
- ・小柴外一のガラス（作家作品研究）
- ・近代日本ガラス史（美術史）
- ・世界の現代ガラス調査
- ・瀧川嘉子（作家作品研究）

〔研究成果・発表活動〕

<講演・講座・トーク等>

- ・〔講座〕「近代美術館への招待—歴史と活動」（令和2/7/28 博物館実習）
- ・〔講座〕「近代美術館への招待—歴史と活動」（令和2/9/24 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）
- ・〔講話〕「近美とガラス」（令和2/11/26 学芸部研修）

<執筆・発表>

- ・「花田和治—北海道に根ざした画家」（『花田和治の世界』、軽井沢ニューアートミュージアム、令和2/12）

- ・「ガラスの美術館のバトンを次代に」（『美連協ニュース』No.149、美術館連絡協議会、令和3/2）
- ・「「常設展型」美術館を目指して」（『NORTHERN OWLS（北海道美術館学芸員研究協議会会報）』Vol.29、WEB発行、令和3/3）

<社会貢献活動>

- ・札幌市立大学非常勤講師（博物館経営論）
- ・札幌芸術の森事業部美術館専門委員会委員
- ・札幌芸術の森等作品選定委員会委員
- ・北海道立釧路芸術館運営協議会委員
- ・神田日勝記念美術館運営協議会委員
- ・北海道博物館協会副会長
- ・道央地区博物館等連絡協議会監事
- ・北海道学芸員研究協議会副会長
- ・「札幌ミュージアム・アート・フェア2020-21」特別選定委員会委員

○中村聖司（学芸部長）

〔担当分野（コレクション）〕

- ・油彩
- ・版画
- ・デザイン
- ・エコール・ド・パリ

〔所蔵品特別研究（この1点を見てほしい。）〕

- ・栗谷川健一《古代オリンピック塔》
- ・マルク・シャガール《パリの空に花》

〔担当展覧会〕

- ・札幌国際芸術祭2020（中止）
- ・キスリング展

〔教育支援・美術館学〕

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

〔地域文化の振興〕

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

〔重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等〕

- ・近代美術
- ・栗谷川健一
- ・現代美術論

〔研究成果・発表活動〕

<講演・講座・トーク等>

- ・〔講座〕「近代美術館の活動 コレクションの収集・管理および調査研究」（令和2/8/5 博物館実習）
- ・〔講座〕「コレクションの収集と管理」（令和2/11/5 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）
- ・〔出演〕「対決！Senster vs むかわ竜」（令和3/2/14 配信「SIAFTV」）

<執筆・発表>

- ・「（書評）柴橋伴夫『アウラの方へ』（未知谷）」『北海道新聞』令和3/2/14

- ・「北海道立近代美術館会場の企画について」『札幌国際芸術祭記録集「SIAF2020 インデックス」』札幌国際芸術祭実行委員会／札幌市、令和3/3/28
- ・藤戸竹喜解説『札幌国際芸術祭記録集「SIAF2020 インデックス」』およびSIAF2020 ホームページ

<展示>

- ・「この1点を見てほしい。：栗谷川健一《古代オリンピック塔》」 展示構成・解説
- ・「この1点を見てほしい。：シャガール《パリの空に花》」 展示構成・解説
- ・「札幌国際芸術祭2020」 北海道立近代美術館・三岸好太郎美術館展示構成等（掲載：『札幌国際芸術祭記録集「SIAF2020 インデックス」』札幌国際芸術祭実行委員会／札幌市、令和3/3/28）

<調査活動>

- ・砂澤ビッキ作品調査

<社会貢献活動>

- ・札幌国際芸術祭2020キュレーター
- ・市立小樽美術館協議会委員
- ・市立小樽美術館資料収蔵委員会委員

○久米淳之（学芸統括官）

[担当分野（コレクション）]

- ・彫刻
- ・現代美術
- ・映像・写真

[担当展覧会]

- ・山川草木 美は自然に宿る（近美コレクション）
- ・＃みまのめ VOL.6（三岸好太郎美術館）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代美術
- ・安田侃（作家作品研究）
- ・吉田竜夫とタツノコプロについて

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・「講座」近代美術館の活動 教育普及活動（令和2/7/28 博物館実習）
- ・「講話」風にむかって一砂澤ビッキの造形（令和2/8/23 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- ・「講座」近代美術館の活動 教育普及活動（令和3/1/14 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）
- ・「講話」彫刻を中心とした現代作家の調査研究（令和3/2/4 学芸部研修）

<執筆・発表>

- ・「吉成翔子一風のわたる彫刻」（『＃みまのめ VOL.6』展リーフレット、三岸好太郎美術館、令和2/9）
- ・「桑迫伽奈一ギャップからの造形」（『＃みまのめ VOL.6』展リーフレット、三岸好太郎美術館、令和2/9）

<展示>

- ・「山川草木 美は自然に宿る」 展示構成・解説

<社会貢献活動>

- ・道銀文化財団道銀芸術文化奨励賞選考委員
- ・札幌市500m美術館専門委員会委員

○大下智一（学芸企画課長）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・版画
- ・工芸（陶磁・染織）
- ・映像・写真

[担当展覧会]

- ・諸星大二郎展
- ・新収蔵品展（近美コレクション）
- ・池田良二展（近美コレクション）
- ・一原有徳展（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・日本写真史
- ・日本近代洋画
- ・山下りん（作家作品研究）
- ・田本研造（写真史研究）
- ・道南美術史
- ・長谷川澁二郎（作家作品研究）

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・「講座」近代美術館の活動 展覧会の企画と運営（令和2/7/23 博物館実習）
- ・「講話」大久保作次郎《草上を歩む》～戦前の“ピクニックブーム”（令和2/10/25 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- ・「講座」展覧会の企画と運営（令和2/12/3 北海道美術館協力会ボランティア研修部養成研修）
- ・「講座」諸星大二郎展「見どころ解説」（令和2/12/5、令和3/1/16）
- ・「講話」岩橋英遠《石》に至る道（令和3/2/14 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- ・「講話」一原有徳一拡大する版（令和3/3/28 近美コレクション ミュージアム・トーク）

<執筆・発表>

- ・「諸星大二郎世界の万博、あるいは旅行案内」『デビュー50周年記念 諸星大二郎 異界への扉』（諸星大二郎展公式図録）、河出書房新社、令和2/11/30
- ・「諸星大二郎展 異界への扉」（上・中・下）『読売新聞』令和2/11/24、11/28、12/2

<展示>

- ・「諸星大二郎展」 展示構成・解説
- ・「新収蔵品展」 展示構成・解説
- ・「池田良二展」 展示構成・解説
- ・「一原有徳展」 展示構成・解説

<調査活動>

- ・諸星大二郎作品・資料調査

<受賞>

- ・美術館連絡協議会令和2年度美連協大賞（「諸星大二郎展」）

<社会貢献活動>

- ・北海道史編纂委員会専門委員

○齊藤千鶴子（主任学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・書
- ・日本画
- ・浮世絵

[所蔵品特別研究（この1点を見てほしい。）]

- ・溪斎英泉《花魁道中 鯉の滝のぼり》

[担当展覧会]

- ・なんちゃってカエル名画展（近美コレクション）
- ・猫まみれ展 MAX（貸展）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・書
- ・日本美術
- ・日本書道史
- ・北海道の現代書研究
- ・日本美術史における書の位置づけ
- ・浮世絵研究

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・金子鷗亭展動画解説（令和2/7 網走市立美術館主催）
- ・[講話]「ゴッホもハマった？英泉美人の沼」（令和2/10/4 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「刹那か永劫か『日本の美』に通底する際と淵の魅惑」（令和2/12/27 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- ・[講座]猫まみれ展 MAX「学芸員・見どころ解説」（令和3/2/27、3/31）

<展示>

- ・「なんちゃってカエル名画展」 展示構成・解説
- ・「この1点を見てほしい。：溪斎英泉《花魁道中 鯉の滝のぼり》」 展示構成・解説
- ・「猫まみれ展 MAX」 展示構成・解説・音声ガイド執筆

<調査活動>

- ・へそまがり日本美術展（令和3年度開催）作品調査（東京都）
- ・猫まみれ展作品調査（神奈川県藤沢市）

<社会貢献活動>

- ・札幌大谷大学非常勤講師（日本美術史）
- ・北の書みらい基金「中野北溟北の書みらい賞」選考委員

○野田佳奈子（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・エコール・ド・パリ
- ・デザイン
- ・ガラス

[担当展覧会]

- ・神田日勝 大地への筆触
- ・諸星大二郎展

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
- [重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

・近代美術

・近現代北海道美術史

・居串佳一

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講座]「神田日勝～生涯と作品～」(令和2/10/3 道新文化センター特別講座(道新文化事業社))
- ・[講座]「神田日勝の生涯」(令和2/10/6 かでる講座「ほっかいどう学(北海道生涯学習協会)」)
- ・[講座]神田日勝展「見どころ解説」(令和2/10/17、11/1)
- ・[講話]「神田日勝の作品世界」(令和2/10/18 近美コレクション ミュージアム・トーク)
- ・[講話]「淡島雅吉のしづくガラス」(令和3/2/7、3/21 近美コレクション ミュージアム・トーク)

<展示>

- ・「神田日勝 大地への筆触」 展示構成

○田村允英（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・油彩
- ・版画
- ・デザイン
- ・エコール・ド・パリ
- ・映像・写真
- ・三岸好太郎

[担当展覧会]

- ・キスリング展
- ・ヴィジュアル・ガストロノミー（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
- [重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

・西洋美術

・北海道美術と戦争

・若きラインラントをはじめとする20世紀デュッセルドルフ美術史

・エコール・ド・パリの日本人画家たちを中心とした日仏交流史

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]『『ガルガンチュアとパンダグリユエルの物語』の歩み』(令和2/9/20 近美コレクション ミュージアム・トーク)
- ・[講話]「オルリクと日本、あるいはドイツ」(令和3/1/10、1/24 近美コレクション ミュージアム・トーク)

<展示>

- ・「キスリング展」 展示構成
- ・「ヴィジュアル・ガストロノミー」 展示構成・解説

○星野靖隆（学芸員）

[担当分野（コレクション）]

- ・日本画

- ・彫刻
- ・ガラス
- ・陶磁・染織
- ・エコール・ド・パリ

[担当展覧会]

- ・古代エジプト展【開催延期】
- ・諸星大二郎展
- ・日本の美 [ガラスに見る和の世界/日本のガラス] (近美コレクション)
- ・ふれるかたち (近美コレクション)【開催中止】
- ・日本のガラス—江戸から現代まで— (近美コレクション)

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本美術
- ・近代日本画 (とくに大正～昭和戦前期)
- ・日本のガラス工芸
- ・田辺三重松の作品と画業

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「浮世絵に描かれたガラス」(令和 2/11/8、令和 3/1/17 近美コレクション ミュージアム・トーク)
- ・[講話]「竹内栖鳳 動物表現をめぐる」(令和 2/12/20 近美コレクション ミュージアム・トーク)
- ・[講話]「日本のガラスの歩み—当館のコレクションから—」(令和 3/2/28 近美コレクション ミュージアム・トーク)

<執筆・発表>

- ・「田辺三重松 初期の水彩画」[学芸員レポート コラム・リレー 96]『北海道新聞函館版・みなみ風』令和 2/7/31

<展示>

- ・「日本の美 [ガラスに見る和の世界/日本のガラス]」 展示構成・解説
- ・「日本のガラス—江戸から現代まで—」 展示構成・解説

○瀬戸厚志 (学芸員)

[担当分野 (コレクション)]

- ・陶磁・染織
- ・ガラス

[担当展覧会]

- ・太陽の森 デイマシオ美術館コレクション [アートギャラリー 北海]
- ・神田日勝 大地への筆触
- ・日本の美 [ガラスに見る和の世界/日本のガラス] (近美コレクション)

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本美術
- ・陶磁
- ・北海道の野外彫刻 (作品調査)

- ・アイヌ民族の木彫 (作家作品研究)
- ・北海道各地域の公募展史
- ・羽生輝 (作家作品研究)

[研究成果・発表活動]

<講演・講座・トーク等>

- ・[講話]「藤田喬平 飾宮の世界」(令和 2/11/29 近美コレクション ミュージアム・トーク)
- ・[講話]「小林英夫 江戸切子の美」(令和 2/12/13 近美コレクション ミュージアム・トーク)
- ・[講話]「各務鏝三のクリスタルガラス」(令和 3/3/7 近美コレクション ミュージアム・トーク)

<展示>

- ・「太陽の森 デイマシオ美術館コレクション」 展示構成
- ・「日本の美 [ガラスに見る和の世界/日本のガラス]」 展示構成・解説

<教育支援>

- ・出張アート教室「はてしない風景—たば風の吹く浜」(令和 2/9/24 泊村立泊中学校)
- ・出張アート教室「色鮮やかな木版画の世界」(令和 2/10/28 岩見沢市立岩見沢東小学校)
- ・出張アート教室「さわってみよう!人物像の表現を学ぶ」(令和 2/10/30 平取町立平取中学校)

<調査活動>

- ・羽生輝作品調査

<社会貢献活動>

- ・北海道教育大学釧路校非常勤講師 (集中講義「美術史 2・釧路の美術」)

○敷田弘子 (学芸員)

[担当分野 (コレクション)]

- ・日本画
- ・デザイン
- ・ガラス
- ・陶磁・染織

[担当展覧会]

- ・猫まみれ展 MAX (貸館)

[教育支援・美術館学]

- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

- ・近代日本美術史
- ・デザイン史
- ・戦前戦後日本のプロダクトデザインの動向について

[研究成果・発表活動]

<社会貢献活動>

- ・千葉大学教育学部非常勤講師 (「工芸概論」)
- ・宮城学院女子大学生生活科学部生活文化デザイン学科非常勤講師 (「家具とインテリアの歴史」)

○地家光二 (上席専門員)

[担当分野 (コレクション)]

- ・彫刻
- ・書
- ・エコール・ド・パリ
- ・ガラス

- ・浮世絵
- ・三岸好太郎
- [所蔵品特別研究（この1点を見てほしい。）]
- ・ウィリアム・ホガース《侵略（イギリス／フランス）》
- [担当展覧会]
- ・ひと・ヒト・人—あつまる人々、つらなる面々（近美コレクション）
- ・古代エジプト展【開催延期】
- ・日本の美 [浮世美人華麗競]（近美コレクション）
- [教育支援・美術館学]
- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
- [地域文化の振興]
- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
- [重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
- ・日本近代美術
- ・三岸好太郎
- ・ウィリアム・ホガース
- [研究成果・発表活動]
- <講演・講座・トーク等>
- ・[講話]「ホガース！ホガース！」（令和2/8/30 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「パスキン—放蕩・ド・パリ」（令和2/9/27 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「浮世絵の華—美人画の光と陰」（令和3/1/31 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- <展示>
- ・「ひと・ヒト・人……あつまる人々、つらなる面々」 展示構成・解説
- ・「この1点を見てほしい。：ホガース《侵略》」 展示構成・解説
- ・「日本の美 [浮世美人華麗競]」 展示構成・解説

○大石智子（臨時学芸員）

- [担当展覧会]
- ・山川草木 美は自然に宿る（近美コレクション）
- ・日本の美 [日本画]（近美コレクション）
- [教育支援・美術館学]
- ・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
- ・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
- [地域文化の振興]
- ・地域の美術活動の現況調査
- ・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
- [重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
- ・日本近代美術
- ・美術作品の情報管理
- [研究成果・発表活動]
- <講演・講座・トーク等>
- ・[講話]「エミール・ガレのリキュールセット」（令和2/10/11 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- ・[講話]「日本の美 日本画鑑賞ポイント」（令和2/11/22、12/6 近美コレクション ミュージアム・トーク）
- <展示>
- ・「山川草木 美は自然に宿る」 解説
- ・「日本の美 [日本画]」 展示構成・解説

8 名簿、沿革、観覧者数等

1 名簿

北海道立近代美術館協議会委員名簿（令和3年3月31日現在）

氏名	職名
◎ 宇佐美 暢子	(株)北海道二十一世紀総合研究所 顧問
○ 町田 佳世子	札幌市立大学デザイン学部 教授
伊藤 隆介	北海道教育大学岩見沢校 教授
藤井 一志	北海道高等学校文化連盟 会長（北海道石狩南高等学校長）
小川 満	北海道中学校長会 幹事（北広島市立緑陽中学校長）
西村 裕子	北海道小学校長会 幹事（札幌市立西野小学校長）
向坂 陽子	三岸好太郎氏 長女
柴田 美幸	フリーライター
平賀 治郎	(株)ホテルオークラ札幌 副支配人
美馬 のゆり	はこだて未来大学システム情報科学部 教授
黒田 秀徳	(公社)北海道観光振興機構 専務理事
荒井 由紀恵	北海道PTA連合会 副会員
湯浅 万紀子	北海道大学総合博物館 教授
小野寺 あい	(株)エルム楽器 ピアノ講師（公募委員）
栗田 眞知子	(公募委員)

※任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

※◎は会長、○は副会長（敬称略）

収蔵作品選定評価協議会構成員名簿（令和3年2月3日開催）

氏名	職名
北村 清彦	北海道大学大学院文学研究院 特任教授
佐藤 友哉	札幌芸術の森美術館 館長
霜村 紀子	国立アイヌ民族博物館 学芸部資料情報室長

北海道立近代美術館職員名簿（令和3年3月31日現在）

職名	氏名	発令年月日	前職等
館長（非）	立川 宏	R1. 7. 1	
副館長	櫻井 康雄	R2. 4. 1	後志教育局長
学芸副館長	苫名 真	R2. 4. 1	近代美術館学芸部長
総務企画部長	小笠原 博之	R1. 6. 1	
学芸部長	中村 聖司	R2. 4. 1	生涯学習推進局文化財・博物館課学芸主幹（釧路芸術館駐在）
総務企画課長	今村 ちぐさ	R2. 11. 1	総務政策局総務課訟務係長
学芸統括官	久米 淳之	R2. 4. 1	生涯学習推進局文化財・博物館課主幹
主査（総括）	本郷 孝徳	R2. 4. 1	宗谷教育局教育支援課主査
主査	黒岡 潤子	R1. 6. 1	
専門主任	北川 昌亨	R2. 4. 1	日高教育局専門主任
専門主任	矢野 亜矢子	H31. 4. 1	
主任	坂口 大明	H31. 4. 1	
主任	成田 政紀	H31. 4. 1	
主任	田中 一生	R2. 4. 1	生涯学習推進局文化財・博物館課主査（再任用）
主事（非）	山下 深雪	H21. 4. 1	
〃	森谷 玲子	H3. 4. 1	
〃	佐々木 青	H21. 4. 1	
〃	三浦 彰子	H7. 4. 1	
〃	沼沢 千佳子	H7. 4. 1	
〃	黒川 亜紀	H13. 8. 1	
〃	佐々木 絵梨子	H14. 4. 1	
〃	加藤 みゆき	H21. 4. 1	
〃	大場 良子	S53. 7. 1	
〃	有田 美恵子	H9. 4. 1	
〃	田中 緑	R2. 4. 1	
〃	櫻井 雅子	R2. 11. 18	
〃	福田 優	R2. 11. 18	
臨時学芸員	大石 智子	R2. 5. 1	
学芸企画課長	大下 智一	H30. 4. 1	
主任学芸員	穂積 利明	H21. 11. 1	
〃	齊藤 千鶴子	H27. 4. 1	
学芸員	野田 佳奈子	R2. 4. 1	北海道立帯広美術館学芸員
〃	田村 允英	H30. 4. 1	
〃	星野 靖隆	R2. 4. 1	北海道立函館美術館学芸員
〃	瀬戸 厚志	R2. 4. 1	新採用
〃	敷田 弘子	R2. 12. 1	新採用
上席専門員	地家 光二	H30. 4. 1	

※（非）は非常勤であることを示す

※発令年月日：職名の発令年月日

2 沿革

- 昭和46年 7月 新北海道立美術館建設調査費計上
- 昭和46年10月 新北海道立美術館建設調査委員会、道外の美術館を調査
- 昭和46年12月 新北海道立美術館建設調査委員より、建設に対する意見と道外美術館調査報告を北海道教育委員会に提出
- 昭和47年 3月 新北海道立美術館建設敷地、北1条西17丁目に決定
- 昭和47年 3月 新北海道立美術館建設調査設計費計上
- 昭和47年 7月 新美術館建設協議会発足
- 昭和48年 1月 北海道教育庁内に新美術館建設準備室を設置
- 昭和48年 2月 基本設計終了
- 昭和48年10月 実施設計終了
- 昭和49年 8月 新美術館建設工事起工式
- 昭和52年 3月 北海道立美術館条例一部改正、
新美術館の名称を「北海道立近代美術館」と決定
- 昭和52年 4月 条例制定（常設展観覧料）
- 昭和52年 6月 北海道立近代美術館建設工事完成
- 昭和52年 6月 北海道立近代美術館職員の発令組織発足
北海道立近代美術館長（兼務）－気境公男教育長
- 昭和52年 7月 北海道立近代美術館落成・開館記念式、一般公開
- 昭和52年10月 北海道立近代美術館長（兼務）－中川利若教育長
- 昭和53年 4月 北海道立近代美術館長－倉田公裕
- 昭和55年 4月 条例一部改正（常設展観覧料）
- 昭和55年 6月 観覧者数100万人
- 昭和58年 4月 機構改正（学芸部課名変更・主任学芸員新設）
- 昭和59年 4月 条例一部改正（常設展観覧料）
- 昭和59年 8月 観覧者数200万人
- 昭和61年 7月 北海道立近代美術館長（兼務）－植村 敏教育長
- 昭和62年 3月 第2収蔵庫工事完成
- 昭和62年 5月 北海道立近代美術館長（兼務）－澤 宣彦教育長
- 昭和62年 7月 北海道立近代美術館長－佐藤雅彦
- 昭和62年 8月 開館10周年記念式
- 昭和62年12月 観覧者数300万人
- 昭和63年 5月 北海道立近代美術館長－井関正昭
- 平成 2年 4月 機構改正（参事新設）
- 平成 6年 4月 北海道立近代美術館長（兼務）－阿部 茂教育長

平成 7年 6月 北海道立近代美術館長－阿部 茂
機構改正（学芸副館長新設）

平成 7年 8月 観覧者数500万人

平成 8年 4月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成 9年 4月 北海道立近代美術館長（兼務）－南原一晴教育長

平成 9年 7月 開館20周年記念式

平成11年 4月 北海道立近代美術館長（兼務）－鎌田昌市教育長

平成11年 5月 観覧者数600万人

平成11年 7月 北海道立近代美術館長－水上武夫

平成12年 4月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成14年 7月 観覧者数700万人

平成16年 4月 機構改正（学芸第三課新設）条例一部改正（常設展観覧料）

平成17年 7月 観覧者数800万人

平成18年 7月 北海道立近代美術館長－相馬秋夫

平成19年10月 開館30周年記念式

平成20年 4月 条例一部改正（常設展観覧料）

平成21年 4月 観覧者数900万人

平成23年 4月 条例一部改正（三岸好太郎美術館を分館として設置・常設展共通観覧料新設）

平成24年 4月 条例一部改正（年間観覧料追加）

平成25年 4月 北海道立近代美術館長－高橋教一

平成25年 7月 観覧者数1,000万人

平成26年 4月 機構改正（総務企画部2課を1課に統合、学芸部3課を2課に再編）
条例一部改正（常設展観覧料）

平成27年 4月 北海道立近代美術館長（兼務）－立川 宏教育長

平成27年 6月 北海道立近代美術館長（兼務）－山本広海教育部長

平成27年 7月 北海道立近代美術館長－嵐田 昇

平成28年 4月 条例一部改正（使用料）

平成29年 8月 観覧者数1,100万人
開館40周年記念式

平成30年 4月 機構改正（学芸部2課を1課に統合）

令和 元年 7月 北海道立近代美術館長－立川 宏

令和 元年10月 条例一部改正（観覧料及び使用料）

3 令和2年度観覧者数一覧

展示区分	展覧会区分		会期	開催日数	観覧者総数	一日当観覧者	有 料													無 料																				
							個 人			小計 (C)	団 体			小計 (D)	共 通 券 等			小計 (E)	合計 (C+D+E)	免除者 (小中 含む)	招待者	合計 (F)																		
							a一般	b高大生	c小中生	(C/B)%	a一般	b高大生	c小中生	(D/B)%	a一般	b高大生	c小中生	(E/B)%	((C+D+E)/B)%			(F/B)%																		
(A)	(B)	(B/A)																																						
近美コレクション	令和2年度 第I期	ひと・ひと・人	5/26(火) ～ 6/28(日)	30	2,605	86	298	26	-	324	140	10	-	150	701	117	-	818	1,292	1,109	204	1,313																		
		わたしと絵のあいだに																																						
		なんちゃってカエル名画展																																						
		新収蔵品展																																						
		この1点を見てほしい。																																						
	第II期	アートギャラリー北海道 太陽の森 ディマシオ美術館コレクション	7/4(土) ～ 9/6(日) [展示室A]	101	11,966	118	2,279	287	-	2,566	233	167	-	400	1,657	189	-	1,846	4,812	6,576	578	7,154																		
		<展示延長> ひと・ひと・人																																						
		<展示延長> わたしと絵のあいだに																																						
		<展示延長> この1点を見てほしい。																																						
		山川草木 美は自然に宿る	7/11(土) ～ 9/6(日) [展示室B]																																					
この1点を見てほしい。																																								
<展示延長> なんちゃってカエル名画展																																								
第III期	アートギャラリー北海道「太陽の森 ディマシオ美術館コレクション」	9/19(土) ～ 11/8(日)	68	3,726	54	1,094	120	-	1,214	100	8	-	108	716	107	-	823	2,145	1,436	145	1,581																			
	ヴィジュアル・ガストロノミー ーいただきます。ごちそうさま。																																							
	この1点を見てほしい。																																							
第IV期	日本の美	11/21(土) ～ 2/14(日)	28	1,546	55	462	87	-	549	91	9	-	100	44	9	-	53	702	730	114	844																			
	この1点を見てほしい。																																							
第V期	池田良二展／一原有徳展	2/27(土) ～ 4/4(日) [右の数は3月 31日までの計]	227	19,843	87	4,133	520	-	4,653	564	194	-	758	3,118	422	-	3,540	8,951	9,851	1,041	10,892																			
	日本のガラスー江戸から現代までー																																							
	この1点を見てほしい。																																							
計																																								
特別展	キスリング展 エコール・ド・パリの巨匠	5/26(火) ～ 6/28(日)	30	15,608	520	8,982	545	99	9,626	616	42	30	688	688	117	-	805	11,119	2,118	2,371	4,489																			
	古代エジプト展 ライデン国立古代博物館所蔵																																							
	没後50年 神田日勝 大地への筆触	9/19(土) ～ 11/8(日)																				45	27,929	620	18,025	994	187	19,206	654	483	284	1,421	1,362	153	-	1,515	22,142	3,298	2,489	5,787
	札幌国際芸術祭2020	中止																																						
	デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉	11/21(土) ～ 1/17(日)																				44	3,807	86	1,768	67	20	1,855	189	9	0	198	616	90	-	706	2,759	513	535	1,048
	計																																							
貸 館			28	11,848	423	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,030	-	-	1,818																			
																		84.7%			15.3%																			
合 計			227	79,035	348	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55,001	-	-	24,034																			
																		69.6%			30.4%																			

4 教育・情報サービス利用者一覧

令和3年3月31日現在

展覧会関連事業

※赤字は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

特別展関連事業														
展覧会名	キスリング展				古代エジプト展	神田日勝展	諸星大二郎展			札幌国際芸術祭2020	猫まみれ展 MAX			
内容	オープニング記念 ギャラリートーク	北海道ドレスメーカー学院イベント ファッションショー	ワークショップ	特別記念講演会	学芸員による見 どころ解説	令和4年度に 開催延期	見どころトーク	オープニング記念 講演会	見どころ解説	キャラクター総選挙	開催中止	学芸員・見どころ 解説	ワークショップ (ネコバッグ制作)	参加型展示 (飼い猫写真大募集)
会場	展示室B		講堂	講堂	講堂		講堂	講堂	講堂	展示室B 入口配布		講堂	造形室	ロビー
開催日	4/25	5/2	5/9・30	5/31	5/16, 6/6		10/17, 11/1	11/21	12/5, 1/16	会期中 (11/21~1/17)		2/27, 3/31	3/20, 21	会期中 (2/27~4/4)
利用者数	— (イベントすべて中止)				115		93	67	3,742	120		40	222以上	
小計												4,399		

教育普及事業

内容	移動美術館 (関連事業を含む)	学校連携事業	アートギャラリー北海道/ みんなのアートプロジェクト2020	ワークショップ
会場	北海道立近代美術館・北 海道立三好好太郎美術 館コレクション	出張アート教室	～ふんわり・きらきら～ スパッタリングで絵を描いて みよう	ガイド・ツアー 発見！冒険！キンピの ひみつ
会場	えりも町福祉セン ター	泊村、岩見沢市、 平取町	造形室	近代美術館内
開催日	10/4～10/14	9/24, 10/28・30	11/1	8/9
利用者数	883	122	9	8
小計	1,022			

自主研修等（職場体験）

	団体数	人数
小学校	3	24 (事前録画の回 を除く)
中学校	4	32
高等学校	1 (1)	1 (3)
小計	9 (1)	57 (3)

北海道リモート・ミュージアム

WEB 配信内 容・配信 日
・ひと・ひと・人ー5/25
・なんちゃってカエ ル名画展ー6/1
・キスリング展ー6/8
・ダイヤモンド美術館 コレクション展ー8/5
・メーガの証 episode 1ー8/6
・キンピの長い1日 北海道立近代美術館 ー12/21
・メーガの証 episode 2ー12/22

解説等

事業名	ギャラリー・ツアー	学芸員による ミュージアム・トーク	質問コーナー	ビデオ・ライブラリー	自主研修など	特別オリエンテーション	ぐるっと三館鑑賞ツアー	子ども鑑賞ツアー	
会場	展示室A	展示室A	ARS			講堂・映像室	道立近代美術館・三好好太郎 美術館・知事公館	展示室A	
開催日	火～土曜日 1日3回	会期中随時	祝日・日曜を除く毎日			利用者の希望する日	利用団体の希望する日	8/26・27・28	会期中第二土曜日
利用者数	個人利用 981 団体利用 32 1,013	245	ARS利用者 2,468	質問件数 143	1	利用件数 10 利用者数 65	155	16	中止
小計	3,908 ※利用者数のうち網掛けの欄を除く								

事業名	利用者数	総数	
特別展関連事業	4,399	9,440	
アートギャラリー北海道/ みんなのアートプロジェクト2020	18		
ワークショップ (ガイド・ツアー)	16		
移動美術館	883		
学校連携事業	122		
解説等	ギャラリー・ツアー		1,013
	ミュージアム・トーク		245
	ARS利用者		2,468
	ぐるっと三館鑑賞ツアー		16
子ども鑑賞ツアー	中止		
特別オリエンテーション	155		
自主研修など	62		

テレフォンサービス 利用者数	ホームページ アクセス数
465	288,352



令和2年度 北海道立近代美術館年報



令和4年3月20日発行

編集・発行／北海道立近代美術館

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目

TEL. (011)644-6881 (代)